



dtab d-41A

取扱説明書

はじめに

「d-41A」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

■ クイックスタートガイド(本体付属品)

各部の名称と機能について説明しています。

■ 取扱説明書アプリ(eトリセツ)(本端末のアプリ)

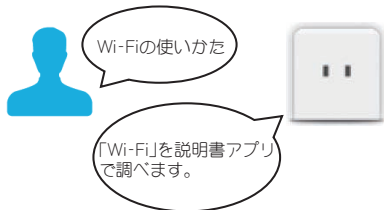
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
フリーワード検索や表示中のページから設定画面やアプリを直接起動できるなど、本端末をより便利にお使いになれます。



ご利用方法

ホーム画面で▶[取扱説明書]

- はじめてご利用になる場合は、画面の指示に従って本アプリをダウンロードしてインストールする必要があります。
- 「my daiz」から取扱説明書アプリ(eトリセツ)を呼び出すこともできます。

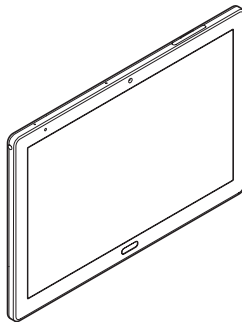


■ 取扱説明書(PDFファイル)

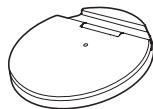
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロードできます。

- 本書においては、「d-41A」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティングシステム(OS)のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する情報は、ドコモのホームページをご覧ください。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 本書は端末カラーが「White」、ホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカード、microSDXCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

本体付属品



d-41A本体



スタンド^{*}
(試供品)

- クイックスタートガイド
- ご利用にあたっての注意事項

- 本端末に対応するオプション品(別売)は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

目次

取扱説明書について.....	H2
本体付属品.....	1

注意事項

本端末のご利用について.....	5
おすすめ機能.....	6
安全上のご注意(必ずお守りください).....	7
取り扱い上のご注意.....	18
防水/防塵性能.....	24

ご使用前の準備

各部の名称と機能.....	30
ドコモnanoUIMカード.....	33
microSDカード.....	35
充電.....	37
電源を入れる/切る.....	39
初期設定.....	40
本端末で利用する暗証番号について.....	42

基本操作

基本操作.....	44
文字入力.....	48
通知/充電ランプ.....	55
画面表示/アイコン.....	55

アプリ使用履歴.....	59
マルチウィンドウ.....	60
音声エージェント.....	61
アプリ初回起動時の確認画面について.....	62

ホーム画面

ホーム切替.....	64
docomo LIVE UX.....	64
かんたんホーム.....	70
アプリ一覧.....	73

電話帳

電話帳.....	77
----------	----

メール/ウェブブラウザ

ドコモメール.....	80
+メッセージ.....	80
Gmail™.....	86
緊急速報「エリアメール」.....	87
Chrome.....	89

カメラ/フォト

カメラについて.....	92
フォト.....	97

アプリ

dメニュー	98
dマーケット	98
Play ストア	98
GPS/ナビ	100
時計	101
スケジュール	103
メモ	105
ドコモデータコピー	105

本体設定

設定メニュー	108
ネットワークとインターネット	109
接続済みのデバイス	114
アプリと通知	115
電池	116
ディスプレイ	117
音	120
ストレージ	121
プライバシー	123
位置情報	123
セキュリティ	124
ドコモのサービス/クラウド	128
アカウント	129
ユーザー補助	130
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	131
Google™	132
システム	132

タブレット情報	136
お困りのときは	136

ファイル管理

ストレージ構成	138
ファイル操作	138

データ通信

Bluetooth®機能	140
--------------	-----

外部機器接続

パソコンなどとの接続	145
プリントサービスによる印刷/保存	147
USBホスト機能	147
キャスト	148
VPN(仮想プライベートネットワーク)	149

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要	150
海外で利用可能なサービス	150
海外でご利用になる前に	151
海外で利用するための設定	151
帰国後の確認	153

付録

試供品(スタンド)	154
トラブルシューティング(FAQ)	156
ソフトウェアアップデート	162
保証とアフターサービス	165
あんしん遠隔サポート	168
主な仕様	169
データ通信端末の比吸収率(SAR)について	172
Specific Absorption Rate (SAR) Information of Mobile Terminals	173
CAUTION	178
Inquiries	179
輸出管理規制	180
知的財産権について	180
SIMロック解除	183

索引

名前から探す	184
目的から探す	193

注意事項

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は、音声通話には対応しておりません。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態は[■]を表示している状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末はユーザーやゲストが利用できる機能に対応していますが、ユーザーを切り替えられた際にサービスやアプリによっては同一のお客様として取り扱われる場合があります。本機能の利用により発生したお客様、または第三者の損害やトラブルに関して、当社としては一切の責任を負いかねます。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管して下さるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分に確認の上、ご利用ください。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google Play™などのGoogleサービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Google LLCが提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。

- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしていません。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

おすすめ機能

■ 防水・お風呂・防塵対応

キッチンでレシピを見ながら料理をしたり、お風呂でのんびり動画を楽しんだりすることができます。

☎P.24「防水／防塵性能」

■ かんたんホーム




タブレットがはじめてで操作が不安なシニアやお子さまにも使いやすく、家族で安心してお使いいただけるホームアプリです。

☎P.70「かんたんホーム」

- 機能の詳細については、シャープ株式会社のホームページ (<https://jp.sharp/products/d41a/index.html>) をご覧ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)







- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷(※1)を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷(※2)を負う可能性が想定される場合および物的損害(※3)の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

- ※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- ※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明していません。

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。	 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	濡れ手禁止
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	 電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。	電源プラグを抜く

本端末、アダプタ、ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて(共通)

⚠危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水/防塵性能については以下をご参照ください。

☞P.24「防水/防塵性能」



禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞P.24「防水/防塵性能」



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特にバッグなどに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつかけたり、物に挟んだりしないでください。内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意いただきたい例

- バッグなどに入れて状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む



禁止

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末の背面カバーを取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞P.24「防水/防塵性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
【P.24「防水/防塵性能」】



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のもを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。
 - 本端末の電源を切る。
- 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイブレーク設定中は特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。
防水/防塵性能については以下をご参照ください。
【P.24「防水/防塵性能」】



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
ドコモnanoUIMカード/microSDカードトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を継続してご使用になる場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまったりするなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

アプリ、データ通信や動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本端末の取り扱いについて



危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。



警告



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片(カッターの刃やホチキスの針など)、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

大きな音で通知音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

待ち受け中であっても、突然の通知音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、バイブレータ(振動)や通知音量の設定に注意してください。

突然のバイブレータ(振動)や通知音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部などのガラスを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



注意



禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。

【P.16「材質一覧」】



指示

本端末のスピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

アダプタの取り扱いについて

警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリースOCKETにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに変圧器(海外旅行用のトラベルコンバーターなど)を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

DCアダプタ: DC12V・24V(マイナースアース車専用)



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグ
を抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて

⚠️ 注意



指示

ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠️ 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

端末

使用箇所	材質／表面処理
ディスプレイ面	強化ガラス／AFコート
外装	PC樹脂+ABS樹脂／ハードコート、塗装、印刷
電源キー	アルミニウム／アルマイト処理
音量UP／DOWNキー	アルミニウム／アルマイト処理
指紋センサー	エポキシ樹脂／ハードコート
カメラパネル	PC樹脂+アクリル樹脂／AFコート
ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイ(外装部)	PC樹脂(ガラス入り)／ハードコート、塗装
ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイ(樹脂部)	POM樹脂／印刷
ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイ(金属部)	ステンレス

使用箇所	材質／表面処理
ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイのパッキン	シリコンゴム
IMEIプレート	PET樹脂／PET樹脂ラミネート、印刷
IMEIラベル	PET樹脂／印刷

スタンド

使用箇所	材質／表面処理
本体	ABS樹脂
ねじ	鉄／メッキ(三価クロメート)
ゴム足	ウレタン樹脂

試供品(スタンド)の取り扱いについて

⚠危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

やけど、けがなどの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

やけど、けがなどの原因となります。

⚠警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

けがなどの原因となります。

⚠注意



禁止

破損したまま使用しないでください。

けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。

誤飲、けがなどの原因となります。



指示

スタンドの使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。

☞P.16「材質一覧」

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- d-41Aは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。

アダプタ、ドコモnanoUIMカードは防水／防塵性能を有していません。風呂場などの湿気が多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - ・ 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ・ ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - ・ アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。

端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけません。また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

- 本端末に無理な力がかけられないように使用してください。

多くのものが詰まった荷物の中に入れるとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

故障、破損の原因となります。

本端末についてのお願い

- ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。

傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。

温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。風呂場でのご使用については以下をご参照ください。
【※P.24「d-41A」が有する防水／防塵性能でできること】
- 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。

万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。
- **使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常はドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを閉じた状態でご使用ください。**
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- **指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。**
指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。
- **本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。**
明るさセンサー、指紋センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
明るさセンサー、指紋センサーの位置は、以下をご参照ください。
P.30「各部の名称と機能」

- **内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。**
内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。
十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- **充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。**
- **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**
- **本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。**
 - ・フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
 - ・電池残量なしの状態(本端末の電源が入らない程消費している状態)での保管
 なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- **本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。**

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

- **本端末の表面にアルミ材を使用しております。アルミは柔らかい素材のため、打痕・擦り傷が残りやすくなっておりますので、ご注意ください。**

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 家庭用電子機器(テレビ・ラジオなど)の近く
- 充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。
- スタンドを収める場合は、指やアダプタのコードなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。


ドコモnanoUIMカードについてのお願い

- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。


- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について

本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は、ホーム画面で▶ [設定] ▶ [タブレット情報] ▶ [規制ラベル]で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4: 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH: 変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 4: 想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ④ XX: 変調方式がその他の方式であることを示します。
- ⑤ 8: 想定される干渉距離が80m以下であることを示します。
- ⑥ : 2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

● Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN(WLAN)についてのお願い


- 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 無線LANについて


電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯について

本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は、ホーム画面で▶[設定]▶[タブレット情報]▶[規制ラベル]で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4:2400MHz帯を利用する無線設備を示します。
 - ② DS:変調方式がDS-SS方式であることを示します。
 - ③ OF:変調方式がOFDM方式であることを示します。
 - ④ 4:想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
 - ⑤ :2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
- 本端末の無線LANで設定できるチャネルは1~13です。これ以外のチャネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。
- 利用可能なチャネルは国により異なります。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● 5GHz機器使用上の注意事項

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz帯(W52/W53/W56)の3種類の帯域を利用することができます。


- W52(5.2GHz帯/36、40、44、48ch)
- W53(5.3GHz帯/52、56、60、64ch)
- W56(5.6GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140、144ch)

5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN(W52/W53)の屋外利用は法律で禁止されています(5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント/中継局と通信する場合を除く)。

電波障害自主規制について

- 本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。

電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。

ホーム画面で▶[設定]▶[タブレット情報]▶[規制ラベル]

試供品(スタンド)についてお願い

- 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や粉塵などの異物を付着させないでください。

スタンドは防水/防塵性能を有しておりません。


風呂場などの湿気が多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し破損の原因となります。


- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
破損の原因となります。
- スタンドを収める場合は、指などを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となります。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されています。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。

ホーム画面で▶[設定]▶[タブレット情報]▶[規制ラベル]

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って使用することは、罰則の対象となります。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

d-41Aは、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイをしっかりと閉じた状態でIPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところ通信端末を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75 μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に通信端末を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

d-41Aが有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通信ができます(1時間の雨量が20mm程度)。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流(6L/分以下、常温(5℃～35℃)の水道水)で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください(※P.28「水に濡れたときの水抜きについて」)。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

- 風呂場で使用できます。
 - 常温の水道水以外の液体(温泉の湯やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水など)を付着させたり、湯船に浸けたりしないでください。
故障の原因となります。万が一、水道水以外の液体が付着したり、湯船に落としてしまった場合は、直ちに所定の方法で洗い流してください。
 - 風呂場では、室温は5℃～40℃、湿度は99%以下、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
なお、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。
 - 水に濡れたあとは、必ず所定の方法(※P.28「水に濡れたときの水抜きについて」)で水抜き・自然乾燥を行ってください。
風呂場での使用後やカメラのレンズ内側などに結露が発生した場合も自然乾燥を行ってください。
 - 急激な温度変化は、結露の原因となります。
寒い場所から暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
また、風呂場で暖まった本端末に冷たい水をかけないでください。
故障の原因となります。
 - 風呂場では絶対に充電を行わないでください。
 - 風呂場の構造・環境によっては電波が届かず、データ通信ができない場合があります。
 - 濡れた手で操作をする場合、反応しなかったり、誤動作したりする可能性があります。
 - 風呂場で、イヤホンや外部接続機器を接続して使用しないでください。

ご利用にあたって

防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- 防水／防塵性能を維持するため、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイはしっかり閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。

- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

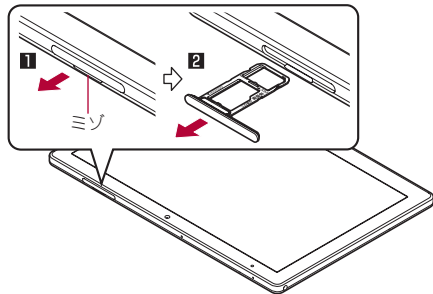
■ ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付けかた

- 取り外し／取り付けは、必ず電源を切ってから行ってください。端末は手でしっかり持ってください。
- 取り外し／取り付けは、ディスプレイ面を上向きにして行ってください。

取り外すとき

1 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本体から引き出す

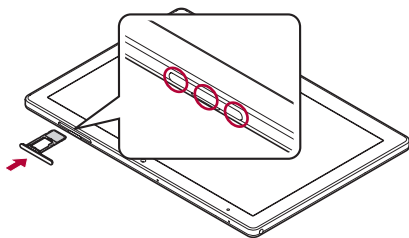
- ミゾに指の先をかけて手前に引き出し(1)、ゆっくりと水平に引き出してください(2)。カードトレイを強く引き出したり、斜めに引き出ししたりすると、破損の原因となります。
- 引き出すときに、カードがカードトレイから外れて、紛失したりしないように注意してください。



取り付けるとき

1 ディ스플레이面を上向きにして、ドコモ nanoUIMカード／microSDカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

- O部分をしっかりと押し、本体とカードトレイにすき間がないことを確認してください。
- カードトレイをゆっくりと差し込んでください。
- カードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、カードトレイが破損する恐れがあります。
- カードトレイの差し込みが不十分な場合は、防水／防塵性能が損なわれたり、正常に動作しないことがあります。



注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴や異物がついているときには、ドコモ nanoUIMカード／microSDカードトレイの開閉はしないでください。
- ドコモ nanoUIMカード／microSDカードトレイはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など)が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- ドコモ nanoUIMカード／microSDカードトレイが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- ドコモ nanoUIMカード／microSDカードトレイと本体の接触面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- ドコモ nanoUIMカード／microSDカードトレイのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、液体や粉塵が入る原因となります。
- 水中で端末を使用(キー操作を含む)しないでください。故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流(6L/分を超える)を直接当てないでください。d-41AはIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温(5℃～35℃)の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の水で洗ってください。
- 洗濯機などで洗わないでください。

- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。
- 温泉の湯やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。
- 砂／泥の上に直接置かないでください。
- 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 本端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- マイク、スピーカー、USB Type-C™接続端子、イヤホンマイク端子、空気抜き穴などを尖ったものでつかないでください。
- 端末が水に濡れた状態で外部接続機器を挿さないでください。故障の原因となります。
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。



せっけん／
洗剤／入浴剤



海水



プール



温泉



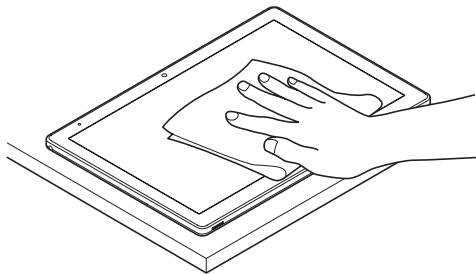
砂／泥

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

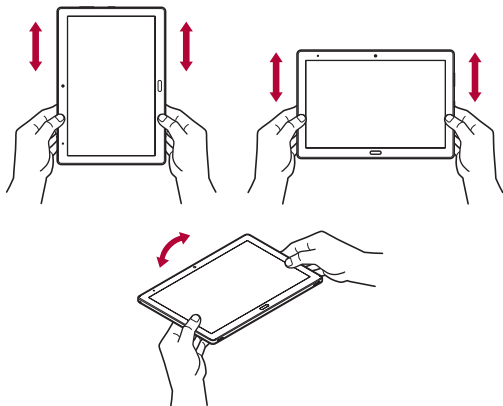
水に濡れたときの水抜きについて

端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

- 1 端末を安定した台などに置き、端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

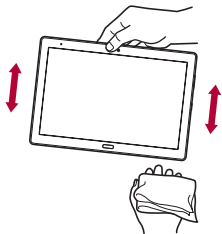


- 2 端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振り、端末の上下または表裏を持ち替えて、再度20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る



3 マイク、スピーカー、キー、USB Type-C接続端子、イヤホンマイク端子、空気抜き穴などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。



4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、約3時間自然乾燥させる

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 水が抜けない場合は音が聞こえづらいたることがありますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

充電のとき

オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 端末に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取り、自然乾燥させてから充電してください。

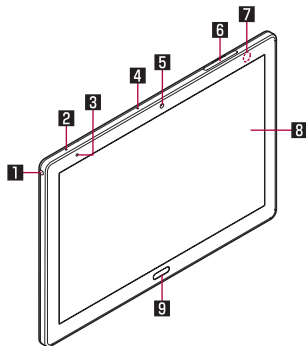
警告

端末に水滴や異物が付着している状態では、Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。

- 端末は防水／防塵性能を有しておりますが、ACアダプタ(別売)は防水／防塵性能を有しておりません。濡れたり汚れたりしている状態でType-Cプラグを挿入すると、端末やType-Cプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の準備

各部の名称と機能



1 イヤホンマイク端子

2 空気抜き穴

- 端末内の余分な空気を抜くための穴です。

3 明るさセンサー※1

- 画面の明るさの自動制御に使用します。

4 マイク

- 動画撮影時やmy daizにお話しする際などに利用します。

5 インカメラ

- カメラの利用についてはP.92「カメラについて」

6 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイ

- ドコモnanoUIMカードについてはP.33「ドコモnanoUIMカード」
- microSDカードについてはP.35「microSDカード」

7 通知／充電ランプ

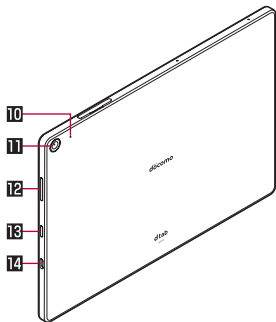
- 通知／充電ランプについてはP.55「通知／充電ランプ」

8 ディスプレイ／タッチパネル

- タッチパネルの操作についてはP.44「タッチパネルの操作」

9 指紋センサー※1

- 指紋認証による、タッチパネルのロック解除などに利用します。
- ホームキーとして利用します。
- 指紋センサーの利用についてはP.126「指紋認証」



10 マイク

- my daizの音声認識時にノイズキャンセルを行います。

11 アウトカメラ

- カメラの利用についてはP.92「カメラについて」

12 $\square(+)$ / $\square(-)$:音量UP/DOWNキー

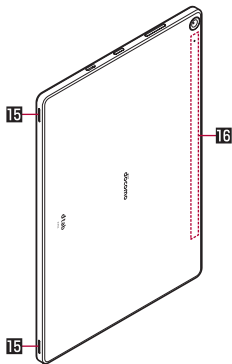
- 各種音量の調節やカメラ撮影、マナーモードの設定などに使用します。

13 \square :電源キー

- 電源を入れる/切るときや、画面を点灯/消灯するときに使用します。
- 1秒以上押しとメニューが表示され、「電源を切る」[再起動] [画面の保存] [故障かな?と思ったら]の操作ができます。
- 詳しくは下記をご参照ください。
 - 電源を入れる/切るについてはP.39「電源を入れる/切る」
 - 画面の保存についてはP.47「スクリーンショットの撮影」
 - 「故障かな?と思ったら」についてはP.137「セルフチェック」

14 USB Type-C接続端子

- 充電時などに使用します。
- 外部機器との接続についてはP.37「充電」、P.145「パソコンなどとの接続」、P.147「USBホスト機能」



15 スピーカー

- 通知音や音楽などがここから聞こえます。

16 LTE/FOMA/Wi-Fi/Bluetooth/GPSアンテナ※2

- ※1 センサー部分にはシールなどを貼らないでください。
- ※2 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響をおよぼす場合があります。

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

イヤホンマイクについて

- イヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

明るさセンサーについて

- 明るさセンサーを覆うと、画面が暗くなります。端末を縦に持った際など、明るさセンサーを手で覆わないようにご注意ください。

マイクについて

- マイクを利用する機能を使用する場合は、マイクの穴をふさがないようにしてください。

IMEIプレートについて

- ドコモnanoUIMカード/microSDカードトレイの挿入口付近には、IMEI情報(端末識別番号)、CEマークなどを印刷したシールが貼られたプレートが収納されています。修理依頼やアフターサービスなどで、IMEI番号が必要となりますので、プレートを引き出したり、シールをはがしたりしないでください。IMEIプレート(銘板プレート)の取り扱いに関する注意事項については、「アフターサービスについて」(P.166)をご参照ください。
- IMEIプレートを無理に引き出したり、力を加えたりすると、破損する恐れがありますのでご注意ください。
- IMEIプレートを引き出してしまった場合は、IMEIプレートが奥に入り込みすぎないように、ゆっくりと差し込んでください。

本端末の強制終了について

- \square (電源キー)を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができません。強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

ドコモnanoUIMカード

ドコモnanoUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。

- ドコモnanoUIMカードを取り付けないと、ポケット通信などの機能を利用できません。
- ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります(※P.42「PINコード」)。
- 本端末では、ドコモnanoUIMカードのみご利用になれます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

■ 取り付けかた

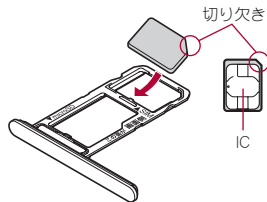
- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付けかた」(※P.25)をご参照ください。

1 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本体から取り外す

2 ドコモnanoUIMカードのIC面を下向きにして、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイに取り付ける

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードの向きに注意して、確実に取り付けてください。

- ドコモnanoUIMカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



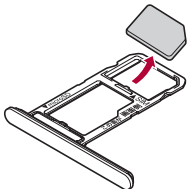
3 ディスプレイ面を上向きにして、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本体に取り付ける

■ 取り外しかた

- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付けかた」(P.25)をご参照ください。

1 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを取り外す

2 ドコモnanoUIMカードをドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイから取り外す



3 ディスプレイ面を上向きにして、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本体に取り付ける

- ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードは、直接本体に差し込まないでください。カードをカードトレイに取り付けたあとで、カードトレイごと本体に差し込んでください。
- ドコモnanoUIMカードやドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを取り外す際は、落とさないようにご注意ください。
- ディスプレイ面を下向きにしたり、本体を立てた状態でドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを引き出すと、取り付けられているドコモnanoUIMカードが外れ、紛失する可能性があります。
- ドコモnanoUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとドコモnanoUIMカードが破損したり、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが変形したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページを参照してください。
- 取り外したドコモnanoUIMカードは、なくさないようにご注意ください。

microSDカード

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- d-41Aでは市販の2G/バイトまでのmicroSDカード、32G/バイトまでのmicroSDHCカード、512G/バイトまでのmicroSDXCカードに対応しています。また、スピードクラス※は最大クラス10、UHSスピードクラス※はクラス1(DDR50)まで使用できます(2020年7月現在)。

※スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

microSDカードの情報については、次のサイトをご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/d41a/peripherals/microsd.html>

- 端末にmicroSDカードを挿入した直後(端末で使用するための情報を書き込み中)や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります(※P.122「microSDカード/USBメモリのフォーマット」)。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。

- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります(データはすべて削除されます)。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先/コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いいたします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

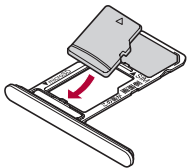
■ 取り付けかた

- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付けかた」(P.25)をご参照ください。

1 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを取り外す

2 microSDカードの金属端子面を下向きにして、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイに取り付ける

- microSDカードの向きに注意して、確実に取り付けてください。
- microSDカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。
浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



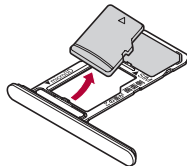
3 ディスプレイ面を上向きにして、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本体に取り付ける

■ 取り外しかた

- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付けかた」(P.25)をご参照ください。

1 ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを取り外す

2 microSDカードをドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイから取り外す



3 ディスプレイ面を上向きにして、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを本体に取り付ける

充電

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。

<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

■ 充電時のご注意

- 充電時間や十分に充電したときの利用可能時間の目安についてはP.169「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できます（充電中は電池マークに[⚡]が重なって表示されます）。
- 充電完了後、ACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）を長時間挿したままにすると、充電量が減少します。この場合、ACアダプタやDCアダプタから再び充電を行います。ACアダプタやDCアダプタを端末から取り外すタイミングによっては、内蔵電池が本来の充電量より少ない場合があります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少していることがあります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。

- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

■ 内蔵電池の寿命

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 充電しながら動画の視聴などを長時間行うと内蔵電池の寿命が短くなることがあります。



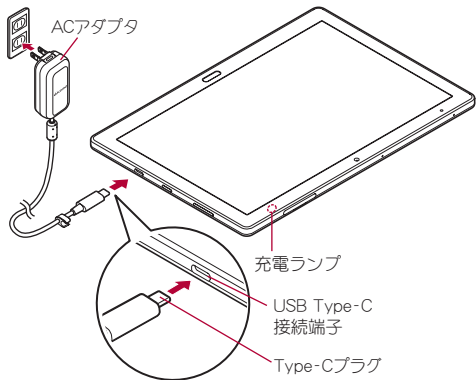
Li-ion00

ACアダプタで充電

ACアダプタ 07(別売)を使って充電する場合は、次の操作を行います。

- 1 ACアダプタのType-Cプラグを、端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
- 2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

- 充電ランプが点灯し、充電が開始します。
- フル充電状態になっても、充電ランプは消灯しません。



3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、Type-CプラグをUSB Type-C接続端子から水平に抜く

- 詳しくはACアダプタ 07の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 07は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 無理に差し込んだり抜いたりすると、USB Type-C接続端子やType-Cプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

DCアダプタで充電

DCアダプタ 05(別売)は、自動車のアクセサリソケット(12V/24V)から充電するための電源を供給するアダプタです。

DCアダプタ 05を使用する場合は、USBケーブル A to C 02(別売)が必要です。詳細については、DCアダプタ 05、USBケーブル A to C 02の取扱説明書をご覧ください。

- DCアダプタはマイナスアース車専用です(DC12V・24V両用)。
- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタのヒューズは消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。

USBケーブルで充電

端末とパソコンをUSBケーブル A to C 02(別売)などで接続すると、端末を充電することができます。

- パソコンなどとの接続方法についてはP.145「パソコンなどとの接続」

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 〇(電源キー)(3秒以上)

- はじめて端末の電源を入れたときに初期設定を行ってください(P.40「初期設定」)。

■ 電源を切る

1 〇(電源キー)(1秒以上)


2 [電源を切る]

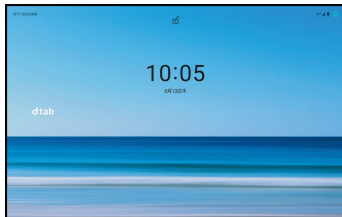
■ ディスプレイの表示／非表示

〇(電源キー)を押したときや端末を一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えます。ディスプレイが消えているときに〇(電源キー)を押すと、ディスプレイが表示されます。

■ タッチパネルのロック

電源を入れたときやディスプレイを表示させたときはタッチパネルがロックされています。

[



タッチパネルのロック画面の操作

- ステータスパネルの表示:画面を下にドラッグ
- ステータスパネルを展開して表示:ステータスバーを下にドラッグ
- タッチパネルのロック画面には通知が表示されます。通知の表示についてはP.115「ロック画面の通知」

初期設定

はじめて端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

- 設定項目は次のとおりです。ただし、各設定で選択した内容により、以降に表示される項目は異なります。
 - 言語の設定
 - ネットワークの選択
 - アプリとデータのコピー
 - Googleアカウントの設定 (P.40「Googleなどのアカウントの設定を行う」)
 - Googleサービス
 - 端末のロック
 - Google アシスタント™
 - Voice Match でアシスタントにアクセス

■ ドコモサービスの初期設定

1 ドコモサービスの初期設定画面が表示されたら
[上記のリンク先の内容に同意する]をONにする▶[次へ]

2 [次へ]

3 初期設定を行う

- 設定項目は次のとおりです。設定しない場合は[スキップ]/[いいえ]をタッチします。設定が完了した場合は[設定完了]をタッチします。
 - dアカウント
 - ドコモサービス一括設定
 - その他の設定項目


Googleなどのアカウントの設定を行う

- Googleアカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名/パスワードです。本端末にGoogleアカウントを設定することで、Gmailを利用してEメールを送受信したり、Google Playを利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

1 ホーム画面で[]▶[設定]▶[アカウント]▶
[アカウントを追加]

2 アカウントの種類を選ぶ

3 アカウントを設定する

- ホーム画面で[]▶[設定]▶[アカウント]で表示されるメニューに、追加したアカウントが表示されます。
- アカウントが必要となるアプリを起動したときにアカウントが未設定の場合は、アカウント設定画面が表示されます。
- 設定したアカウントおよびパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

■ アカウントの削除

1 ホーム画面で[☰] ▶ [設定] ▶ [アカウント]

2 アカウントを選ぶ ▶ [アカウントを削除] ▶ [アカウントを削除]

- アカウントにより操作方法が異なります。

■ Googleアカウントのパスワードの再取得

Googleアカウントのパスワードをお忘れになった場合は、パスワードを再取得してください。

1 ホーム画面で[🌐]

2 URL入力欄に「https://www.google.co.jp」を入力 ▶ [実行] ▶ [ログイン]

3 メールアドレスを入力 ▶ [次へ] ▶ [パスワードをお忘れの場合] ▶ 画面の指示に従って操作

- 利用状況により操作方法が異なります。

dアカウントの設定を行う

- dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどでdポイントやdマーケットなどのドコモが提供するサービスを利用するときに必要なID/パスワードです。
- 端末に登録されている生体情報(指紋)を利用したdアカウント認証の設定もできます。

1 ホーム画面で[☰] ▶ [設定] ▶ [ドコモのサービス/クラウド] ▶ [dアカウント設定]

2 [新たにdアカウントを作成] ▶ ネットワーク暗証番号入力欄にネットワーク暗証番号を入力 ▶ [OK]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

本端末で利用する暗証番号について

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の暗証番号のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[・]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでのご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でのご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ 画面ロック用PIN/パスワード

本端末の[画面ロック]を使用するための暗証番号です。

■ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。この暗証番号は、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（※P.43「PINコードを設定する」）。PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は[0000]となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■ PINロック解除コード(PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとドコモ nanoUIMカード*が完全にロックされます。その場合は、ドコモ ショップ窓口にお問い合わせください。

PINコードを設定する


電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [セキュリティ] ▶ [SIM カードロック設定] ▶ [SIM カードをロック]
- 2 PINコードを入力 ▶ [OK]

- 設定はドコモ nanoUIMカード*に保存されます。

PINコードを変更する

[SIM カードをロック]を設定しているときのみ変更できません。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [セキュリティ] ▶ [SIM カードロック設定] ▶ [SIM PINの変更]
- 2 現在のPINコードを入力 ▶ [OK]
- 3 新しいPINコードを入力 ▶ [OK]
- 4 もう一度新しいPINコードを入力 ▶ [OK]

PINロックの解除

- 1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力
- 2 新しいPINコードを入力
- 3 もう一度、新しいPINコードを入力

基本操作

基本操作

タッチパネルやナビゲーションバーの操作、スクリーンショットの撮影など、端末の基本的な操作について説明します。

タッチパネルの操作

ディスプレイ(タッチパネル)を使用するための操作について説明します。

- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押しついたり、先が尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
 - 水中での操作

- 確認画面などの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタッチすると操作が中止されることがあります。

■ タッチ

画面に表示されるキーや項目に触れて指を離すと、選択・決定を行います。



■ ロングタッチ

利用中の機能や画面によっては、タッチパネルに触れたままにするとメニューが表示されることがあります。

■ スライド(スワイプ)/ドラッグ

タッチパネルに触れたまま指を動かすと、画面をスクロールしたり、アイコンやウィジェットなどを目的の位置まで移動したりできます。

また、メニューや項目に間違っ触れたときにメニューや項目から離れるように指を動かすと、選択を中止できます。



■ フリック

ホーム画面などでタッチパネルをはらうように指を動かすと、ページの切り替えができます。



■ ピンチアウト/ピンチイン

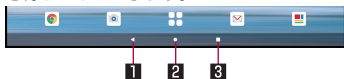
利用中の機能や画面によっては、2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる(ピンチアウト)/狭める(ピンチイン)ように指を動かすと、画面の拡大/縮小などができます。



機能利用中の操作

■ ナビゲーションバー

画面下部のナビゲーションバーに表示されるキーなどを使って基本的な操作を行うことができます。



1 ◀/▶: 戻るキー/閉じるキー

- 1つ前の画面に戻します。
- キーボードを閉じます。

2 ●: ホームキー

- ホーム画面を表示します。
- ロングタッチすると、音声エージェントを起動します(☞P.61「音声エージェント」)。

3 □/☰: アプリ使用履歴キー/マルチウィンドウキー

- アプリ使用履歴を表示します(☞P.59「アプリ使用履歴」)。
- マルチウィンドウ利用中であることを表します(☞P.60「マルチウィンドウ」)。

■ メニューを呼び出す

[⋮]／[≡]などのメニューキーのタッチや画面の左端を右にスワイプ、画面のロングタッチを行うと、その画面で利用できる機能(メニュー)が表示されます。

例: 電卓画面



■ 設定の切替

設定項目の横にトグルスイッチなどが表示されているときは、タッチすることで設定のON/OFFを切り替えることができます。

例: Wi-Fi 設定画面

- [●]はON, [○]はOFFの状態です。



■ 横／縦表示

端末を回転させた場合、利用中のアプリによってはナビゲーションバーに[📺]／[📱]が表示されます。[📺]／[📱]をタッチして、画面の横／縦表示を切り替えることができます。

- [画面の自動回転]をONにすると、本端末の傾きに合わせて、横／縦表示が自動的に切り替わります(☞P.117「ディスプレイ」)。
 - ステータスパネルからも設定できます(☞P.57「ステータスパネルの利用」)。

- 横表示から縦表示にした場合、アプリによっては全画面表示が解除されることがあります。

[画面の自動回転]について

- アプリや表示画面によっては、端末の向きを変えても、横／縦表示が切り替わらない場合や、特定の向きに表示が固定される場合があります。
- 端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、横／縦表示は切り替わりません。
- 音やバイブレータが動作しているときは、切り替えが正しく行われない場合があります。
- 画面が点灯した直後や電源を入れた直後は、横／縦が正しく表示されない場合があります。

スクリーンショットの撮影

表示中の画面を画像として撮影できます。

- 撮影した画像は本体メモリに保存され、フォトなどで確認することができます。

1 📵(電源キー)(1秒以上)▶[画面の保存]

- [電源を切る]、[再起動]などのメニューは撮影されません。
- 📵(電源キー)+📵(←)を1秒以上押しても、表示中の画面を画像として撮影できます。

- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

文字入力

QWERTYキーボードとテンキーボードを利用して文字入力したり、音声で入力したりできます。

- キーボードや入力方式の切り替えについてはP.50「文字入力の設定」
- 文字入力時に画面下部の[]をタッチすると、使用する入力ソフトを設定することができます。ここでは、[S-Shoin]の場合で説明しています。

キーボードの見かた

- 次の2種類のキーボードを利用できます。

QWERTYキーボード	文字入力キーをタッチすると表示されている文字を入力できます。ローマ字で文字を入力します。
テンキーボード	1つの文字入力キーに複数の文字が割り当てられています。文字入力キーを上下左右にフリックして、文字を入力します。 <ul style="list-style-type: none">● 入力したい文字が表示されるまで文字入力キーをタッチして、文字を入力することもできます。



QWERTYキーボード








テンキーボード




※各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

1 ツールバー

- []: タッチすると、ツールバーをスクロールします。
- []: 文字入力の設定項目が表示されます。
 - 設定について詳しくは、「文字入力の設定」(P.50)をご参照ください。
- []: ドラッグすると、キーボードの位置を調整できます。
- []: タッチすると、キーボードを画面下部から切り離します。[]をドラッグすると、画面内の任意の場所にキーボードを配置できます。[]をタッチしてパーを左右にドラッグすると、キーボードの透過を調整できます。[]をタッチすると元の配置に戻ります。
- []: ドラッグすると、キーボードのサイズを調整できます。

- []: タッチすると、切り取り／コピーした履歴を選択して貼り付けたり、履歴をすべて削除できます。
- []: 音声入力ができます。
 - 音声入力について詳しくは、「音声で入力」( P.54)をご参照ください。
- []: タッチすると、ツールバーを閉じます。
 - ツールバーを表示する場合は、[] をタッチします。


2 シフトキー

- 大文字／小文字を切り替えます。
 - []: 小文字で入力します。
 - []: 最初に入力する文字を大文字で入力します。
 - []: 大文字で入力します。
 - 大文字／小文字を切り替えると、キーボードで入力できる記号も変わります。





3 入力モード切替キー

- 入力モードを変更します。
 - タッチすると、半角英字→半角数字→ひらがな漢字の順に、入力モードが切り替わります。
 - 各入力モードで設定したキーボードが表示されます。

4 削除キー

- [文字削除キー動作] で設定した方向の文字を消します ( P.52「キー操作」)。
- 文字にカーソルが当たっている場合はカーソル位置の文字を消します。

5 確定キー／改行キー／変換キー

- []: 入力中の文字を確定します。
- []: カーソルの位置で改行します。
- []: 通常変換候補を表示します。
 - テンキーボードで表示するには、あらかじめ[変換キー表示(テンキーボード)]を有効にしておいてください ( P.51「表示」)。
- アプリケーションや入力中の項目によって、表示が切り替わります。



6 カーソルキー

- カーソルを移動したり、変換する文字の区切りを変更したりできます。




7 記号キー

- 絵文字／記号／顔文字リスト／デコメ絵文字®を表示します。
 - アプリによっては、入力できないものがあります。
- ロングタッチすると、入力拡張プラグイン(文字入力に関する機能を拡張するアプリ)が表示されます。


8 逆トグルキー／戻すキー

- []: タッチすると入力した文字から逆回しで文字を入力することができます。
- []: タッチすると直前に確定した文字を未確定状態に戻したり、直前に削除した文字を5回分の操作まで戻すことができます。

9 大文字・小文字キー／スペースキー

- : 入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。
- : 入力した英字を大文字／小文字に切り替えたり、上にフリックしてアポストロフィを入力したりします。
- : スペースを入力します。







ツールバーについて

- ツールバーのをタッチすると、ツールバーに表示する設定アイコンを選択することができます。挿入箇所をタッチ▶挿入する設定項目をタッチと操作してください。

文字入力の設定

1 文字入力画面で

2 項目を選ぶ

- **キーボードタイプ**: 使用するキーボードのタイプを設定します。
- **入力モード切替**: 入力モードを設定します。
- **単語登録**: ユーザー辞書に単語を登録します。
- **キーボードイメージ**: キーボードの色やデザインを設定します。
- **キー操作**: 文字入力時の操作音やバイブレーションについて設定します。
- **フリック・トグル**: フリック感度やトグル入力などについて設定します。
- **外部アプリ連携**: ネット変換エンジンや自動外部変換を利用するか設定します。
- **辞書**: ユーザー辞書の設定を行います。
- **学習辞書リセット**: 学習辞書をリセットします。
- **設定リセット**: S-Shoinの設定をリセットします。
- **その他**: その他についてはP.51「表示」、P.51「予測／変換」、P.52「キー操作」、P.52「外部アプリ連携」、P.52「辞書」、P.52「その他」

■ 表示

1 文字入力画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [表示]

2 項目を選ぶ

- **キーボードタイプ**:使用するキーボードのタイプを画面の向き、入力モードごとに設定します。
- **一括シンプル切替**:見やすいデザインのキーボードを利用するか設定します。
- **キーボードイメージ**:キーボードの色やデザインを設定します。
- **数字キーを表示**:QWERTYキーボード利用中に入力モードを半角数字/全角数字以外に切り替えた場合でも数字キーを表示させるか設定します。
- **カナ英数キー表示**:カナ英キー/カナ英数キーを表示するか設定します。
 - ・入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英字/英数字や記号の変換候補(カナ英字/カナ英数変換候補)を表示します。
- **変換キー表示(テンキーボード)**:テンキーボード利用中に変換候補欄に通常変換候補を表示する変換キーを表示するか設定します。
- **ガイド表示**:テンキーボードで入力モードをひらがな漢字に設定したときに、キーボード上にカナ英数入力ガイドを表示するか設定します。
- **候補表示エリア**:入力候補リストを表示する行数を設定します。
- **絵文字・記号リスト列数**:絵文字/記号/顔文字リスト/デコメ絵文字®の列数を設定します。

■ 予測/変換

1 文字入力画面で[設定] ▶ [その他] ▶ [予測/変換]

2 項目を選ぶ

- **日本語候補学習**:日本語候補学習を有効にするか設定します。
- **日本語予測変換**:日本語予測変換を有効にするか設定します。
- **日本語ワイルドカード予測**:ひらがな漢字入力時にワイルドカード予測を利用するか設定します。
- **半角スペース入力**:全角入力時にも半角スペースを入力するか設定します。
- **候補学習**:候補学習を有効にするか設定します。
- **予測変換**:予測変換を有効にするか設定します。
- **ワイルドカード予測**:半角英字入力時にワイルドカード予測を利用するか設定します。
- **自動スペース入力**:半角英字入力で英単語を選択したあと半角スペースを自動的に挿入します。
- **自動大文字変換**:半角英字入力で文頭文字を大文字で入力します。

[自動スペース入力]、[自動大文字変換]について

- 利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。

■ キー操作

1 文字入力画面で[⚙️] ▶ [その他] ▶ [キー操作]

2 項目を選ぶ

- **キー操作音**:文字入力時の操作音の有無を設定します。
- **キー操作パイプ**:文字入力時にパイプレータを動作させるか設定します。
- **キー操作パイプ時間**:キー操作パイプでパイプレータが動作する時間を設定します。
- **キーポップアップ**:文字入力エリアでキーをタッチしたときにフリックガイドのポップアップを表示するか設定します。
- **括弧内カーソル移動**:対応する括弧(「」,「】」など)の入力時に、括弧内にカーソルを自動で移動させるか設定します。
- **文字削除キー動作**:削除キーの動作を設定します。
- **フリック感度**:フリック入力をするときの文字選択の感度を設定します。
- **トグル入力**:トグル入力を利用するか設定します。
- **自動カーソル移動**:トグル入力後にカーソルを自動的に右側に移動させる速度を設定します。
- **サービス接続先**:音声入力の接続先を設定します。

[文字削除キー動作]について

- [右側削除(クリア)]に設定した場合、カーソルが文末のときはカーソル左側の文字を消します。

■ 外部アプリ連携

1 文字入力画面で[⚙️] ▶ [その他] ▶ [外部アプリ連携]

2 項目を選ぶ

- **ネット変換エンジン**:インターネット上の変換エンジンを利用して変換候補を表示します。
- **自動外部変換**:自動でネット変換するか設定します。

■ 辞書

1 文字入力画面で[⚙️] ▶ [その他] ▶ [辞書]

2 項目を選ぶ

- **日本語**:日本語ユーザー辞書の登録/編集/削除をします。
- **英語**:英語ユーザー辞書の登録/編集/削除をします。

■ その他

1 文字入力画面で[⚙️] ▶ [その他] ▶ [その他]

2 項目を選ぶ

- **学習辞書リセット**:学習辞書をリセットします。
- **設定リセット**:S-Shoinの設定をリセットします。
- **バージョン情報**:S-Shoinのバージョンを確認できます。
- **利用規約・プライバシーポリシー**:利用規約やプライバシーポリシーを確認できます。

文字入力のしかた

例:「文字」と入力するとき

1 文字入力画面で「もじ」と入力



1 変換候補欄

- 変換候補をタッチすると入力できます。

2 拡大

- 変換候補欄を拡大します。

2 []



1 縮小

- 変換候補欄を縮小します。

2 変換候補欄

- 変換候補をタッチすると入力できます。
- ネット変換エンジンを設定している場合は[ネット変換]が表示されます。タッチするとインターネット上の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

3 予測

- 予測候補を表示します。

4 変換

- 変換候補を表示します。

5 カナ英数

- 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英字や記号などの変換候補を表示します。

3 変換候補欄で「文字」を選ぶ

■ ワイルドカード予測

入力した文字数から変換候補を予測して表示します。

- あらかじめ[日本語ワイルドカード予測]、[ワイルドカード予測]を有効にしておいてください(※P.51「予測/変換」)。
- ひらがな漢字入力モード、半角英字入力モードのときに利用できます。

例:「アナウンス」と入力するとき

1 文字入力画面で「あな」と入力

2 [▶]▶[▶]▶[▶]

- [▶]をタッチするたびに[○]が入力され、文字数に合わせた予測候補が表示されます。

3 変換候補欄で「アナウンス」を選ぶ

■ 音声で入力

音声で文字を入力することができます。

1 文字入力画面で[🗣️]

2 マイクに向かって話す

- 次の場合は正しく認識できないことがあります。
 - 声が大きすぎる場合
 - 周囲の雑音が大きいか
 - 発音が明瞭でない場合
 - 発音が不自然な場合
 - 発声速度が速すぎる場合
 - キーを押したり、マイクを触ったりした場合

■ 文字の編集

入力した文字を選択して切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。

1 入力した文字をロングタッチ

2 文字を編集する

- [●]／[●]をドラッグして選択範囲を指定し、文字の切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。[すべて選択]をタッチすると、入力した文字をすべて選択できます。
- [共有]をタッチすると、選択した文字を他のアプリで利用できます。
- 表示されていないメニューがある場合、[⋮]が表示されません。タッチするとメニューが表示されます。

- 切り取った文字、コピーした文字は合わせて10件まで保存されます。
- 切り取った文字、コピーした文字が最大保存件数を超えた場合は、古い履歴から順に削除されます。
- 利用するアプリによっては、表示されるアイコンや操作方法が異なる場合があります。

通知／充電ランプ

新着メールがある場合や充電中などに通知／充電ランプを点灯／点滅してお知らせします。


表示状態	色	端末の状態
点灯	赤色	充電中(電池残量約94%以下)
点灯	緑色	充電中(電池残量約95%以上)
点滅	赤色	充電ができない状態
点滅	白色	新着メールあり

- アプリによっては、通知ランプについて設定できるものがあります。
- ディスプレイが表示されている場合、新着メールをお知らせする通知ランプが点滅しません。ステータスバーが表示される画面でお知らせアイコンを確認してください。
- 充電中にフル充電状態になっても、充電ランプは消灯しません。

画面表示／アイコン

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、端末の状態や新着メールの有無など、さまざまな情報を知ることができます。ステータスパネルを表示させると詳細情報を確認できます。

アイコンの見かた

- 表示されるアイコンには、次の2種類があります。
 - お知らせアイコン:新着メールなどをお知らせします。
 - ステータスアイコン:電池残量や電波状態など端末の状態を表します。
- お知らせアイコン ステータスバー ステータスアイコン
- 
- お知らせや端末の状態を表すアイコンが複数あり、表示範囲内に表示できない場合は、[・]が表示されます。ステータスパネルを表示して確認してください。
















■ 主なお知らせアイコン一覧





ⓘ:電池残量が約15%以下

✚:新着+メッセージあり(📧P.80「+メッセージ」)



📧:新着Gmailあり(📧P.86「Gmail™」)

📧📧:新着エリアメールあり(📧P.87「緊急速報「エリアメール」」)




	エラー表示
●	何らかのエラーが発生したときに表示されます。
	dアカウントの認証失敗(☞P.128「ドコモのサービス/クラウド」)
	データ通信が無効(☞P.112「データの警告と制限」)
●	データ使用量が上限に達した場合に表示されます。
	アラーム情報あり(☞P.101「アラーム」)
	カレンダーのスケジュール通知あり
	microSDカード表示(☞P.121「ストレージ」)
	本体メモリの空き容量低下(☞P.121「ストレージ」)
	おまかせロック設定中
Bluetooth表示(☞P.140「Bluetooth®機能」)	
	Bluetooth機器からの登録要求/接続要求あり
	データ受信要求あり
データ送受信表示	
	送信表示
	受信表示
アプリ表示	
	アップデートあり
	アプリのインストール完了
	オープンネットワークあり(☞P.111「Wi-Fiの設定」)

テザリング表示(☞P.113「テザリング」)	
	[USB テザリング]が有効
	[Bluetooth テザリング]が有効
	複数のテザリングが有効
	ソフトウェアアップデート情報あり(☞P.162「ソフトウェアアップデート」)




■ 主なステータスアイコン一覧


	アラーム設定中(☞P.101「アラーム」)
	電池残量表示(☞P.116「電池」)
●	充電中は電池マークに[⚡]が重なって表示されます。
●	電池の[電池残量]をONにすると、電池マークの右に電池残量をパーセントで表示できます。

電波状態表示


- ~*: レベル表示(5段階)
- : 圏外
- 4G(LTE)/3G/HSPA使用可能時は、電波マークの左側に[4G+]/[3G]/[H]が表示されます。
- LTE接続時は常に[4G+]が表示されます。
- データ受信中は[▼]、データ送信中は[▲]がネットワーク表示の左側に表示されます。
- 国際ローミング中は、電波マークの左上に[R]が小さく表示されます。


Wi-Fi電波状態表示(☞P.109「Wi-Fi」)


- ~*: レベル表示(5段階)
- : 機内モード中(☞P.109「ネットワークとインターネット」)

: [Wi-Fiテザリング]が有効([P.113](#)「テザリング」)


マナーモードのモード表示([P.120](#)「マナーモード」)




: マナーモード(パイプ)

: マナーモード(ミュート)

: サイレント モード設定中([P.121](#)「サイレント モード」)

: Bluetooth通信中([P.140](#)「Bluetooth®機能」)

: 位置情報をGPSで測位中([P.123](#)「位置情報」)

※ インターネット接続されていないアクセスポイントに接続中は、/のように電波状態表示にが重なって表示されます。

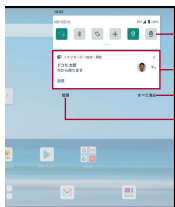
ステータスパネルの利用

1 ステータスバーを下にドラッグ

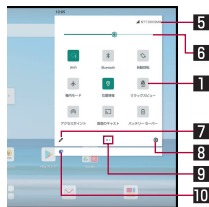
- ステータスパネルが表示されます。
- ステータスパネルをさらに下にドラッグすると、ステータスパネルが展開され、隠れていた機能ボタンなどが表示されます。
- ステータスバーを2本の指で同時に下にドラッグすると、ステータスパネルが展開された状態で表示されます。

2 ステータスパネルを利用する

■ ステータスパネルの見かた



ステータスパネル



ステータスパネル(展開時)

1 機能ボタン

- サイレント モード、Wi-Fi機能、位置情報の使用、縦画面の反転などについて設定できます。
 - ・ 縦画面の反転についてはP.117「ディスプレイ」
- ロングタッチすると詳細を設定できる場合があります。
- ステータスパネルを展開しているときは、表示エリアを左右にフリックするとページを切り替えられます。

2 通知詳細情報

- 端末の状態やお知らせの内容を確認できます。
- 詳細情報の種類によっては、次の操作ができます。
 - ・ 対応するアプリの起動や操作: 詳細情報や機能をタッチ
 - ・ 詳細表示/簡易表示の切替: 詳細情報を2本の指で同時に上下にスライド、またはピンチアウト/ピンチイン
 - ・ 詳細情報の消去: 詳細情報を左右にフリック
 - ・ アプリの通知について設定: 詳細情報をロングタッチ
 - ▶ 画面の指示に従って操作

3 すべて消去

- 通知詳細情報とお知らせアイコンを消去します。通知詳細情報の内容によっては消去されない場合があります。

4 管理

- 通知を表示するアプリが表示されます。アプリごとに通知を許可するか設定します。

5 通信事業者名

- 接続している通信事業者名が表示されます。

6 明るさ調整バー

- ドラッグすると画面の明るさを調整できます。

7 編集

- 機能ボタンの並べ替えや追加、削除ができます。

8 設定

- 「設定」アプリを起動します。

9 インジケータ

- 機能ボタン表示エリアのページ枚数と現在の表示位置を表します。

10 隠れている通知詳細情報

- 隠れている通知詳細情報をアイコン表示します。
- ステータスパネルを展開していなくても、隠れている情報がある場合は表示されます。

- アプリによっては、通知を受信した際に、ステータスパネルで返信操作などを行えるものがあります。通知詳細情報を詳細表示にし、画面の指示に従って操作してください。

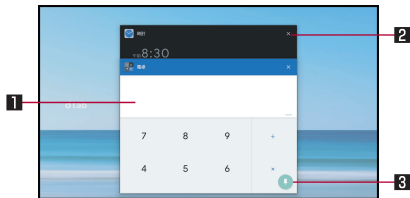
アプリ使用履歴

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。

1 [□]

2 履歴を利用する

- [□] をタッチすると、1つ前に使用していたアプリが起動します。



1 アプリの使用履歴

- タッチするとアプリを起動できます。
- 左右フリックすると履歴を削除できます。
- 画面右上の[すべて消去]をタッチすると、アプリの使用履歴をすべて削除できます。
 - アプリの使用履歴が複数ある場合、履歴を下にフリックすると、[すべて消去]が表示されます。

2 履歴消去

- タッチするとアプリの使用履歴を削除できます。

3 画面の固定

- [画面の固定]がONの場合、最新の履歴に表示されます。画面の固定についてはP.124「セキュリティ」
- タッチすると選択したアプリ以外を使用できないようになります。
 - 画面固定の解除: [◀] + [□] をロングタッチ

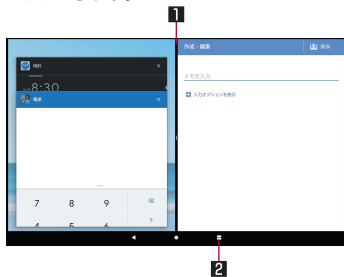
- アプリによっては履歴に表示されない場合があります。
- 起動中のアプリの履歴を消去すると、アプリを終了することができます。

マルチウィンドウ

左右に分割された画面で、2つのアプリを同時に利用することができます。

1 アプリ利用中に[□]をロングタッチ

- 画面が左右に分割され、[□]の表示が[■]に変わります。利用中のアプリが右側に配置され、左側にはアプリ使用履歴が表示されます。
アプリ使用履歴やホーム画面からアプリを起動すると、マルチウィンドウの左側に配置され、右側のアプリと同時に利用することができます。



1 セパレータ

- 左/右にフリックすると、右側/左側のアプリが全画面になります。マルチウィンドウは終了します。
- 左/右にドラッグすると、左右の画面サイズを変更することができます。

2 マルチウィンドウキー

- マルチウィンドウ利用中であることを表します。操作方法は[□]と同様です。
 - マルチウィンドウでロングタッチすると、マルチウィンドウが終了します。表示は[□]に戻ります。
- ご使用のアプリによっては、マルチウィンドウで利用できない場合があります。

音声エージェント


本端末のマイクを使って、音声による天気やニュースの検索、アラームの設定などの操作ができます。本端末では、my daiz やGoogle アシスタントなどの音声エージェントが利用できます。

- 音声エージェントを利用するには、あらかじめ設定などが必要です。詳しくは各アプリのヘルプなどをご覧ください。




■ 音声エージェント利用時のご注意

- 残響・雑音の少ない場所でご利用ください。
- 大きな声で明瞭にお話してください。
- 一定の速度、抑揚でお話してください。
- my daizの音声認識時は、端末背面側のマイクでノイズキャンセルを行います。話しかける声以外のノイズがする方向に端末背面が向くよう、付属のスタンドに本端末を置いて使用することをおすすめします。
- my daizの音声認識時は、画面が切り替わってから、フリーワード（今日の天気など）を話してください。

■ 音声エージェントの切替

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アプリと通知] ▶ [デフォルト アプリ] ▶ [アシストアプリ] ▶ [アシストアプリ]

2 アプリを選ぶ

- my daizを音声起動できない場合は、次の操作を行ってください。
 - ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [Google] ▶ [アカウントサービス]※ ▶ [検索、アシスタントと音声] ▶ [音声] ▶ [Voice Match]から、[Ok Google]をOFFにしてください。
※ [アカウントサービス]は表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。
 - ホーム画面で[] ▶ [my daiz] ▶ [] ▶ [設定] ▶ [音声] ▶ [キーワードによる音声起動]から、声の登録を初期化してください。

アプリ初回起動時の確認画面について

それぞれのアプリをはじめて起動したときは、「アプリに必要な許可」「電池の最適化」の確認画面が表示され、アプリの動作について設定を行います。

- アプリによって、表示される確認画面の種類や内容は異なります。ここでは、「アプリに必要な許可」「電池の最適化」の2種類の確認画面について説明します。
- アプリによっては、特定の機能をはじめて利用するときに確認画面が表示される場合があります。

アプリに必要な許可

アプリが端末のデータやカメラなどを利用することを許可します。

- 機能の利用を許可しなかった場合、アプリが正常に動作しないことがあります。

例:スケジュールを起動したとき

1 [OK] ▶ [許可] / [許可しない]



- 通常は[許可]を選択し、機能の利用を許可してください。
- 利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

■ 利用する機能について設定

利用する機能について、次の手順で設定することもできます。

アプリごとに利用する機能を設定

- 1 ホーム画面で[⊞] ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]
- 2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ ▶ [権限]
- 3 機能を選ぶ
- 4 [許可] / [許可しない]

機能ごとに利用を許可するアプリを設定

- 1 ホーム画面で[⊞] ▶ [設定] ▶ [アプリと通知] ▶ [権限マネージャ]
- 2 機能を選ぶ
- 3 アプリを選ぶ
- 4 [許可] / [許可しない]


電池の最適化

電池の最適化を行うと、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しないように設定されます。

- アプリによっては、起動時や機能の設定時に「電池の最適化」の確認画面が表示される場合があります。通常は電池の最適化をしないでください。最適化を行うとアプリが終了する場合があります。
- 電池の最適化を行った場合、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しません。アプリ/機能が利用できないなど、意図しない現象が発生することがあります。

■ 電池の最適化の設定

電池の最適化について、次の手順で設定することもできます。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アプリと通知] ▶ [特別なアプリアクセス] ▶ [電池の最適化]
 - 最適化していないアプリの一覧が表示されます。
- 2 [最適化していないアプリ] ▶ [すべてのアプリ]
- 3 アプリを選ぶ ▶ [最適化する] / [最適化しない] ▶ [完了]


ホーム画面

ホーム切替

利用するホームアプリを切り替えます。

- お買い上げ時は、端末に次のホームアプリが登録されています。
 - docomo LIVE UX
ドコモの端末向けに使いやすく最適化されたホームアプリです。
 - *かんたん*ホーム
シンプルなレイアウトで、アイコンと文字が大きく表示されるホームアプリです。

1 ホーム画面で[ホーム切替]



- ホーム画面で[]▶[設定]▶[ホーム切替]と操作しても、ホーム切替の設定項目が表示されます。

2 項目を選ぶ

- **ホーム切替**: ホームアプリを切り替えます。
- ***かんたん*ホーム一括切替**: ホームアプリを[*かんたん*ホーム]に切り替え、フォントサイズを[特大]に設定します。

docomo LIVE UX

ドコモが提供するホームアプリです。ホーム画面を直感的にカスタマイズすることができます。

docomo LIVE UXの詳細については、ホーム画面で[]▶[]▶[ヘルプ]を参照するか、以下のホームページをご覧ください。

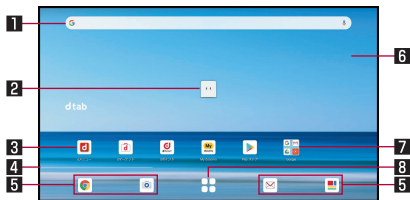
https://www.nttdocomo.co.jp/service/live_ux/index.html

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、アプリを起動したり、ウィジェットを利用したりすることができます。

すべてのアプリはアプリ一覧に格納されており、アプリアイコン(ショートカット)がホーム画面に配置されます。

- ホーム画面を左右にフリックするとページを切り替えられます。
- アプリの通知があるとき、アイコンやフォルダの右上にドット(点)または数字が表示される場合があります。



ホーム画面

1 ウィジェット

- ウィジェット (Google 検索™) を起動できます。

2 マチキャラ

- タッチすると知りたいことに対話で応えてくれます。

3 アプリアイコン(ショートカット)

- タッチすると、アプリを起動できます。
- ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。
[≡]が表示された場合は、ロングタッチして任意の場所までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。

4 インジケータ

- ホーム画面のページを切り替えたときに、現在の表示位置を示します。

5 ドック

- ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。

6 カスタマイズエリア

- アプリアイコン、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。

7 フォルダ

- 複数のアプリアイコンなどが格納されています。

8 アプリ一覧ボタン

- すべてのアプリを表示します。アプリを検索、おすすめアプリ (P.68「おすすめアプリを利用」) も利用できます。

ホーム画面の管理


■ アプリアイコンなどの移動

1 ホーム画面で移動するアイコンやウィジェットなどをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグ

- ホーム画面の端までドラッグすると、隣のページへ移動できます。また、最終ページの右端にドラッグすると、新しいページを追加できます。
- 他のアイコンと重なる位置にドラッグすると、フォルダを作成できます。

■ アプリアイコンを追加

- 1 ホーム画面で[]
- 2 ホーム画面にアイコンを追加したいアプリをロングタッチ
- 3 [ホーム画面に追加]
 - 同じアイコンを複数貼り付けることも可能です。

■ ウィジェットを追加

- 1 ホーム画面のアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[ウィジェット]
- 2 ホーム画面に追加したいウィジェットをロングタッチ
- 3 貼り付けたい位置までドラッグ

■ アプリアイコン／ウィジェット／フォルダをホーム画面から削除

- 1 ホーム画面で削除するアプリアイコン／ウィジェット／フォルダをロングタッチ
- 2 画面上部の[削除]までドラッグ
 - ホーム画面からアプリアイコンを削除しても、アプリ自体はアンインストールされません。

■ アプリのアンインストール

- 1 ホーム画面でアンインストールするアプリのアイコンをロングタッチ
 - フォルダ内のアプリをアンインストールする場合は、フォルダをタッチしてからアンインストールするアプリのアイコンをロングタッチします。
- 2 画面上部の[アンインストール]までドラッグ▶[OK]
 - アプリをアンインストールできない場合、[アンインストール]は表示されません。
 - アンインストールすると、アプリ一覧からもアプリが削除されます。

■ フォルダ名の変更

- 1 ホーム画面でフォルダを選ぶ
- 2 フォルダ名をタッチ
- 3 フォルダ名を入力
 - キーボードに表示される[完了]をタッチします。


■ ホーム画面の設定

1 ホーム画面のアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[ホーム設定]

2 項目を選ぶ

- **通知ドット**：アプリの通知があるときのドット(点)を表示するか設定できます。
 - ・ [通知ドットの許可]でON/OFFを設定できます。
- **ホーム画面にアイコンを追加**：新しいアプリをインストールした際に、ホーム画面に自動でアイコンを貼り付けるか、アプリ一覧だけに表示するか選択できます。
 - ・ 初期設定では、インストールしたアプリのアイコンはホーム画面に配置されます。
- **ホーム設定アイコン**：ホーム画面に[ホーム設定]のアイコンを表示するか設定できます。
- **壁紙設定**：ホーム画面とロック画面の壁紙を変更できます。
 - ・ ホーム画面のアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[壁紙]と操作しても、壁紙を変更できます。
- **マチキャラ設定**：マチキャラのON/OFFや、キャラ変更などマチキャラに関する設定ができます。
- **おすすめアプリ設定**：アプリ一覧画面に表示される「あなたにおすすめ」に関する設定ができます。
- **my daiz NOW表示設定**：ホーム画面の一番左にあるmy daiz NOWを表示するか設定できます。
- **マイマガジン起動設定**：マイマガジンの上フリック起動のON/OFFができます。
- **ホームの使い方**：ホーム画面のチュートリアルを確認できます。
- **ヘルプ**：ホーム画面の詳しい使いかたを確認できます。

アプリ一覧画面

ホーム画面で[]をタッチすると表示されます。アプリ一覧画面ではアプリを使用した順やインストールした順に一覧で探したり、アプリ名でアプリを検索することができます。また、今のあなたにおすすめのアプリを厳選して試してみることができます。



アプリ一覧画面

1 アプリ検索バー

- タッチすると文字入力でのアプリを検索することができます。

2 あなたにおすすめ

- おすすめアプリから、厳選したアプリを最大4つ表示します(☞P.68「おすすめアプリを利用」)。

3 すべてのアプリ

- 端末にインストールされているすべてのアプリが表示されます。タッチするとアプリが起動します。

4 もっと見る

- おすすめアプリ一覧へ遷移します(☞P.68「おすすめアプリを利用」)。

④ プルダウン

- アプリ一覧上のすべてのアプリを、つかった順、アプリ名順、インストール順に並び替えができます。

おすすめアプリを利用




お客様の利用状況に合わせて、アプリやサービスをおすすめします。

1 ホーム画面で[]

- アプリ一覧画面の[あなたにおすすめ]には、おすすめアプリ一覧の抜粋版が表示されています。おすすめアプリ一覧をもっと見たい場合は[もっと見る]をタッチします。

2 利用するアプリやサービスを選ぶ

- アプリの紹介画面またはサービスページが表示されます。


- おすすめアプリの一覧画面で[] ▶各設定の[] / [] をタッチすると、設定をON/OFFに切り替えることができます。
- docomo LIVE UXの利用規約に同意していない場合はアプリ一覧画面に[おすすめアプリ]と表示されます。[おすすめアプリ]をタッチすると利用の確認画面が表示され、[おすすめアプリを見る]をタッチすると利用規約が表示されます。利用規約に同意すると説明画面が表示されます。説明画面で[おすすめアプリへ]をタッチするとアプリの一覧画面が表示され、おすすめアプリの通知もONになります。

マイマガジン


マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様の好みに近づいていきます。お知らせの通知や位置情報、ドコモサービス契約情報などを利用したマイマガジンのカスタマイズが利用できるように設定することもできます。

■ 記事の見かた

1 ホーム画面で上にフリック

- ホーム画面で[]と操作しても、マイマガジンが起動します。
- 表示するジャンル選択画面が表示されたときは、ジャンルを選択し[OK]をタッチします。
- ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。
- 左右にフリックするとジャンルを切り替えられます。

2 読みたい記事をタッチ

- []をタッチすると、マイマガジンの設定を変更したり、ヘルプを確認したりすることができます。

■ 表示ジャンル設定

1 ホーム画面で上にフリック

- ホーム画面で[🏠]と操作しても、マイマガジンが起動します。

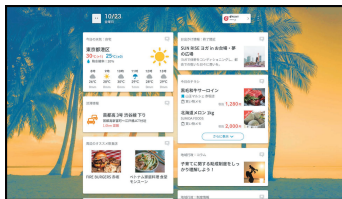
2 [🏠]▶[表示ジャンル設定]

- チェックを入れたジャンルがマイマガジン上に表示されるようになります。
- 右上の[🇨🇪]をタッチするとジャンルの並べ替えをすることができます。

my daiz NOW

my daiz NOWは、あなたの好みや行動に合わせて便利な情報をお届けするサービスです。天気や交通情報、グルメ情報などの生活に便利な情報が簡単にチェックできます。

■ 画面の見かた



1 ホーム画面で右にフリック

- 上下スワイプで表示するカードを切り替えることができます。
- 左にフリックするとホーム画面に戻ります。

2 読みたいカードをタッチ

- カードをタッチすると、より詳細な情報が閲覧できます。
- 画面左上に表示されるmy daiz(キャラクター)をタッチすると、知りたいことに対話で応えてくれます。

■ 表示設定

1 ホーム画面のアイコンなどが無い部分をロングタッチ▶[ホーム設定]

2 [my daiz NOW表示設定]

ホームアプリの情報

docomo LIVE UXのバージョン情報などが確認できます。

1 ホーム画面で[]▶[:]

2 [アプリ情報]

- docomo LIVE UXのアップデートがある場合には、アプリケーション情報画面に[今すぐアップデート]が表示され、タッチするとdocomo LIVE UXをアップデートできます。

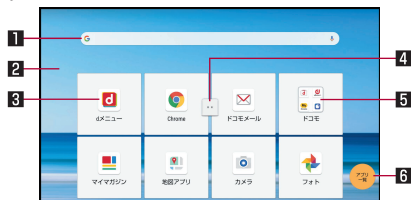
かんたんホーム

シンプルなレイアウトで、アイコンと文字が大きく表示されるホームアプリです。

- ウィジェット/ショートカットを配置するホーム画面、アプリが表示されるアプリ一覧画面で構成されます。

かんたんホームの見かた

ホーム画面を上にはスワイプするとアプリ一覧画面に切り替わります。



ホーム画面



アプリ一覧画面

1 ウィジェット

- Googleウィジェットでは、検索ボックスが表示されます。タッチすると、Google 検索を起動できます。

2 デスクトップシート

- ウィジェット/ショートカットを配置するシートです。左右フリックするとページを切り替えることができます。

3 アプリ

4 マチキャラ

- タッチすると知りたいことに対話で応えてくれます。

5 フォルダ

- フォルダをタッチ▶フォルダ名を選べると、フォルダ名を変更できます。フォルダ名が未設定のときは、[名前のないフォルダ]と表示されます。フォルダをタッチしてインジケータが表示されている場合は、左右フリックするとページを切り替えることができます。

6 アプリ一覧

- タッチするとアプリ一覧画面に切り替わります。

7 アプリを検索

- インストールされているアプリの検索などができます。[他のアプリを検索]をタッチすると、Google Playで検索できます(図P.98「Play ストア」)。

ホーム画面の管理

■ アプリ/ウィジェット/フォルダの移動

1 ホーム画面/アプリ一覧画面▶アプリ/ウィジェット/フォルダをロングタッチ

2 移動する位置にドラッグして、指を離す

- 各デスクトップシートの左右端までドラッグすると、ページを移動できます。また、最終ページの右端にドラッグすると、新しいページを追加できます。
- ホーム画面のアプリ/ウィジェット/フォルダをロングタッチ▶[削除]と操作すると、ホーム画面から削除できます。ホーム画面/アプリ一覧画面のアプリをロングタッチ▶[アンインストール]と操作すると、アンインストールできます。

- ホーム画面のアプリを削除してもアプリはアンインストールされません。
- アプリ一覧画面のアプリをロングタッチ▶[ホーム画面に追加]と操作すると、ホーム画面にアプリを登録できます。

■ ウィジェットの登録

- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分、または [アプリ一覧] をロングタッチ ▶ [ウィジェット]
- 2 追加するウィジェットをロングタッチ
 - ホーム画面が表示されます。
- 3 追加する位置にドラッグして、指を離す

機能のショートカットの利用

- 1 ホーム画面 / アプリ一覧画面 ▶ アプリをロングタッチして、指を離す
- 2 機能のショートカットを選ぶ
 - 利用できる機能のショートカットはアプリによって異なります。
 - 機能のショートカットをロングタッチ ▶ 登録する位置にドラッグして、指を離すとホーム画面に機能のショートカットを登録できます。

壁紙の設定






- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分、または [アプリ一覧] をロングタッチ ▶ [壁紙]
- 2 アプリを選ぶ
- 3 設定する壁紙を選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

ホーム画面の設定







- 1 ホーム画面でアイコンなどが無い部分、または [アプリ一覧] をロングタッチ ▶ [ホームの設定]
- 2 項目を選ぶ
 - **通知ドット** : アプリの通知について設定します。
 - [通知ドットの許可] をONにすると、アプリに通知がある場合にアプリのアイコンの右上に通知ドットが表示されます。
 - **通知ドットに件数表示** : 通知ドットを利用している場合に件数を表示するか設定します。
 - **ホーム画面にアイコンを追加** : 新しいアプリをダウンロードしたときにホーム画面にアプリのアイコンを追加するか設定します。








アプリ一覧

- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。
- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み(有料)が必要となるものがあります。
- インストールされているアプリは次のとおりです。







アイコン	アプリ	概要
	+メッセージ	携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージを送受信できるメッセージングアプリです。テキスト以外にも画像や動画、スタンプ等を送ることができます(☞P.80「+メッセージ」)。
	アシスタント	Google アシスタントを起動します。
	あんしんセキュリティ	ウイルス、危険サイト、危険Wi-Fiなどのセキュリティ対策がご利用いただけるアプリです。
	遠隔サポート	「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの機種 of 画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです(☞P.168「あんしん遠隔サポート」)。
	カメラ	カメラで撮影します(☞P.92「カメラについて」)。









アイコン	アプリ	概要
	カレンダー	スケジュールを管理します。
	災害用キット	災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです(☞P.87「緊急速報「エリアメール」」)。
	ジェスチャー操作設定	手の動きを認識して、画面に触らず操作できるアプリです。
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています(☞P.103「スケジュール」)。
	スプレッドシート	Google スプレッドシート™を使うと、スプレッドシートの作成や編集ができるほか、他のユーザーと共同編集することもできます。
	スライド	Google スライド™を使うと、プレゼンテーションの作成や編集ができるほか、他のユーザーと共同編集することもできます。
	設定	端末の各種設定をします(☞P.108「設定メニュー」)。
	地図アプリ	車・徒歩・電車など複数の移動手段に合わせてお出かけをトータルにサポートするアプリです。ナビゲーション機能など一部機能のご利用にあたっては別途有料サービスへのお申し込みが必要が必要です。



アイコン	アプリ	概要
	つながリンク	キッズ端末の連絡先などの編集や各種設定ができます。 ● キッズつながリンクの詳細については、シャープのホームページをご覧ください。 http://k-tai.sharp.co.jp/support/tsunagalink/
	データコピー	機種変更時のデータ移行や、microSDカードへのバックアップ・復元ができるアプリです(※P.105「ドコモデータコピー」)。
	データ保管BOX	データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。
	電卓	電卓を利用します。
	ドキュメント	Google ドキュメントを使うと、ドキュメントの作成や編集ができるほか、他のユーザーと共同編集することもできます。
	時計	アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用します(※P.101「時計」)。

アイコン	アプリ	概要
	ドコモ電話帳	ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます(※P.77「電話帳」)。
	ドコモメール	ドコモのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます。dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます(※P.80「ドコモメール」)。
	ドライブ	画像や動画などをGoogle ドライブ™に保存したり、共有したりすることができます。
	取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
	ニュース	Google ニュース™は、あなたの関心に合わせて、世界中の出来事を整理してお届けするスマートなニュースアプリです。
	フォト	静止画や動画を表示・編集したり、管理することができます(※P.97「フォト」)。
	ポッドキャスト	Google ポッドキャストは、Android™ユーザー向けの新しいポッドキャストプレーヤーです。

アイコン	アプリ	概要
	マイマガジン	お客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです(☎P.68「マイマガジン」)。
	マップ	現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます(☎P.100「マップ」)。
	メモ	メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています(☎P.105「メモ」)。
	レンズ	カメラや写真を使って目の前にあるものを検索したり、作業を効率化したり、周囲のものについて調べたりすることができます。
	ローソン	ローソンの公式アプリです。ケータイが会員カード代わりになるデジタル会員証の表示や店舗検索、おトクなお試し引換券のチェックができます。
	Amazon Kindle	Amazonで購入した書籍を読むための電子書籍リーダーアプリです。
	Chrome	パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示します(☎P.89「Chrome」)。
	dキッズ	お子様が興味や好奇心を持つ「学べる」「遊べる」「楽しめる」知育コンテンツが満載です。 お子様の使いすぎ防止など、安心して利用できる機能も搭載しています。

アイコン	アプリ	概要
	dフォト	写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。また、クラウドや本端末にある写真をフォトブックにできるサービスもあります(ご利用には別途有料サービスへのお申し込みが必要です)。
	dポイント	dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。
	dマーケット	音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています(☎P.98「dマーケット」)。
	dメニュー	「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、ドコモのおすすめるサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます(☎P.98「dメニュー」)。
	Duo	ビデオ通話を利用します。
	Files	本体メモリやmicroSDカードの画像・動画・オーディオ・ダウンロードしたデータなどのコンテンツを管理することができます。

アイコン	アプリ	概要
	Gmail	Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます(※P.86「Gmail」)。
	Google	端末内やサイトの情報を検索します。
	Google One	Google One™はストレージを拡張するシンプルなプランです。Googleを有効に活用していただける特典も含まれています。
	Google Pay	Google Pay™では、買い物に必要な情報を端末に保存しておくことができます。
	my daiz	話しかけるだけで簡単に情報検索を行ったり、あなたに必要な情報を最適なタイミングでお届けするサービスです。天気や乗換えの他に、レシボ検索や宅配調整などの提携サービスを追加でき、便利にご利用いただくことができます。
	My docomo	お客様のご利用データ量・ご利用料金・dポイントなどの確認、各種手続き・お申し込みもオンラインで行えます。
	Play ストア	Google Playを利用します(※P.98「Play ストア」)。
	Playムービー & TV	映画をレンタルしたり、視聴したりすることができます。

アイコン	アプリ	概要
	YouTube	YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。
	YT Music	音楽を再生します。

- アプリによっては、初回起動時にダウンロードが必要な場合があります。アプリのダウンロードには別途ポケット通信料がかかります。
- インストールされているアプリの中には、アンインストールできるものもあります。アンインストールしたアプリはPlay ストア(※P.98「Play ストア」)などから再度ダウンロードできる場合があります。次のサイトをご確認ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/>
- 本製品はQualcomm® aptX™ Adaptive Audioに対応しています。

電話帳

電話帳

ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。

電話帳の登録

1 ホーム画面で[☰]▶[ドコモ電話帳]

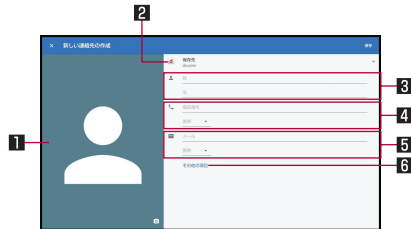
- クラウドの利用についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、[利用する]／[利用しない]を選択してください。

2 [●]

- 新しい連絡先のデフォルト アカウント 選択画面が表示された場合は、デフォルトで設定されるアカウントを選択してください。
 - デフォルトで設定されるアカウントは[新しい連絡先のデフォルト アカウント]で変更することができます(※P.79「電話帳を設定」)。

3 各項目を設定

- 登録できる情報はアカウントの種類によって異なります。



1 画像

- メールの送受信時や連絡先確認時に表示する画像を登録します。

2 アカウント

- 連絡先を登録するアカウントです。
- タッチして登録するアカウントを選択してください。

3 名前

4 電話番号

5 メールアドレス

6 その他の項目

- 住所や誕生日、ラベルなどの情報を登録します。

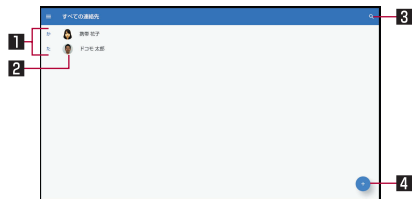
4 [保存]

電話帳の確認／利用

登録した連絡先を呼び出してメールを送信できます。

1 ホーム画面で[☰]▶[ドコモ電話帳]

2 名前を選ぶ



1 連絡先

2 画像

3 検索アイコン

4 新規作成アイコン

3 登録情報を確認／利用する



1 画像

2 名前

3 登録内容

● 登録内容を確認／利用できます。

4 お気に入り

● お気に入りに設定した連絡先は、電話帳の上部に表示されます。

5 編集

6 アクションアイコン

● [SMS]: 選択した電話番号を宛先としてSMS(+メッセージ)を作成します。

● [地図]: 現在地から選択した住所までの経路情報を表示します。

■ 表示するラベルやアカウントを選択

1 ホーム画面で[☰] ▶ [ドコモ電話帳]

2 [☰]

3 ラベルやアカウントを選ぶ

- ラベルの作成: [ラベルを作成] ▶ アカウントを選ぶ ▶ 名前を入力 ▶ [OK]

■ 連絡先の設定

1 ホーム画面で[☰] ▶ [ドコモ電話帳]

2 名前を選ぶ ▶ [☰]

3 項目を選ぶ

- **統合**: 複数の連絡先の登録内容を、1つの連絡先にまとめます。
- **削除**: 連絡先を削除します。
- **共有**: 連絡先のデータを別の端末に送信したり、クラウド上に保存したりできます。
- **ショートカットを作成**: ホーム画面に連絡先のショートカットを作成します。

電話帳を設定

1 ホーム画面で[☰] ▶ [ドコモ電話帳]

2 [☰] ▶ [設定]

3 項目を選ぶ

- **ユーザー情報**: ユーザー情報を入力します。
- **クラウドメニュー**: クラウドとの同期について、操作や設定を行います。
- **dアカウント設定**: ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、端末に登録されている生体情報(指紋)を利用したdアカウント認証の設定もできます。
- **海外利用設定**: クラウドとの同期や設定など、通信を伴う機能を海外でも利用するか設定します。
- **利用状況レポート設定**: ドコモ電話帳の機能向上のために、アプリ利用状況を収集して情報送信するか設定します。
 - クラウドの利用開始と連動して[ON]になります。情報送信しない場合は、[OFF]に設定してください。
- **アカウント**: アカウントについてはP.40「Googleなどのアカウントの設定を行う」
- **新しい連絡先のデフォルト アカウント**: 連絡先を登録する際に、デフォルトで設定されるアカウントを選択します。
- **表示する連絡先**: 電話帳に表示する連絡先について設定します。
- **フリガナ(名前)**: 連絡先を登録する際の、フリガナ欄の表示について設定します。
- **インポート**: 連絡先データを読み込みます。
- **エクスポート**: 連絡先データを書き出します。書き出したデータを共有することができます。

メール／ウェブブラウザ

ドコモメールや＋メッセージ、Gmailなどを利用して、メッセージを送受信したり、Chromeを利用してサイトを表示したりできます。

ドコモメール

ドコモのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます。

送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

- ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で[✉]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

+メッセージ

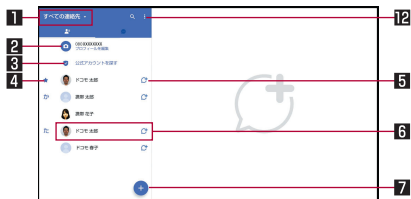
携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージだけでなく、画像、動画、スタンプ等をチャット形式で送受信できます。また、1対1でのメッセージのやりとりだけではなく、複数人でのグループメッセージのやりとりもできます。

- +メッセージを利用していない相手とは、+メッセージアプリでショートメッセージサービス(SMS)での送受信をすることができます。また、公式アカウントを利用することで企業とのメッセージのやりとりを行うことができます。
- +メッセージの詳細については、ホーム画面で[+メッセージ] ▶ [⋮] ▶ [マイページ] ▶ [ヘルプ] ▶ [使い方ガイド]を参照するか、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/service/plus_message/

1 ホーム画面で[+メッセージ]

- [👤]をタッチすると連絡先一覧画面が、[⋮]をタッチするとメッセージ一覧画面が表示されます。



連絡先一覧画面



メッセージ一覧画面

1 切替タブ

- タッチすることで、すべての連絡先を表示するか、+メッセージの利用者([+])のアイコンが表示されている連絡先のみを表示するか、切り替えることができます。

2 マイプロフィール

- お客様の連絡先が表示されています。タッチすることでマイプロフィールを表示・編集できます。

3 公式アカウントを探す

- タッチすると公式アカウントストアが表示されます。

4 お気に入りの連絡先

- お気に入りに設定した連絡先が連絡先一覧の上段、[公式アカウントを探す]の下に表示されます。

5 +

- +メッセージを利用している連絡先を表すアイコンです。このアイコンが表示されている連絡先とグループメッセージのやりとりができたり、写真、スタンプ等をやりとりしたりすることができます。

6 連絡先

- タッチすることで、連絡先の詳細を確認することができます。

7 +

- タッチすることで連絡先を追加できます。

8 プロフィール画像

- 相手のプロフィール画像が表示されます。連絡先に登録されたプロフィール画像より、相手が登録したプロフィールの画像が優先して表示されます。

9 メッセージ

- タッチするとメッセージ画面を表示することができます。

10 公式アカウント

- 企業が運営しているアカウントです。アイコンが丸囲いの四角(□)で表示されます。

11 ✓

- ドコモの審査を通過したことを示す認証済みマークです。

12 ⋮

- サブメニューを表示します。
 - ・ [すべて既読]: 未読メッセージをすべて既読にします。
 - ・ [メッセージの並べ替え]: メッセージの並べ替えを行います。
 - ・ [マイページ]: マイページを表示します。マイページではプロフィールの編集、設定、スタンプストアなどが利用できます。

13 +

- 新しいメッセージと新しいグループメッセージを作成できます。

メッセージを送信する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 [🗨️] ▶ [+] ▶ [新しいメッセージ] / [新しいグループメッセージ]

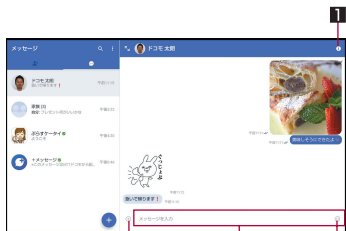
- グループメッセージとは、+メッセージサービス利用者(連絡先に[👥]マークがついている人)複数人でメッセージのやりとりができる機能です。

3 宛先を選ぶ

- 連絡先に登録されていない宛先に送信する場合は、[名前や電話番号を入力]をタッチし、電話番号を直接入力してください。
- グループメッセージの場合は、宛先を複数選択後、[OK]をタッチしてください。

4 メッセージ入力欄をタッチして文字を入力▶ [▶]

- 宛先が+メッセージ利用者であれば、写真や動画、スタンプを送信できます。



2 3 4



5



6 7 8 9 10 11 12

1 **i**

- サブメニューを表示します。
- 連絡先の登録や、通知設定の変更などができます。

2 **+**

- 写真やスタンプ、位置情報などを送信するためのシエアトレイを表示します。
- シエアトレイを表示すると、画像送信や音声録音などの機能が使用できます。

3 **メッセージ入力欄**

- メッセージを入力することができます。

4 **😊**

- スタンプ選択画面に切り替えます。

5 **➤**

- 入力したメッセージを送信します。

6 **Aa**

- テキスト入力画面に切り替えます。

7 **📷**

- 画像選択画面に切り替えます。

8 **📷**

- タッチするとカメラが起動します。ロングタッチすると、写真が撮影されそのまま送信することができます。

9 メッセージ配信状態

- メッセージの配信状態を表示します。
- [✓]: 相手がメッセージを閲覧済み
送受信者両方の「メッセージの既読機能」設定がオンの場合のみ、お互いの既読状態を確認できます。
- [✓]: 相手が端末にメッセージを受信済み
- アイコン表示なし: サーバにメッセージを送信済み
- [✗]: メッセージ送信に失敗

10

- 連絡先/スケッチ/ファイル共有が選択できます。

11

- 地図画面に切り替えます。

12

- 音声録音画面に切り替えます。

ショートメッセージサービス(SMS)についてのお知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様の間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に「#」または「★」がある場合、SMSを送信できません。
- 宛先の電話番号に184/186を付与した場合はSMSを送信できません。

+メッセージについてのお知らせ

- 海外ローミングにより+メッセージアプリをご利用いただくには、+メッセージアプリにて海外ローミング時の+メッセージ利用設定を「オン」に設定していただく必要があります(初期設定は「オフ」に設定されています)。また、端末のデータローミングの設定を「オン」にしてください。
- 機種変更前、またはMNPによる転入前端末で+メッセージを利用されていた場合であっても、メッセージの受信を行うには+メッセージアプリを起動し、+メッセージ利用規約等に同意いただく必要があります。

メッセージを読む

送受信したメッセージは、宛先/送信者ごとにスレッドにまとめて表示されます。

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 [🗨️] ▶ 読みたいメッセージのスレッドを選ぶ

- メッセージを返信する際に使用する各機能については、「メッセージを送信する」(P.82)をご参照ください。

メッセージを転送する

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
- 2 [🗨️] ▶ スレッドを選ぶ
- 3 転送するメッセージをロングタッチ ▶ [➡️]
- 4 宛先を選ぶ ▶ メッセージを入力 ▶ [👤]

メッセージを削除する

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
 - 2 [🗨️] ▶ スレッドを選ぶ
 - 3 削除するメッセージをロングタッチ ▶ [🗑️] ▶ [削除]
- 本端末上のメッセージのみ削除され、相手側のメッセージは削除されません。
なお、削除したメッセージは元に戻すことができません。

スレッドを削除する

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
- 2 [🗨️] ▶ 削除するスレッドをロングタッチ
- 3 [🗑️] ▶ [削除]
 - グループメッセージのスレッドを削除すると、グループから退出されます。

+メッセージの設定を変更する

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
- 2 [⋮] ▶ [マイページ] ▶ [設定]
- 3 項目を選ぶ
 - **メッセージ**:メッセージに関する設定や、バックアップ・復元などができます。
 - **公式アカウント**:公式アカウントの通知音設定ができます。
 - **写真や動画**:送受信時の写真や動画などの添付ファイルなどに関する設定ができます。
 - **テーマカラー・背景**:テーマカラーやメッセージ画面の背景が設定できます。
 - **通知**:通知に関する設定ができます。
 - **プライバシー**:パスコードやブロックなどが設定できます。
 - **その他**: [ユーザー情報引き継ぎ] や [+メッセージサービスの初期化] などができます。

公式アカウント機能を利用する

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
- 2 [📧] ▶ [公式アカウントを探す]
- 3 公式アカウントストアで利用したいアカウントを選ぶ
- 4 [利用規約に同意し、この公式アカウントを利用します]のチェックボックスをタッチ
- 5 [利用する]

Gmail™

Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- GoogleアカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。
- Gmailについて詳しくは、Gmail画面で[☰] ▶ [ヘルプとフィードバック]と操作して、ヘルプを参照してください。

1 ホーム画面で「Google」を選ぶ ▶ [Gmail]

2 [+]

3 宛先を入力

- Cc/Bcc入力欄の追加:宛先入力欄の[∨]をタッチ

4 件名、本文を入力

- ファイルの添付:[📎] ▶ ファイルの添付方法を選ぶ ▶ 添付するファイルを選ぶ

5 [▶]

メールの表示

1 ホーム画面で「Google」を選ぶ ▶ [Gmail]

2 メールを確認する

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、気象等に関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件まで保存できます。最大保存件数を超えると、受信日時が古いエリアメールから順に削除されます。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
 - 電源オフ時
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
 - ソフトウェアアップデート中
 - PINコード入力画面表示中
 - 他社のSIMカードをご利用時
 - 圏外/サービスエリア外時
- 端末のメモリの空き容量が少ないとき、テザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメール(緊急地震速報)を再度受信することはできません。エリアメール(津波警報、気象等に関する特別警報、災害・避難情報)は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

- 1 エリアメールを自動的に受信
- 2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーにアイコンが表示され、エリアメールの本文が表示される

■ 受信したエリアメールをあとで確認する

- 1 ホーム画面で[☰]▶[災害用キット]
- 2 [緊急速報「エリアメール」]
- 3 メールを選ぶ

■ エリアメールを削除する

- 1 ホーム画面で[☰]▶[災害用キット]
- 2 [緊急速報「エリアメール」]
- 3 メールを選ぶ
- 4 [削除]▶[OK]

緊急速報「エリアメール」を設定する

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

1 ホーム画面で[] ▶ [災害用キット] ▶ [緊急速報「エリアメール」] ▶ [:] ▶ [設定]

2 項目を選ぶ

- **エリアメールの許可**: エリアメールを受信するかどうかを設定します。
- **エリアメールの履歴**: 受信したエリアメールの一覧を表示します。
- **バイブレーション**: エリアメール受信時のバイブレーションを設定します。
- **メッセージ受信を再通知する**: 受信したエリアメールを再通知させるかどうかを設定します。
 - 再通知は専用音とバイブレーションでお知らせします。
 - [1回]を設定した場合、エリアメールを受信した2分後に1回だけ再通知されます。
 - [2分毎]を設定した場合、エリアメールを受信した2分後から2分おきに最大3回再通知されます。
 - [15分毎]を設定した場合、エリアメールを受信した15分後から15分おきに最大3回再通知されます。

- **最大音量を使用する**: エリアメール受信時の音量を設定します。
 - ONにした場合、マナーモード設定時においても最大音量で鳴動します。
 - OFFにした場合、アラーム音量に従って鳴動します。
- **受信画面および着信音確認**: 緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報／気象等特別警報のエリアメールを受信したときの受信画面とブザー音・着信音を確認します。
- **やさしい日本語表示**: 緊急地震速報、津波警報をわかりやすい日本語で表示するかどうかを設定します。
- **翻訳・アプリ連携設定**: 受信内容を翻訳したり、他のアプリとの連携機能を利用するかどうかを設定します。

Chrome

パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できません。

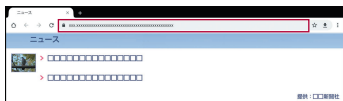
サイトの表示

1 ホーム画面で[🌐]

- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

■ サイトの検索

1 URL入力欄をタッチ



2 キーワードを入力▶キーワードを選ぶ

- 入力した文字を含むキーワードを一覧表示します。
- キーワードを最後まで入力して[実行]でも検索できます。
- ページの再読み込み:Chrome画面で[🔄]

■ 新しいタブを開く

1 Chrome画面で[+]

- 新しいタブが表示されます。タブを選択することで、表示するサイトを切り替えることができます。
- タブを閉じる:Chrome画面で[✕]

■ シークレット タブを開く

閲覧履歴や検索履歴を残さずにサイトを表示できます。

1 Chrome画面で[::]▶[新しいシークレット タブ]

- シークレット タブで表示中はURL入力欄の周囲が灰色で表示されます。

2 URL入力欄をタッチ▶キーワードを入力▶[実行]

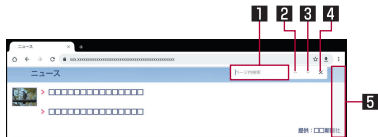
- シークレット タブを閉じる:Chrome画面で[✕]

- シークレット タブで表示したサイトはChromeの履歴には残りません(※P.91「履歴からのサイト表示」)。また、シークレットタブをすべて閉じると、Cookieなどの記録も削除されます。シークレットタブでもファイルのダウンロードやブックマークの登録は行えます。

■ ページ内の文字の検索

1 Chrome画面で[:]▶[ページ内検索]

2 検索する



1 キーワード入力欄

- 検索するキーワードを入力します。

2 前へ

3 次へ

4 検索終了

5 検索結果バー

- タッチした検索結果に移動できます。

■ 文字のコピー

1 Chrome画面でコピーする文字をロングタッチ

2 始点から終点までドラッグ

- コピー範囲の変更:[●]/[●]をドラッグ

3 [コピー]

■ 便利な機能

リンクを新しいタブで表示したり、画像などをダウンロードしたりできます。

1 Chrome画面でリンク／画像をロングタッチ▶ 利用する機能を選ぶ

Chromeの設定

1 Chrome画面で[:]▶[設定]

2 項目を選ぶ

- **Chrome にログイン**: GoogleアカウントでChromeにログインします。同じアカウントでChromeを利用していた際のタブやブックマーク、履歴などの情報を同期できます。
- **同期と Google サービス**: 同期設定やGoogleサービスを設定します。
- **検索エンジン**: URL入力欄から検索するときに利用する検索エンジンを設定します。
- **パスワード**: パスワードの保存について設定します。
- **お支払い方法**: フォームに自動入力するお支払い方法について設定します。
- **住所やその他の情報**: フォームに自動入力する住所やその他の情報について設定します。
- **通知**: Chromeからの通知について設定します。
- **ホームページ**: ホームページを設定します。
- **テーマ**: Chromeのテーマを設定します。
- **プライバシー**: 利便性向上のために閲覧情報が使用される機能について設定します。

- **ユーザー補助機能**:文字のサイズやズームなどの画面表示について設定します。
- **サイトの設定**:サイトの表示についてや、サイトが利便性向上のために使用できる情報について設定します。
- **言語**:サイトを表示する言語を設定します。表示可能な場合、設定した言語で表示できます。
- **ライトモード**:データ使用量を抑えるようにするか設定します。
- **ダウンロード**:ファイルや記事のダウンロードについて設定します。
- **Chrome について**:Chromeの情報を確認できます。

ブックマークや履歴の利用

■ ブックマークの登録

1 Chrome画面で[☆]

■ ブックマークからのサイト表示

1 Chrome画面で[:]▶[ブックマーク]

2 ブックマークを選ぶ

■ 履歴からのサイト表示

1 Chrome画面で[:]▶[履歴]

2 履歴を選ぶ

カメラ／フォト

カメラについて

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

- カメラの有効画素数や記録ファイル形式、ズームの最大倍率などについてはP.169「主な仕様」
- 縦画面で撮影する場合、[縦画面の反転]で画面表示の上下を反転できます(P.117「ディスプレイ」)。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部が指紋や油脂などで汚れると、ピントが合わなくなったり、画像がぼやけることがあります。撮影する前に、柔らかい布などで拭いてください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- カメラのレンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとする、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうことがありますので、ご注意ください。

- 内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、撮影データを保存し、自動終了します。
- 電池残量が少ないと、撮影中に電源が切れる恐れがあります。カメラを使用する場合は事前に十分な充電を行ってください。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪などがつかないようにしてください。
- 撮影解像度を大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなる場合があります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりすることがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、[ちらつき防止]をONにしたりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できる場合があります。
- 撮影した静止画は、DCF 1.0準拠(Exif Ver.2.2、JPEG準拠)の形式で保存されます。
- カメラの設定や撮影環境によっては、本端末の内部温度が高くなり、撮影が停止する場合があります。
- microSDカードへ保存中に他のアプリからmicroSDカードを利用した場合、保存に失敗することがあります。

著作権・肖像権について

お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などとすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用になれませんので、ご注意ください。お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

■ カメラを使用中の動作について

- シャッター音の音量は変更できません。

■ カメラの撮影解像度

設定できる撮影解像度は次のとおりです。

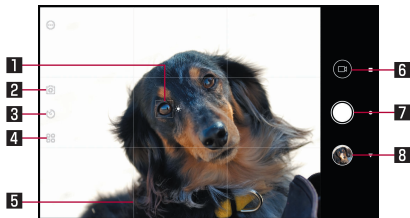
静止画撮影

アウトカメラ	4:3	8メガピクセル
	16:10	7メガピクセル
	16:9	6メガピクセル
インカメラ	4:3	8メガピクセル
	16:10	7メガピクセル
	16:9	6メガピクセル

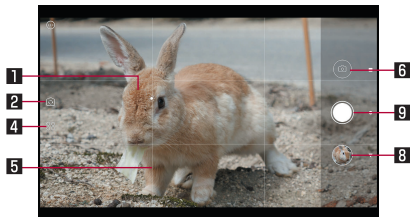
動画撮影

アウトカメラ	FHD 1080p
	HD 720p
	SD 480p
インカメラ	FHD 1080p
	HD 720p
	SD 480p

撮影画面の見かた



静止画撮影画面



動画撮影画面

1 フォーカスマーク

- 被写体をタッチするとフォーカスマークが表示されます。被写体にフォーカスが合うと、フォーカスマークの右側に [🔍] が表示されます。
 - [🔍] を上下にスライドすると、明るさを調整できます。
 - カメラの向きを変えるなどしてオートフォーカスが動作したり、別の被写体をタッチしたりするとフォーカスは解除されます。また、明るさの設定も解除されます。
- 静止画撮影時に人の顔を検出した場合は、自動でフォーカスマークを表示します。

2 イン/アウトカメラ切替

3 セルフトイマー

- タッチするとセルフトイマーの設定を [OFF] / [3秒] / [5秒] / [10秒] から選択できます。

4 撮影メニュー

- 利用できる撮影メニューが表示されます (P.95「撮影メニューの切替」)。

5 ガイド線

- [ガイド線] を設定していると表示されます (P.96「カメラの設定」)。

6 静止画撮影/動画撮影切替

- タッチすると静止画撮影/動画撮影を切り替えることができます。

7 静止画撮影

- 静止画を撮影します。

8 直前に撮影したデータ

- 直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。タッチするとデータの確認などができます。

9 動画撮影開始

- 動画を撮影します。

■ 動画撮影中画面



1 静止画撮影

2 動画撮影停止

3 撮影時間

■ 撮影メニューの切替

1 ホーム画面で[📷]

2 [📷]

3 項目を選ぶ

- **スクエア**: 正方形の静止画を撮影します。
- **タイムラプス(3倍速)**: 時間の流れを早回しして、時間を凝縮した動画を撮影します。
- [✕] をタッチすると撮影メニューを終了します。

[タイムラプス(3倍速)]について

- アウトカメラで利用できます。
- 再生スピードが3倍速になるように設定されています。変更はできません。

静止画の撮影

1 ホーム画面で[📷]

2 [📷]

- [📷] が表示されているときは、操作する必要はありません。

3 本端末のカメラを被写体に向ける

- 撮影画面の操作についてはP.94「撮影画面の見かた」
- ズーム: ピンチアウト/ピンチイン

4 [📷]/[+] / [-]

- [連写撮影] がONの場合、[📷] をロングタッチ、または [+] / [-] を1秒以上押すと、静止画を連続撮影することができます (P.96「カメラの設定」)。

動画の撮影

1 ホーム画面で


2

- が表示されているときは、操作する必要はありません。

3 本端末のカメラを被写体に向ける

- 撮影画面の操作についてはP.94「撮影画面の見かた」
- ズーム:ピンチアウト/ピンチイン

4 /(+)

- 動画撮影中にをタッチすると静止画の撮影ができます。

5 /(+)

カメラの設定




- 静止画撮影/動画撮影や撮影メニューなどによって、設定項目の有無は異なります。

1 ホーム画面で

2 /

3

4 項目を選ぶ

- **HDR**:逆光などコントラストが強いシーンで、白とび/黒つぶれを軽減して撮影するHDR機能の設定をします。
- **写真の手ブレ補正**:手ぶれを補正するか設定します。
- **ちらつき防止**:ONにすると、蛍光灯によるちらつきを補正します。テレビやパソコンの画面などを撮影する際に有効な設定です。OFFのときは、被写体ぶれや手ぶれの補正を優先します。
- **連写撮影**:をロングタッチ、または/を1秒以上押し、静止画を連続撮影するか設定します。
- **ガイド線**:撮影画面にガイド線を表示するか設定します。
- **インカメラのミラーモード**:インカメラで撮影した静止画を左右反転して保存するか設定します。
- **位置情報付加**:位置情報を付加するか設定します。
- **保存先設定**:保存先を設定します。
- **解像度**:静止画/動画の解像度を切り替えます。
- **設定リセット**:設定をリセットします。

【保存先設定】について

- 本端末を管理者以外のユーザーやゲストが使用している場合、保存先は本体のみとなります。

フォト

静止画や動画を表示・編集したり、管理することができます。

1 ホーム画面で「Google」を選ぶ▶[フォト]

2 データを選ぶ

- データをゴミ箱に移動: データをロングタッチ▶[🗑️]▶[ゴミ箱に移動]

3 データを確認する

- 「フォト」アプリはPlayストアより更新することができます。最新バージョンでは操作方法が変わることがあります。更新された場合は、フォト画面で[≡]▶[ヘルプとフィードバック]と操作し、内容をご確認ください。
- 不要な静止画や動画はゴミ箱に移動しても、本端末からは削除されていません。ゴミ箱を空にすると本端末から削除できます。
- 以前利用していた端末で撮影したデータがmicroSDカード内に保存されている場合などは、ステータスパネルの通知詳細情報に「写真の整理」の通知が表示されることがあります。表示された場合は、通知内容をご確認いただき、写真の整理を行ってください。

データの複数選択について

- データ一覧画面でデータをロングタッチするとデータ選択画面に切り替わります。他のデータをタッチして複数のデータを選択することができます。

■ ゴミ箱を空にする

1 フォト画面で[≡]▶[ゴミ箱]

2 [:]▶[ゴミ箱を空にする]▶[削除]

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で[dメニュー]

- dメニューをご利用になる場合は、ネットワークに接続されていることをご確認ください(※P.56「主なステータスアイコン一覧」)。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。

1 ホーム画面で[dマーケット]

- dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
<https://d.dmkt-sp.jp/common/about/index.html>

Play ストア

Google Playを利用すると、便利なアプリや楽しいゲームを端末にダウンロード、インストールすることができます。

- あらかじめGoogleアカウントを設定しておいてください(※P.40「Googleなどのアカウントの設定を行う」)。

1 ホーム画面で[Play ストア]

- ヘルプの表示:[≡]▶[ヘルプとフィードバック]
- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うこととなります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様がPlay ストアからインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。

アプリの購入

1 Google Play画面で購入するアプリを選ぶ

2 価格をタッチ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 無料のアプリのとき:[インストール]
- アプリの初回購入時は、画面の指示に従って支払い方法を設定してください。
- アプリの購入後規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリに対して返金要求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金要求はできません。アプリ購入時の支払い方法や返金要求の規定などについては、Google Play画面で[≡]▶[ヘルプとフィードバック]をご覧ください。

- ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとにアンインストールしたアプリの再ダウンロードには料金はかかりません。
- 同じGoogleアカウントを設定しているAndroidデバイスが複数ある場合、購入したアプリは他のデバイスすべてに無料でダウンロードすることができます。
- Google Playからのアプリの購入および返金などについては、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

■ アプリのアンインストール

1 Google Play画面で[≡]▶[マイアプリ & ゲーム]

2 [インストール済み]

3 アンインストールするアプリを選ぶ

4 [アンインストール]▶[OK]

GPS／ナビ

マップを利用して、ストリートビューを表示したり、ルートの検索をしたりできます。また、表示中の地図の周辺施設をジャンル別に検索することもできます。

GPS機能の利用

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して端末の位置情報を取得する機能です。現在地を測位するためには、[位置情報の使用]をONに設定する必要があります(☞P.123「位置情報」)。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、端末の故障や誤動作、停電などの外部要因(電池切れを含む)によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化や電波の停止など)される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では、電波を受信できない、または受信しにくい状態のため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
 - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
 - 建物の中や直下
 - 地下やトンネル、地中、水中
 - 高圧線の近く
 - 自動車や電車などの室内

- 大雨や雪などの悪天候
- かばんや箱の中
- 端末の周囲に障害物(人や物)がある場合
- GPSアンテナ付近を手で覆い隠すように持っている場合
- 海外でGPS機能を利用するときは、各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報(緯度経度情報)に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- 現在地を測位する際に、自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得し、パケット通信料がかかる場合があります。
- 位置情報から地図を表示した場合などは、パケット通信料がかかります。

マップ

現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます。

- 現在地を測位するためには、[位置情報の使用]をONに設定する必要があります(☞P.123「位置情報」)。
- マップについて詳しくは、マップ画面で[☰]▶[ヘルプ]と操作して、ヘルプを参照してください。

1 ホーム画面で「Google」を選ぶ▶[マップ]

2 マップを利用する

時計

アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用できます。

アラーム

指定した時刻にアラーム音やバイブレーションでお知らせします。

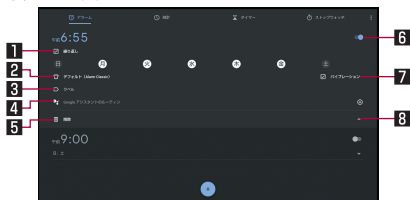
1 ホーム画面で[時計] ▶ [時計] ▶ [アラーム]

2 登録先の時刻をタッチ

- 登録先の追加: [+]

3 時刻を選ぶ ▶ [OK]

4 各項目を設定



1 繰り返し

- 繰り返しを設定します。

2 アラーム音

- アラーム音を設定します。

3 ラベル

- ラベルを入力します。

4 Google アシスタントのルーティン

- アラームを解除したときにGoogle アシスタントが行う動作を設定します。

5 削除

- アラームを削除します。

6 アラームON/OFF

- アラームの有効/無効を切り替えます。

7 バイブレーション

- バイブレーションを利用するか設定します。

8 表示切替

- アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。

■ アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 アラーム鳴動中に[⏏]を[🔕]までスライド

- スヌーズの利用: [⏏]を[🔕]までスライド

ディスプレイの表示中に止める

タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中にアラーム設定時刻になると、アラーム通知が表示されます。通知を利用してアラームを止めることができます。

1 アラーム鳴動中に[解除]

- スヌーズの利用: [スヌーズ]

■ アラーム音量の設定

1 アラーム画面で[🔊]▶[設定]

2 アラームの音量欄で音量を調節

世界時計

世界各地の都市の時刻を表示できます。

1 ホーム画面で[🕒]▶[時計]▶[時計]

2 [🌐]

3 都市を選ぶ

タイマー

設定した時間が経過したときに、アラーム音でお知らせします。

1 ホーム画面で[🕒]▶[時計]▶[タイマー]

2 時間を入力▶[🕒]

- 時間を1分追加: [+1:00]
- カウントダウンの停止: [🔕]
- カウントダウンのリセット: [リセット]
- 設定した時間が経過すると、アラーム音でお知らせします。
 - ・アラーム音の停止: [🔕]
- タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中にタイマー設定時刻になると、通知が表示されます。通知の[停止]をタッチして、アラームを止めることができます。また、[1分追加]をタッチすると、タッチしてから1分後にアラームでお知らせします。

■ 名称の変更

1 タイマー画面で[ラベル]

2 名称を入力▶[OK]

■ タイマーの追加

1 タイマー画面で[タイマーを追加]

- タイマーの切替: 上下にスライド

■ タイマーの削除

1 タイマー画面で[削除]

ストップウォッチ

ストップウォッチを利用して時間を計測します。ラップタイム(経過時間)/スプリットタイム(合計経過時間)も計測できません。

1 ホーム画面で[時計] ▶ [ストップウォッチ]

2 [▶]

- ラップタイム/スプリットタイムの計測:[ラップ]

3 [⊞]

- 計測結果の共有:[共有]
- 計測結果のリセット:[リセット]

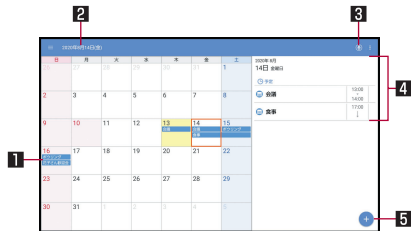
- ラップタイム/スプリットタイムを99件まで表示できます。

スケジュール

スケジュールを作成・管理できるアプリです。

1 ホーム画面で[🗄️] ▶ [スケジュール]

2 スケジュールを確認する



1 登録されているスケジュール

2 選択している日付、祝日名

3 音声入力

- 音声入力でmy daizを利用できます。

4 選択している日付のスケジュール

- 各スケジュールをロングタッチすると、編集や削除などができます。

5 新規作成

■ スケジュールの設定

1 スケジュール画面で[☰] ▶ [設定]

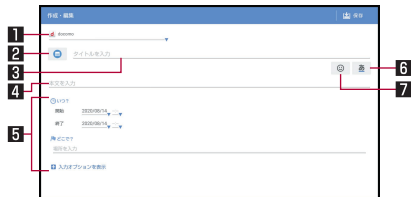
2 項目を選ぶ

- **アラーム**: アラームについて設定します。
- **起動画面**: スケジュールを起動したときの表示方法を設定します。
- **開始曜日**: カレンダーの開始曜日を設定します。
- **誕生日表示設定**: 電話帳に登録されている誕生日をスケジュールに表示するかや表示する場合の色を設定します。
- **週間天気表示設定**: 一週間の天気をスケジュールに表示するか設定します。
- **クラウド設定**: クラウドを利用するか設定します。
- **海外利用設定**: 本端末が海外にあると判断された場合に通信を伴う機能を制限するか設定します。
- **アプリ内データ全件削除**: 「スケジュール」アプリ/「メモ」アプリのデータをすべて削除します。[削除実行]をタッチして削除する前に表示される内容をご確認ください。

■ スケジュールの作成

1 スケジュール画面で[+]

2 各項目を設定



1 アカウント

- 登録するアカウントを設定します。

2 ラベル

- ラベルのアイコンや色を変更します。

3 タイトル

4 本文

5 詳細編集

- 日時や場所を設定します。[入力オプションを表示]をタッチすると、繰り返しやアラームなどの入力項目が追加されます。

6 文字色

- タイトルの文字色を変更します。

7 シール

- スケジュールを楽しくデコレートするようなシール(デコメ絵文字®/絵文字)を貼り付けたり、はがしたりできます。

3 [保存]

メモ

メモを作成・管理できるアプリです。

1 ホーム画面で[☰]▶[メモ]

2 [+]

3 メモを入力▶[保存]

- メモの作成方法は、スケジュールの作成方法と基本的な部分は同様です。スケジュールについてはP.103「スケジュール」

ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ・復元をしたりするためのアプリです。

機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

- OSやファイルの種類によっては、正しくコピー、バックアップ、復元ができない場合があります。
- 「ドコモデータコピー」は画面回転に対応していません。「ドコモデータコピー」の起動後は画面回転をせずにご利用ください。

データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。

コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

1 ホーム画面で[☰]▶[データコピー]

2 [データ移行]

- 画面の指示に従って操作してください。
- コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- 対応機種や詳しい使いかたは、ドコモのホームページをご覧ください。

バックアップ・復元

microSDカードを利用して、電話帳、画像などのデータの移行やバックアップ・復元ができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名(電話番号など)が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、復元先で削除されることがあります。
- バックアップ対象の電話帳は、docomoのアカウントとして登録されている電話帳です。
- 名前が登録されていない電話帳はバックアップできません。
- 本端末やmicroSDカードの空き容量が不足している場合、バックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末やmicroSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足している場合、バックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。
- 画面ロック設定中やバッテリーセーバーの動作中などは、設定した時刻どおりには定期バックアップが実行されず、次回起動可能となったときに実行されます。

■ バックアップ

電話帳、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

- 1 ホーム画面で[☰]▶[データコピー]
- 2 [バックアップ&復元]
- 3 [バックアップ]
- 4 バックアップするデータを選ぶ▶[バックアップ開始]▶[開始する]
 - 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。
- 5 [トップに戻る]

■ 復元

microSDカードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

- 1 ホーム画面で[☰]▶[データコピー]
- 2 [バックアップ&復元]
- 3 [復元]
- 4 復元するデータ種別の[選択]
- 5 復元するデータを選ぶ▶[選択]
- 6 復元方法を選ぶ▶[復元開始]▶[開始する]

- データ種別によっては、復元方法の選択は不要です。
- 選択したデータが本端末に復元されます。

7 [トップに戻る]

- 定期バックアップスケジュールが未設定の場合は、[定期バックアップをONにする]と表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

■ 電話帳をdocomoのアカウントにコピー

Googleアカウントに登録された連絡先をdocomoのアカウントにコピーします。

- 1 ホーム画面で[☰]▶[データコピー]
- 2 [バックアップ&復元]
- 3 [電話帳アカウントコピー]
- 4 コピーする電話帳の[選択]▶[上書き]／[追加]
 - コピーした電話帳がdocomoのアカウントに保存されます。
- 5 [OK]

本体設定

設定メニュー

ホーム画面で[] ▶ [設定] で表示されるメニューから、端末の各種設定を行うことができます。

- 先頭には、おすすめの設定が候補として表示されます。
- 本体設定を表示中に[] ▶ 検索するキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- 表示されていないメニューがある場合、[詳細設定] をタッチするとメニューが表示されます。
- 使用状況などにより、表示される項目や配置が異なる場合があります。

ネットワークとインターネット	Wi-Fi機能やモバイル ネットワークなどのネットワークについて設定します。
接続済みのデバイス	Bluetooth機能などについて設定します。
アプリと通知	アプリや通知について設定します。
電池	電池の利用状況の確認や設定、バッテリーセーバーの起動などを行います。
ディスプレイ	画面表示などについて設定します。
音	お知らせ音などについて設定します。
ホーム切替	利用するホームアプリを切り替えます。
ストレージ	本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量/合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。

プライバシー	権限やアカウントアクティビティ、個人データなどのプライバシーに関する設定を行うことができます。
位置情報	位置情報の測位について設定します。
セキュリティ	セキュリティロックなどについて設定します。
ドコモのサービス/クラウド	ドコモサービスの設定を行います。
アカウント	アカウントの追加や設定、データの同期について設定します。
ユーザー補助	ユーザー補助オプションについて設定します。
Digital Wellbeing と保護者による 使用制限	本端末の利用習慣を一目で確認し、オフラインで過ごす時間を作ります。また、端末の使用制限について設定します。
Google	Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。
システム	画面に表示される言語や日時の設定など、システムにかかわる設定を行います。
タブレット情報	タブレット情報の確認ができます。
お困りのときは	「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

ネットワークとインターネット

Wi-Fi機能やモバイルネットワークなどのネットワークについて設定します。

1 ホーム画面で[設定] ▶ [ネットワークとインターネット]

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fi**: Wi-FiについてはP.109「Wi-Fi」
- **モバイル ネットワーク**: モバイル ネットワークについてはP.111「モバイル ネットワーク」
- **機内モード**: メールなど、通信を利用する一部の機能を使用できないようにします。
- **テザリング**: テザリングについてはP.113「テザリング」
- **プロキシ設定**: プロキシ経由でネットワークに接続するように設定します。
- **データセーバー**: 一部のアプリによるバックグラウンドでのデータ送受信を停止することで、データ使用量を抑制することができます。
 - データセーバー中もデータ通信を制限しないアプリについては、[無制限のデータアクセス]から設定することができます。
- **VPN**: VPNについてはP.149「VPNの追加」
- **プライベート DNS**: プライベート DNSの設定をします。

[機内モード]について

- [機内モード]がONの場合でも、[Wi-Fi]や[Bluetooth]をONにすることができます。

Wi-Fi

端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

- 無線LAN(IEEE802.11b/g/n)とBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、端末や接続相手の無線LAN機器をBluetooth機器から約10m以上離してください。
- [Wi-Fi]をONにしている場合もパケット通信を利用できます。Wi-Fi接続中はWi-Fi接続が優先されますが、Wi-Fi接続が切断されると自動的にLTE/3Gネットワークでの接続に切り替わります。そのままご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、無線LAN親機の取扱説明書もご覧ください。
- アクセスポイントを登録するときは、アクセスポイントの近くで操作してください。
- Wi-Fi機能を利用してドコモサービスを利用する場合は、あらかじめdアカウントを設定しておいてください。ホーム画面で[設定] ▶ [設定] ▶ [ドコモのサービス/クラウド] ▶ [dアカウント設定]から設定することができます。

1 ホーム画面で[設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [Wi-Fi]

2 [Wi-Fi の使用]をONにする

3 アクセスポイントを選ぶ

- セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)を入力し、[接続]を選択してください。
 - 接続するアクセスポイントがQRコード読み取り接続に対応している場合は、[QR]をタッチし、QRコードを読み取って接続できます。
- アクセスポイントを手動で登録:[ネットワークを追加] ▶ ネットワーク名を入力▶セキュリティを設定▶[保存]
- [保存済みネットワーク]をタッチすると、接続したことのああるアクセスポイントを表示します。
- [Wi-Fi データ使用量]をタッチすると、Wi-Fiネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示します。また、データ通信を使用したアプリも確認できます。

- Wi-Fiネットワークに接続すると、[接続済み]と表示されます。異なるメッセージが表示された場合は、パスワード(セキュリティキー)をご確認ください。
なお、正しいパスワード(セキュリティキー)を入力しても接続できない場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- アクセスポイントの手動登録は、セキュリティ設定として Enhanced Open、WEP、WPA/WPA2-Personal、WPA3-Personal、WPA/WPA2/WPA3-Enterprise、WPA3-Enterprise 192-bitに対応しています。
- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続すると、[x]が表示され、Wi-Fiではなくモバイル ネットワークで通信が行われる場合があります。

■ Wi-Fiの設定

1 ホーム画面で[設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [Wi-Fi] ▶ [Wi-Fi 設定]

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fi を自動的に ON にする**: 保存済みネットワークの検出時に [Wi-Fi] を ON にするか設定します。
- **オープン ネットワークの通知**: オープンネットワークを検出したときに、お知らせアイコンで通知するか設定します。
 - [Wi-Fi] を ON にしてから設定してください。
- **接続不良のとき無効にする**: 安定したインターネット接続があるときのみ Wi-Fi 機能を利用するか設定します。
- **証明書のインストール**: 証明書をインストールします。
- **ネットワーク評価プロバイダ**: ネットワーク評価プロバイダについて設定します。
- **Wi-Fi Direct**: Wi-Fi Direct について設定します。
- **MAC アドレス**: MAC アドレスを確認できます。
- **IP アドレス**: IP アドレスを確認できます。

■ アクセスポイントの設定の削除

1 ホーム画面で[設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [Wi-Fi]

2 設定済みのアクセスポイントを選ぶ ▶ [削除]

モバイル ネットワーク

1 ホーム画面で[設定] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [モバイル ネットワーク]

2 項目を選ぶ

- **モバイルデータ**: モバイル ネットワーク経由でデータにアクセスするか設定します。
- **データローミング**: データローミングについては P.151「データローミング」
- **アプリのデータ使用量**: モバイル ネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示したり、データ通信を使用したアプリを確認したりできます。また、月単位のデータ使用量について、警告を通知したり、上限を設定したりできます。データの警告と制限については P.112「データの警告と制限」
- **優先ネットワークタイプ**: 優先ネットワークタイプについては P.151「優先ネットワークタイプ」
- **ネットワークを自動的に選択**: ネットワークを自動的に選択については P.152「通信事業者の設定」
- **ネットワークを選択**: ネットワークを選択については P.152「通信事業者の設定」
- **アクセス ポイント名**: アクセスポイントの設定や確認をします。

[アプリのデータ使用量]について

- 表示されるデータ使用量は目安です。実際のデータ使用量は My docomo で確認することができます。

■ データの警告と制限

モバイル ネットワーク経由のデータ使用量について、月単位の測定開始日や警告を発するデータ使用量を設定します。

1 ホーム画面で[☐☐]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]▶[アプリのデータ使用量]▶[⚙️]

- [アプリのデータ使用量のサイクル]をタッチすると、月単位の測定開始日を設定できます。
- [データ警告を設定]をONにすると、データ使用量が設定値に達した場合に通知することができます。値は[データ警告]で設定できます。
- [データ上限を設定]をONにすると、データ使用量が上限に達した場合にデータ通信を停止することができます。上限は[データ上限]で設定できます。
 - データ使用量が上限に達すると、モバイルデータが一時的に停止中である旨の通知が表示されます。[OK]をタッチすると、次の測定開始日までデータ通信を停止します。[再開]をタッチすると、データ通信を再開します。

■ アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント (spモード)は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/>

mopera U、ビジネスmoperaインターネットをご利用になる際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。

mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

<https://www.mopera.net/>

1 ホーム画面で[☐☐]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]▶[詳細設定]▶[アクセス ポイント名]

- 利用中のアクセスポイントを確認できます。

2 [+]

3 [名前]▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶[OK]

4 [APN]▶アクセスポイント名を入力▶[OK]

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力▶[:]▶[保存]

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

■ アクセスポイントの初期化

アクセスポイントの設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で[]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]▶[詳細設定]▶[アクセス ポイント名]

2 [:]▶[初期設定にリセット]

- spモードにご契約いただいていない場合や、圏外など電波状況によりアクセスポイントの自動設定に失敗した場合は、再度手動でアクセスポイントを設定する必要があります。

テザリング

本端末をアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器やUSBケーブルまたはBluetooth通信で接続したパソコンなどをインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

- 同時に接続できる機器数は、USBケーブルで接続したパソコン1台、Wi-Fi対応機器10台、Bluetooth機器4台の計15台です。
- Bluetooth テザリングを行うには、あらかじめ相手のBluetooth機器を登録しておいてください(☞P.142「Bluetooth機能の利用」)。Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- テザリングのご利用には、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

1 ホーム画面で[]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[テザリング]

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fiテザリング**:Wi-Fiテザリングを利用するか設定します。また、ネットワーク名やセキュリティ、パスワードなどを設定したり、本端末が接続されていないときにテザリングをOFFにするか設定できます。
- **USB テザリング**:USB テザリングを利用するか設定します。
- **Bluetooth テザリング**:Bluetooth テザリングを利用するか設定します。

[Wi-Fiテザリング]について

- 本端末がアクセスポイントとして機能している場合、本端末はWi-Fi接続でインターネットにアクセスすることはできません。
- お買い上げ時は、ネットワーク名は[d-41A]、セキュリティは[WPA2-Personal]、パスワードはランダムな値が設定されています。必要に応じて設定を変更してください。
- Wi-Fiテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#wifi>

[USB テザリング]について

- テザリング機能は、パソコンのOSがWindows 8.1、Windows 10の場合にご利用いただけます。
- USB テザリング中は、本端末のストレージ(本体メモリやmicroSDカード)をパソコンでマウントすることはできません。
- USB テザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#usb>

接続済みのデバイス

Bluetooth機能などについて設定します。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス]

- 接続中／接続解除中のBluetooth機器が表示されます。詳しくはP.143「Bluetooth機器の管理」

2 項目を選ぶ

- **USB**: パソコンなどと接続した際のUSB接続の用途について設定します。USB接続についてはP.145「パソコンなどとの接続」
- **新しいデバイスとペア設定する**: 使用可能なBluetooth機器とのペア設定ができます。操作についてはP.142「Bluetooth機能の利用」
- **接続の設定**: 接続の設定についてはP.114「接続の設定」

■ 接続の設定

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定]

2 項目を選ぶ

- **Bluetooth**: Bluetooth機能についてはP.140「Bluetooth®機能」
- **キャスト**: キャストについてはP.148「キャスト」
- **印刷**: 印刷用アプリ(プラグイン)をインストールして、印刷機能に対応したアプリで印刷することができます。
- **Bluetooth で受信したファイル**: Bluetooth通信のデータ受信履歴を表示します。
- **Chromebook**: Chromebook™との接続について設定します。

■ 印刷用アプリ(プラグイン)の利用

インストールした印刷用アプリ(プラグイン)を設定できます。

- あらかじめ利用するプリンターに対応した印刷用アプリ(プラグイン)をインストールしておいてください。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定] ▶ [印刷]

2 印刷サービスを選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

アプリと通知

アプリや通知について設定します。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]

2 項目を選ぶ

- **最近開いたアプリ**: 最近開いたアプリやアプリ情報についてはP.115「アプリ情報」
- **通知**: アプリの通知について設定します。
- **利用時間**: アプリの利用時間を確認したり、アプリごとに、使用できる1日の最大時間などを設定できます。
- **デフォルト アプリ**: デフォルトで起動するアプリを設定します。
- **権限マネージャ**: 権限マネージャについてはP.62「利用する機能について設定」
- **エリアメール**: エリアメールについてはP.88「緊急速報「エリアメール」を設定する」
- **特別なアプリアクセス**: 電池の最適化やシステム設定の変更など、特別なアプリアクセスについて設定します。

■ ロック画面の通知

タッチパネルのロック画面に表示する通知について設定します。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]

2 [通知]

3 [ロック画面上の通知] ▶ 通知の表示設定を選ぶ

- ロック画面の表示に関する他の設定などについてはP.119「ロック画面の表示」

アプリ情報

アプリの名前やメモリの使用状況、バージョンなどの確認、有効/無効の設定、アンインストールなどができます。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]

2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ

- [最近開いたアプリ]欄に利用するアプリが表示されている場合は、アプリを選択してアプリ情報を確認することもできます。

■ アプリの無効

アプリの動作を停止し、アンインストールせずにホーム画面に表示しないように設定します。

- アンインストールできないアプリを無効にできます。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]
- 2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ
- 3 [無効にする] ▶ [アプリを無効にする]

- アプリを無効にすると、無効にされたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。その場合は、アプリを有効にしてください。

■ アプリの有効

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アプリと通知]
- 2 [XX個のアプリをすべて表示] ▶ アプリを選ぶ
- 3 [有効にする]

電池

電池の利用状況の確認や設定、バッテリーセーバーの起動などを行います。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [電池]

- 電池残量や利用状況などが表示されます。
- [] ▶ [電池使用量]と操作すると、アプリごとの電池使用量を確認できます。アプリごとの電池使用量は、次のタイミングでリセットされます。
 - 電池残量90%以上まで充電し、充電機器を取り外したとき
 - 充電中ではなく、電池残量が90%以上ある状態で、本端末の電源が入ったとき

2 項目を選ぶ

- **バッテリーセーバー**: バッテリーセーバーについては [P.117「バッテリーセーバー」](#)
- **自動調整バッテリー**: 使用頻度の低いアプリの電池使用量を自動調整するか設定します。
- **電池残量**: ステータスバーに電池残量をパーセント表示するか設定します。
- **前回のフル充電**: フル充電後から経過した時間を確認できます。
- **最後にフル充電してからの使用時間**: フル充電後の電池使用時間を確認できます。

- 電池の最適化を行うと、各アプリの電池消費を抑えるため、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しないように設定されます。電池の最適化の設定については [P.63「電池の最適化の設定」](#)

バッテリーセーバー

端末の機能を制限して、電池の消費を抑えることができます。

1 ホーム画面で[設定] ▶ [電池] ▶ [バッテリーセーバー]

- [今すぐONにする] / [今すぐOFFにする] をタッチすると電池残量に関係なく [バッテリーセーバー] のON/OFFを設定できます。

2 項目を選ぶ

- **スケジュールの設定**: [残量に基づく] を設定すると、設定した電池残量以下になった場合に、バッテリーセーバーを自動でONにできます。
- **フル充電で無効**: 電池残量が90%になった場合に、バッテリーセーバーを自動でOFFにするか設定します。

- 充電を開始するとバッテリーセーバーはOFFになります。

ディスプレイ

画面表示などについて設定します。

1 ホーム画面で[設定] ▶ [ディスプレイ]

2 項目を選ぶ

- **明るさのレベル**: 明るさ調整バーをドラッグして画面の明るさを調整します。
- **リラックスビュー**: リラックスビューについては P.118 「リラックスビュー」
- **明るさの自動調節**: 画面の明るさを自動で調整するか設定します。自動で調整を行わない場合は、手動で明るさを設定してください。
- **壁紙**: ホーム画面やタッチパネルのロック画面の画像を設定します。
- **ダークテーマ**: 黒基調の画面になるダークテーマを利用するか設定します。
- **画面消灯**: 画面の点灯時間を設定します。
- **画面の自動回転**: 端末を回転させたとき、画面の表示も回転させるか設定します。
- **縦画面の反転**: 縦画面表示の上下を反転させるか設定します。
- **文字フォント設定**: 文字のサイズやフォントについて設定します。
- **表示サイズ**: 画面に表示されるアイコンなどのサイズを設定します。
- **スクリーンセーバー**: スクリーンセーバーの種類や起動するタイミングを設定します。

- **ロック画面の表示**:ロック画面の表示については(P.119「ロック画面の表示」)

[明るさのレベル]について

- ディスプレイの明るさを上げると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[画面消灯]について

- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[縦画面の反転]について

- 設定のON/OFFを切り替えると、「設定」以外のすべてのアプリが終了します。編集中のデータは失われる可能性がありますので、あらかじめ保存しておいてください。
- 一部アプリでは、カメラ撮影画像や方位などが正しく表示されない場合があります。

[文字フォント設定]について

- Google Playなどでダウンロードしたアプリを起動したときに、正しく表示されない場合があります。

[スクリーンセーバー]について

- 起動するタイミングを[ホルダー装着時]に設定しても、付属のスタンドではスクリーンセーバーは起動しません。

リラククスビュー

目に優しい画質の利用について設定します。

1 ホーム画面で[]▶[設定]▶[ディスプレイ]▶[リラククスビュー]

- [今すぐONにする]/[今すぐOFFにする]をタッチすると[リラククスビュー]のON/OFFを設定できます。[今すぐONにする]/[今すぐOFFにする]は[スケジュール]を設定すると設定内容に合わせ表示が切り替わります。

2 項目を選ぶ

- **スケジュール**:特定の時間帯に[リラククスビュー]をONにするか設定します。[指定した時間に ON]に設定すると[開始時間]や[終了時間]を設定できます。
- **輝度**: [リラククスビュー]がONの場合の輝度を調整します。


ロック画面の表示

ロック画面の表示や画面消灯中の動作について設定します。

- 画面ロックを[なし]以外に設定しているときに利用できます。

1 ホーム画面で[]▶[設定]▶[ディスプレイ]▶[詳細設定]▶[ロック画面の表示]

2 項目を選ぶ

- **ロック画面**: タッチパネルのロック画面に表示する通知について設定します。
- **ロック画面からユーザーを追加**: ロック画面でユーザーを選ぶ際に、ユーザーを追加できるようにするか設定します。複数ユーザーでの利用についてはP.135「複数ユーザー」
- **ロック画面メッセージ**: タッチパネルのロック画面に表示するメッセージを設定します。
- **ロックダウン オプションの表示**:  (電源キー)を1秒以上押したときに表示されるメニューに、[ロックダウン]を表示するか設定します。
[ロックダウン]をタッチすると、Smart Lockや指紋認証によるロック解除、ロック画面上の通知を無効にします。

[ロック画面]について

- [ロック解除時のみプライベートな内容を表示]を選択すると、ロック画面に表示する通知で、相手の電話番号や通知の件数など、詳細を表示しないようにします。
 - [ロック解除時のみプライベートな内容を表示]は、画面ロックを[スワイプ]以外に設定しているときに利用できます。

[ロックダウン オプションの表示]について

- 画面ロックを[スワイプ]以外に設定しているときに利用できます。

音

お知らせ音などについて設定します。

1 ホーム画面で▶[設定]▶[音]

2 項目を選ぶ




- **メディアの音量**:メディア音(音楽や動画など)の音量を設定します。
- **アラームの音量**:アラームの音量を設定します。
- **通知の音量**:通知の音量を設定します。
- **サイレントモード**:サイレントモードについてはP.121「サイレントモード」
- **デフォルトの通知音**:お知らせ音を設定します。
- **デフォルトのアラーム音**:アラーム音を設定します。
- **画面ロック音**:タッチパネルのロック/ロック解除時の操作音の有無を設定します。
- **充電時の音とバイブレーション**:充電を開始したときの音とバイブレーションの有無を設定します。
- **タッチ操作音**:メニューなどをタッチしたときの操作音の有無を設定します。
- **タップ操作時のバイブ**:ナビゲーションバーなどに表示されるキーをタッチしたときにバイブレータを動作させるか設定します。

マナーモード

公共の場所などで、端末の音を周囲に出さないように設定します。

- マナーモードやサイレントモード設定中も、次の音は鳴ります。
 - 静止画撮影時のシャッター音
 - 動画撮影時の開始音/停止音

1 ▶**アイコンをタッチしてモードを選ぶ**

- 設定するマナーモードが表示されるまで繰り返しタッチします。
 - []:マナーOFF
 - []:マナーモード(バイブ)
 - []:マナーモード(ミュート)

■ サイレント モード

端末で鳴る音などについて、より詳細に設定します。

1 ホーム画面で[設定] ▶ [音] ▶ [サイレントモード]

- ステータスパネルで[サイレント モード]をロングタッチしても、設定画面を表示できます。

2 項目を選択

- **SMS、MMS、メッセージ アプリ**:メッセージが届いた場合の例外動作を設定します。
- **すべての例外を表示**: [サイレント モード]がONの場合の例外動作を設定します。
- **通知の制限**:通知が届いた場合の動作を設定します。
- **デフォルトの期間**: [サイレント モード]がOFFになるまでの期間を設定します。[スケジュール]が設定された場合は[スケジュール]の設定に従います。
- **スケジュール**: [サイレント モード]のON/OFFが自動的に切り替わるルールを設定します。

3 [今すぐONにする]

- [サイレント モード]がONになり、設定した項目の内容に合わせて動作します。[今すぐOFFにする]をタッチすると解除されます。

ストレージ

本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量/合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。

- 保存データの管理についてはP.138「ファイル操作」

1 ホーム画面で[設定] ▶ [ストレージ]


- 本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量/合計容量が表示されます。
 - microSDカードやUSBメモリを取り付けていない場合は、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。

2 ストレージを選ぶ

- [内部共有ストレージ]を選択すると、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。詳細画面で[ファイル]を選択すると、本体メモリに保存されているデータの一覧が表示されます。
- [SDカード]やUSBメモリ名を選択すると、保存されているデータの一覧が表示されます。
- microSDカードやUSBメモリのマウント解除: [SDカード]やUSBメモリ名の[▲]
- microSDカードやUSBメモリをマウント: [SDカード]/USBメモリ名を選ぶ ▶ [マウント]

microSDカード／USBメモリのフォーマット

microSDカードやUSBメモリを初期化します。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ストレージ]
- 2 [SDカード]／USBメモリ名を選ぶ
- 3 [:] ▶ [ストレージの設定] ▶ [フォーマット] ▶ [SDカードをフォーマット]／[USBドライブをフォーマット]
- 4 [完了]

- 初期化を行うと、microSDカードやUSBメモリの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

microSDカードの暗号化／暗号化解除

microSDカードを暗号化すると、microSDカード内のデータは、暗号化を実施した端末以外では利用できなくなります。通常のmicroSDカードとして使用するには、暗号化を解除する必要があります。

- 電池を十分に充電した状態で、充電しながら操作してください。
- あらかじめ画面ロックを[PIN]または[パスワード]に設定しておいてください。
 - 画面ロックについてはP.124「セキュリティ」

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ストレージ]
- 2 [SDカード]

3 [:] ▶ [ストレージの設定] ▶ [暗号化]／[暗号化解除] ▶ [確認]

- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

4 [開始]

- microSDカードの空き容量が不足していると、暗号化／暗号化解除を実行できません。
- microSDカードを暗号化した状態で[すべてのデータを消去(出荷時リセット)]を行った場合、microSDカード内のデータを利用できなくなりますのでご注意ください。[すべてのデータを消去(出荷時リセット)]を行う前に、暗号化解除を行ってください。
- microSDカードを暗号化した端末に、暗号化していない別のmicroSDカードを取り付けた場合、microSDカードは読み取り専用となります。
- 読み取り専用のmicroSDカードは、暗号化することで書き込みが可能となります。
- microSDカードの暗号化／暗号化解除には時間がかかる場合があります。暗号化を実行中は充電を中止したり、microSDカードを取り外したりしないでください。暗号化が中断された場合、microSDカード内のデータが失われる可能性があります。

プライバシー

権限やアカウントアクティビティ、個人データなどのプライバシーに関する設定を行うことができます。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [プライバシー]

2 項目を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

位置情報

位置情報の測位について設定します。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [位置情報]

2 [位置情報の使用]をONにする

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[設定する]を選択してください。
- [最近の位置情報リクエスト]がある場合は、アプリをタッチすると情報を確認できます。
 - [すべて表示]をタッチすると一覧が表示されます。

3 項目を選ぶ

- **アプリの権限**:位置情報の利用を許可するアプリを設定します。
- **Androidサービス以外の権限**:Androidサービス以外の位置情報に対するアクセス権限を変更します。
- **Wi-Fi のスキャンと Bluetooth のスキャン**:位置情報サービスやアプリが、位置情報の精度向上のためにWi-FiネットワークやBluetooth機器をスキャンするか設定できます。
 - ONにすると、[Wi-Fi]や[Bluetooth]をOFFにしている場合もスキャンします。
- 端末にGoogleアカウントを登録している場合は、Googleの位置情報サービスを利用できます。

- 現在地を測位するためには、[位置情報の使用]をONに設定する必要があります。ご利用のアプリによっては、アプリで位置情報に関する設定が必要な場合があります。

セキュリティ

セキュリティロックなどについて設定します。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [セキュリティ]



2 項目を選ぶ

- **Google Play プロテクト**: アプリや本端末に不正な動作がないかスキャンする機能について設定します。
- **デバイスを探す**: Googleアカウントによる遠隔操作で、本端末の位置情報を検出したり、タッチパネルのロックや[すべてのデータを消去(出荷時リセット)]を実行できるようにするか設定します。
- **セキュリティ アップデート**: ソフトウェアアップデートを行います。ソフトウェアアップデートについてはP.162「ソフトウェアアップデート」
- **Google Play システム アップデート**: Google Play システムレベルのアップデートを確認します。
- **画面ロック**: 電源を入れたときやディスプレイを表示させたときのタッチパネルのロック解除方法やタッチパネルのロック動作について設定します。
- **指紋**: 指紋認証に使う指の指紋を登録します。指紋を登録すると、画面ロックを指紋認証でも解除できるようになります。指紋認証についてはP.126「指紋認証」
- **Smart Lock**: 画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しているとき、信頼できる場所や信頼できるデバイスなどを確認した場合は、タッチパネルのロックをスワイプで解除するように設定します。


- **デバイス管理アプリ**: アプリのデバイス管理機能を設定します。アプリによっては、デバイス管理機能を有効にしないと利用できないものがあります。
- **SIM カードロック設定**: SIM カードロック設定についてはP.43「PINコードを設定する」
- **暗号化と認証情報**: 端末の暗号化の状態を確認したり、認証情報について設定します。
- **信頼エージェント**: タッチパネルのロックを解除するアプリ(エージェント)について設定します。
- **画面の固定**: 選択したアプリ以外を使用できないようにします。操作方法についてはP.59「アプリ使用履歴」

[画面ロック]について

- 設定項目は次のとおりです。
 - なし: タッチパネルのロック画面を表示しません。
 - スワイプ: 画面を上へスワイプしてロックを解除するように設定します。
 - パターン: 4つ以上の点を結ぶパターンを設定します。
 - PIN: 4~16桁の数字を設定します。
 - パスワード: 4~16桁の英数字と半角記号を設定します。
 - 一部の半角記号は利用できません。
- 画面ロックを[パターン]／[PIN]／[パスワード]に設定している場合、各種設定を行うときにロック解除の画面が表示される場合があります。ロック解除の画面が表示された場合は、設定している方法でロックを解除してください。

- 指紋を登録している場合は指紋認証でも解除することができます。
 - 指紋認証に5回連続して失敗すると、一定時間指紋によるロック解除ができなくなります。しばらくしてから再度操作するか、画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
- [パターン] / [PIN] / [パスワード]の入力を間違えると、間違えた回数に応じて一定時間ロック解除ができなくなります。
 - 5回連続:30秒間
 - 10回連続:30秒間10回連続して間違えた場合、それ以降に間違えるごとに30秒間入力ができません。ロックを解除すると、カウントはリセットされます。
- 画面ロックの[]をタッチすると、次の項目を設定することができます。画面ロックの設定によって、表示される項目は異なります。
 - パターンを表示する:パターンの入力時の軌跡を線で表示します。
 - 自動ロック:タッチパネルがロックされるまでの時間を設定します。
 - 電源ボタンですぐにロックする:()を押してディスプレイの表示を消したときに、自動ロックで設定した時間にかかわらずタッチパネルをロックするか設定します。
- [パターン] / [PIN] / [パスワード]を忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

[Smart Lock]について

- Smart Lock利用中、タッチパネルのロック画面で[]などの解除アイコンをロングタッチすると、Smart Lockを一時的に無効にできます。

[暗号化と認証情報]について

- 証明書を削除した場合、[信頼できる認証情報]からは証明書の参照ができなくなりますが、他の機能からは証明書の参照が可能なままとなります。証明書を完全に削除する場合は認証ストレージの消去を行ってください。
- [認証ストレージの消去]をタッチすると、VPNの設定も削除されます。

指紋認証

指紋認証は、指紋センサーを指でタッチして行う認証機能です。タッチパネルのロック解除などを行うことができます。

■ 指紋認証機能利用時のご注意

- 指紋認証は、指紋画像の特徴情報を利用して認証を行います。指紋画像の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能(指紋センサーを正しく指でタッチした際に指紋が認証される性能)はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
 - お風呂上がりなどで指がふやけている
 - 指が乾燥している
 - 指に汗や脂が多く、指紋の溝が埋まっている
 - 指が泥や油で汚れている
 - 指が汗などで濡れている
 - 手荒れや、指に損傷(切傷やただれなど)がある
 - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - 太ったりやせたりして指紋が変化した
 - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では、本端末を第三者に使用されたこと、または使用できなかったことによって生じる損害に関しては、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、センサー表面を引っかいたり、ボールペンやピンなど先の尖ったものでつついたりしないでください。
- 指紋センサー表面にシールなどを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ほこりや皮脂などの汚れが付着すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- 指を離すのが早すぎると、正常に認識できないことがあります。指紋が認証されてから、指を離してください。
- 指紋センサーに指を触れたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離し、再度操作してください。

■ 指紋の登録

指紋認証に使う指の指紋を登録します。

- 指紋は5件まで登録できます。
- 読み取りに失敗する場合は、指を変えることで認証性能が改善されることがあります。
- あらかじめ画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しておいてください(☞P.124「セキュリティ」)。

1 ホーム画面で[]▶[設定]▶[セキュリティ]▶[指紋]

- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

2 [次へ]

3 [次へ]

4 指紋センサーを指の腹でタッチ

- 広い範囲の指紋を登録するため、指紋センサーに触れる部分を少しずつずらしながら、繰り返しタッチしてください。
- 指紋を登録すると、画面ロックを指紋認証でも解除できるようになります。
 - 指紋認証ができない場合は、画面ロックで設定した方法でロックを解除します。

5 [完了]

- 続けて別の指紋を登録する場合は、[別の指紋を登録]を選択してください。
- 画面ロックを[なし]か[スワイプ]に設定すると、登録した指紋が削除されますので、ご注意ください。

■ 指紋の管理

指紋の追加や削除、登録名の変更ができます。

1 ホーム画面で[]▶[設定]▶[セキュリティ]▶[指紋]

- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

2 指紋を管理する

- 指紋を追加: [指紋を追加]▶画面の指示に従って操作
- 登録名の変更: 登録済みの指紋をタッチ▶名前を入力▶[OK]
- 登録した指紋の削除: 登録済み指紋の[]▶[削除]

■ 指紋認証機能の利用

1 画面消灯中/タッチパネルのロック画面/指紋の認証画面で指紋センサーを指の腹でタッチ

- 画面消灯中に操作すると、タッチパネルのロックが解除され、ディスプレイが表示されます。
- 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、再度操作してください。

■ 指紋センサーをホームキーとして使う

指紋センサーをホームキーとして使うことができます。また、画面消灯中に指紋センサーをタッチして、ディスプレイを表示することができます。

- 指紋を登録していなかったり、登録した指紋と異なる指でタッチしても操作できます。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [操作] ▶ [指紋センサーをホームキーとして使う]

■ 指紋センサー長押し

指紋センサーをロングタッチすることでショートカットキーとして使うことができます。

- あらかじめ[指紋センサーをホームキーとして使う]をONにしておいてください。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [操作] ▶ [指紋センサー長押し]の[] / []

- [指紋センサー長押し]をタッチすると起動する機能を変更することができます。

ドコモのサービス／クラウド

ドコモサービスの設定を行います。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ドコモのサービス／クラウド]

2 項目を選ぶ

- **dアカウント設定**:ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、端末に登録されている生体情報(指紋)を利用したdアカウント認証の設定もできます。
- **ドコモクラウド**:ドコモクラウドについて設定します。
- **ドコモアプリデータバックアップ**:各アプリのデータバックアップ/復元の設定やデータがバックアップされたアプリの一覧を確認します。
- **ドコモアプリ管理**:アプリのアップデートの確認などについて設定します。
- **おすすめアプリ**:おすすめアプリの設定や過去に受信した通知の確認ができます。
- **おすすめ使い方ヒント**:おすすめ使い方ヒントについて設定します。
- **ドコモ位置情報**:イマドコサーチやイマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
- **端末アプリ情報送信**:端末アプリ情報をサーバーへ送信するか設定します。
- **会員情報／プロフィール情報設定**:ドコモサービスで利用するお客様の会員情報／プロフィール情報を確認したり、変更したりできます。

- **ドコモサービス初期設定**:ドコモサービスの初期設定を行います。
- **USBデバッグ切替**:USBデバッグを有効にするか設定します。
- **オープンソースライセンス**:オープンソースライセンスを表示します。

- ドコモのサービス/クラウドに表示されるアプリの中には無効にすることができるものがあり、無効にされたアプリは、ドコモのサービス/クラウドには表示されなくなる場合があります。
- ドコモ提供のアプリを新しくダウンロードすると、ドコモのサービス/クラウドに表示される場合があります。

アカウント

Googleなどのアカウントの設定については  P.40
「Googleなどのアカウントの設定を行う」

データの同期

端末とオンラインサービスとの間でデータを同期させることができます。データを同期させると、端末やパソコンからオンラインサービス上の同じ個人情報にアクセスし、データを利用・更新することができます。

自動同期するとき

各アカウントで設定された項目を自動的に同期するか設定します。

1 ホーム画面で  ▶ [設定] ▶ [アカウント]


2 [自動的にデータを同期] ▶ [OK]

- 同期する項目の設定:アカウントの種類を選ぶ ▶ [アカウントの同期] ▶ 項目を選ぶ

- 本体メモリの電話帳とオンラインサービス上の連絡先を同期する場合、Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください。

手動同期するとき


- [自動的にデータを同期]がOFFのときは、選択した項目を手動で同期できます。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [アカウント]
- 2 アカウントの種類を選ぶ ▶ [アカウントの同期]
- 3 同期する項目を選ぶ

ユーザー補助

ユーザー補助オプションについて設定します。

- 1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [ユーザー補助]
- 2 項目を選ぶ

- **音量キーのショートカット**:ユーザー補助機能をすばやく有効にできるようにするか設定します。
- **おすすめ使い方ヒント**:操作や利用状況に合わせて端末の使いかたを紹介するか設定します。
- **テキスト読み上げの設定**:端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
- **フォントサイズ**:文字のサイズを設定します。
- **表示サイズ**:画面に表示されるアイコンなどのサイズを設定します。
- **ダークテーマ**:黒基調の画面になるダークテーマを利用するか設定します。
- **拡大**:ディスプレイを3回タッチするか[]をタッチして拡大/縮小するか設定します。
- **色補正**:ディスプレイに表示されている色の補正について設定します。
- **色反転**:ディスプレイに表示されている色を反転するか設定します。
- **大きなマウスポインタ**:ポインタを大きくするか設定します。
- **アニメーションの削除**:表示のアニメーションを省略するか設定します。
- **停止時間**:ポインタが停止した際の動作を設定します。

- **画面の自動回転**: 端末を回転させたとき、画面の表示も回転させるか設定します。
- **長押しする時間**: ロングタッチする時間を設定します。
- **操作までの時間(ユーザー補助タイムアウト)**: 短い時間しか表示されないメッセージの表示時間を指定できます。
- **バイブレーションと触覚フィードバックの強さ**: 通知時やタッチ操作時にバイブレータを動作させるか設定します。
- **モノラル音声**: 音声再生時のチャンネルを統合するか設定します。
- **オーディオ バランス**: 左右のスピーカーの音量バランスを設定します。
- **字幕の設定**: 字幕の表示について設定します。
- **高コントラストテキスト**: 端末に表示される文字色のコントラストを高くして表示するか設定します。
- その他のユーザー補助サービスの利用については、画面の指示に従ってください。

Digital Wellbeing と保護者による使用制限

本端末の利用習慣を一目で確認し、オフラインで過ごす時間を作ります。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [Digital Wellbeing と保護者による使用制限]

- Digital Wellbeing ツールが展開されていない場合は、[データを表示]をタッチして項目を表示してください。
- 端末の使用制限について設定する場合は、[保護者による使用制限を設定する]をタッチし、画面の指示に従って操作してください。

2 項目を選ぶ

- **ダッシュボード**: 端末の利用時間や受信した通知の数などを確認できます。また、アプリの利用時間に制限を設けることができます。
- **おやすみモード**: 指定した時間に画面をグレースケールにしたり、サイレント モードを設定したりします。
- **フォーカス モード**: アプリを一時停止できます。
- **通知を管理**: アプリごとに通知を許可するか設定します。
- **サイレント モード**: サイレント モードについては [P.121「サイレント モード」](#)
- **アプリの一覧にアイコンを表示**: ホーム画面(アプリ一覧)に Digital Wellbeing と保護者による使用制限のアイコンを表示するか設定します。

Google™

Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [Google]

2 項目を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

システム

画面に表示される言語や日時の設定など、システムにかかわる設定を行います。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [システム]

2 項目を選ぶ

- **言語と入力**: 言語と入力についてはP.133「言語と入力」
- **操作**: 操作についてはP.133「操作」
- **日付と時刻**: 日付と時刻についてはP.134「日付と時刻」
- **バックアップ**: Googleアカウントを利用して、アプリのデータや本端末の設定などを自動的にバックアップするか設定します。
- **リセット オプション**: リセット オプションについてはP.134「リセット オプション」
- **複数ユーザー**: 複数ユーザーについてはP.135「複数ユーザー」
- **システム アップデート**: ソフトウェアアップデートを行います。ソフトウェアアップデートについてはP.162「ソフトウェアアップデート」

言語と入力

画面に表示される言語や、文字入力、テキスト読み上げなどについて設定します。

1 ホーム画面で[言語] ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [言語と入力]

2 項目を選ぶ

- **言語**:表示言語を選択します。
- **仮想キーボード**:ソフトウェアキーボードについて設定します。
- **物理キーボード**:Bluetoothなどで接続したキーボードについて設定します。
- **スペルチェック**:スペルチェックについて設定します。
- **自動入力サービス**:自動入力サービスについて設定します。
 - [設定]をタッチすると、Googleアカウントを利用した自動入力について設定できます。
- **単語リスト**:任意の単語を単語リストに登録します。
- **ポインタの速度**:ポインタの速度を設定します。
- **テキスト読み上げの設定**:端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。

[スペルチェック]について

- 日本語には対応していません。

操作

指紋センサーや[電源キー]を押したときの動作について設定します。

1 ホーム画面で[言語] ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [操作]

2 項目を選ぶ

- **指紋センサーをホームキーとして使う**:指紋センサーをホームキーとして使うについてはP.128「指紋センサーをホームキーとして使う」
- **指紋センサー長押し**:指紋センサー長押しについてはP.128「指紋センサー長押し」
- **カメラの起動**:[電源キー]を2回押して「カメラ」アプリを起動するか設定します。

日付と時刻

日時の設定や表示形式について設定します。

1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [日付と時刻]

2 項目を選ぶ

- **ネットワークの時刻を使用する**: 日時を自動的に補正するか設定します。
- **日付**: 日付を手動で設定します。
- **時刻**: 時刻を手動で設定します。
- **ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する**: ネットワークから提供されたタイムゾーンを利用するか設定します。
- **タイムゾーン**: タイムゾーンを手動で設定します。
- **言語 / 地域のデフォルトを使用する**: ユーザーの言語 / 地域の標準に合わせ、時刻の表示形式を自動的に切り替えるか設定します。
- **24時間表示**: 12時間制 / 24時間制を手動で切り替えます。

[ネットワークの時刻を使用する]をONにしたとき

- 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- 数秒程度の誤差が生じるときがあります。

リセット オプション

1 ホーム画面で[⌘] ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [詳細設定] ▶ [リセット オプション]

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット**: Wi-Fi、モバイルデータ、Bluetoothに関する設定をすべてリセットします。
- **アプリの設定をリセット**: アプリに設定した内容をすべてリセットします。
- **すべてのデータを消去(出荷時リセット)**: 本体メモリ内のすべてのデータをリセットします。

[すべてのデータを消去(出荷時リセット)]について

- [SDカード内データも消去する]を有効にすると、microSDカード内のデータも同時に消去されます。
- 消去されるデータは次のとおりです。
 - 作成、保存、登録したデータ
 - システムやアプリのデータ、設定
 - ダウンロードしたアプリ
 - Google アカウント

複数ユーザー

本端末に複数のユーザーを登録します。ユーザーを切り替えることで、それぞれの設定に従って端末を利用できます。

また、利用する機能を制限したプロフィールを登録したり、ユーザー登録していないゲストを使用者にしたりできます。

1 ホーム画面で[]▶[設定]▶[システム]▶[詳細設定]▶[複数ユーザー]

2 設定をONにする

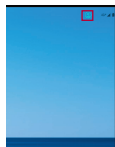
- 登録されているユーザーやプロフィールが表示されます。
- 使用中のユーザーをタッチすると、アイコンやニックネームを変更できます。
- 管理者が使用中の場合、ユーザーやプロフィールの横に[]が表示されます。[]をタッチすると、ユーザーやプロフィールの設定画面が表示され、制限する機能などについて設定できます。

3 複数ユーザーについて設定にする

- 管理者が使用中の場合に設定できます。
- ゲスト**: 端末の使用者を、ユーザー登録していないゲストに切り替えます。
 - ゲストが使用中の場合は、使用者の切替画面や複数ユーザーの設定画面に[ゲストを削除]と表示されます。[ゲストを削除]▶[削除]と操作すると、ゲストの設定が削除されます。
- ユーザーを追加**: ユーザーやプロフィールを追加します。
- ロック画面からユーザーを追加**: ロック画面で使用者を選ぶ際に、ユーザーを追加できるようにするが設定します。

■ 使用者の切替

1 タッチパネルのロック画面/ステータスパネルでユーザーアイコンをタッチ



タッチパネルの
ロック画面



ステータスパネル

2 使用者を選ぶ

タブレット情報

タブレット情報の確認ができます。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [タブレット情報]

2 項目を選ぶ

- **デバイス名**: デバイス名を変更できます。
- **電話番号**: 電話番号を確認できます。
- **緊急時情報**: 緊急時情報を設定できます。
- **法的情報**: 著作権情報や利用規約などを確認できます。
- **規制ラベル**: 技術基準適合証明書などの情報を確認できます。
- **電池の状態**: 電池の状態を確認できます。
- **電池製造情報**: 電池製造情報を確認できます。
- **SIMのステータス**: ドコモnanoUIMカード情報を確認できます。
- **モデルとハードウェア**: モデル名やシリアル番号を確認できます。
- **IMEI**: IMEI情報を確認できます。
- **Androidバージョン**: Androidバージョンを確認できます。
- **IP アドレス**: IPアドレスを確認できます。
- **Wi-Fi MACアドレス**: MACアドレスを確認できます。
- **Bluetoothアドレス**: Bluetoothアドレスを確認できます。
- **稼働時間**: 端末の稼働時間を確認できます。
- **ビルド番号**: ビルド番号を確認できます。

お困りのときは

「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [お困りのときは]

2 項目を選ぶ

- **よくあるご質問**: シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。
- **設定項目を検索**: 検索入力欄にキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- **セルフチェック**: 症状や機能を選択して、端末の診断を行います。

■ セルフチェック


1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [お困りのときは] ▶ [セルフチェック]

- セーフモードで再起動:[] ▶ [セーフモードで再起動] ▶ [OK]

2 [診断する]

3 [症状から選ぶ] / [診断したい箇所を選ぶ]

4 項目を選ぶ

- [診断したい箇所を選ぶ]の場合は、項目を選んで[次へ]をタッチします。また、項目の[]をタッチすると、診断についてのヘルプが表示されます。

5 [次へ]

6 [診断開始]

- 診断の中止:[スキップ] ▶ [診断中止]
- 診断項目のスキップ:[スキップ] ▶ [スキップ]
- 診断履歴をタッチすると、結果を確認することができます。

ファイル管理

ストレージ構成

■ 本体メモリ(内部ストレージ)

端末内にデータを保存できます。

- 本体メモリのストレージ名とパスは次のとおりです。
 - ・ ストレージ名:内部共有ストレージ
 - ・ パス:/storage/emulated/0
- お買い上げ時の本体メモリのフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータの種類などは次のとおりです。
 - ・ 本端末の操作状況により、表示されるフォルダが異なる場合があります。

Alarms	アラーム音などが保存されます。
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	端末で撮影した静止画や動画が保存されます。
Download	ダウンロードしたファイルが保存されます。
Movies	動画などが保存されます。
Music	音楽データなどが保存されます。
Notifications	お知らせ音などが保存されます。
Pictures	静止画などが保存されます。
Podcasts	ポッドキャストから取り込んだ音楽データなどが保存されます。
Ringtones	着信音などが保存されます。

■ microSDカード(外部ストレージ)

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- microSDカードについてはP.35「microSDカード」

ファイル操作

本体メモリやmicroSDカードに保存されたデータの管理(フォルダの作成やフォルダ/ファイルの名称変更、削除、移動、コピーなど)ができます。また、データを削除して本体メモリの空き容量を増やすことができます。

1 ホーム画面で[]▶[設定]▶[ストレージ]

- microSDカードを取り付けていない場合は、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。

2 ストレージを選ぶ

- [内部共有ストレージ]を選択すると、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。詳細画面で[ファイル]を選択すると、本体メモリに保存されているデータの一覧が表示されます。
- microSDカードを選択すると、保存されているデータの一覧が表示されます。

■ フォルダを作成

1 データー一覧画面で[::]▶[新しいフォルダ]

2 フォルダ名を入力▶[OK]

■ フォルダ名／ファイル名を変更

- 1 データー一覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ
- 2 [:] ▶ [名前を変更]
- 3 フォルダ名／ファイル名を入力 ▶ [OK]

■ フォルダ／ファイルを削除

- 1 データー一覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ
- 2 [🗑] ▶ [OK]

■ フォルダ／ファイルを移動／コピー

- 1 データー一覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ
- 2 [:] ▶ [移動...]／[コピー...]
- 3 移動先／コピー先で[移動]／[コピー]

■ ファイルを検索

- 1 データー一覧画面で[Q]
- 2 検索するキーワードを入力 ▶ [Q]

■ 本体メモリの空き容量を増やす

ダウンロードしたデータやほとんど使われないアプリなどを削除して、本体メモリの空き容量を増やすことができます。

- 1 ホーム画面で[📱] ▶ [設定] ▶ [ストレージ] ▶ [内部共有ストレージ] ▶ [空き容量を増やす]
 - microSDカードを取り付けていない場合は、ホーム画面で[📱] ▶ [設定] ▶ [ストレージ] ▶ [空き容量を増やす]と操作してください。
- 2 削除するデータを選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

Bluetooth®機能

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- 対応バージョンや出力についてはP.169「主な仕様」

■ 対応プロファイル(対応サービス)

- プロファイルとは、Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。本端末は次のプロファイルに対応しています。
 - HSP:Headset Profile(ヘッドセットプロファイル)※1
 - HFP:Hands Free Profile(ハンズフリープロファイル)※2
 - A2DP:Advanced Audio Distribution Profile(アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル)※3
 - AVRCP:Audio/Video Remote Control Profile(オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル)※3
 - HID:Human Interface Device Profile(ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル)※4
 - OPP:Object Push Profile(オブジェクトプッシュプロファイル)※5
 - SPP:Serial Port Profile(シリアルポートプロファイル)※6
 - PBAP:Phone Book Access Profile(フォンプブックアクセスプロファイル)※7
 - PAN:Personal Area Networking Profile(パーソナルエリアネットワークプロファイル)※8

- HOGP:HID Over GATT Profile(エイチアイディーオーバーガットプロファイル)※9

- ※1 端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続して利用できます。
- ※2 端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続して利用できます。
- ※3 端末に市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。
- ※4 端末にキーボードやマウスなど市販のBluetooth対応入力デバイスがBluetooth接続すると、Bluetooth機器から端末を操作できます。
- ※5 端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。
- ※6 仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続することができます。
- ※7 Bluetooth機器に本体メモリの電話帳データを転送することができます。電話帳データの内容によっては、相手のBluetooth機器で正しく表示されない場合があります。
- ※8 パソコンなどのネットワークに参加し、インターネット接続を共有することができます。また、端末にパソコンなどをBluetooth接続すると、Bluetooth テザリングを行うこともできます。
- ※9 端末にキーボードやマウスなどのBluetooth Smart機器をBluetooth接続すると、Bluetooth Smart機器から端末を操作できます。

- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。
- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、音声が出力できない場合があります。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
 - 端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境(壁、家具など)、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
 - 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
 - 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
 - Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

- 電車内
- 航空機内
- 病院内
- 自動ドアや火災報知機から近い場所
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

Bluetooth機能の利用

- Bluetooth機器の登録・接続には、Bluetooth/パスキーの入力が必要な場合があります。登録を始める前にお好きな1～16桁の数字を決めておき、端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力してください。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定] ▶ [Bluetooth]

2 ONにする

3 [新しいデバイスとペア設定する]

4 Bluetooth機器を選ぶ ▶ [ペア設定する]

- 接続確認画面が表示される場合があります。
 - 相手のBluetooth機器によっては、Bluetooth/パスキーを入力する場合があります。また、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。
- 最大7台まで同時に接続できます。プロフィールによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる機器数が異なる場合があります。
 - 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。
 - [Bluetooth]をONにすると、他のBluetooth機器からの登録要求/接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索する場合は、本体設定の[接続済みのデバイス]を表示しておいてください。

- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。
- 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

■ Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 Bluetooth機器からの登録要求/接続要求

2 ペア設定画面で[ペア設定する]

- ステータスバーに[]が表示された場合はステータスバーを下にドラッグ ▶ [ペア設定リクエスト] ▶ [ペア設定する]と操作してください。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetooth/パスキーの入力をする場合もあります。
- 接続確認画面が表示される場合があります。

■ Bluetooth機器の管理

1 ホーム画面で[Bluetooth] ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス]

- 接続中／接続解除中のBluetooth機器が表示されます。
 - ・ [すべて表示] をタッチすると、接続解除中のBluetooth機器の一覧が表示されます。

2 Bluetooth機器を選ぶ

- [Bluetooth] が表示されている場合は、[Bluetooth] をタッチしてください。

3 Bluetooth機器を管理する

- 利用する機能をタッチして、ON/OFFを切り替えることができます。
- 名称変更: [編集] ▶ 名前を入力 ▶ [名前を変更]
- 接続／接続解除: [接続] / [接続を解除]
- 登録解除: [削除] ▶ [このデバイスとのペア設定を解除]

■ 本端末の名称変更

相手のBluetooth機器に表示される本端末の名称を変更できます。

- [Bluetooth] をONにしてから設定してください。

1 ホーム画面で[Bluetooth] ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定] ▶ [Bluetooth]

2 [デバイス名]

3 名前を入力 ▶ [名前を変更]

Bluetooth通信送受信

■ データを送信

例: 静止画のとき

- 1 ホーム画面で「Google」を選ぶ ▶ [フォト]
- 2 送信する静止画をロングタッチ
- 3 [] ▶ [Bluetooth]
 - 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。
- 4 接続するBluetooth機器を選ぶ

■ データを受信

- 1 送信側のBluetooth機器からデータ送信
- 2 ステータスバーを下にドラッグ ▶ 着信通知の [承諾]
- 3 ステータスバーを下にドラッグ ▶ 受信したデータを選ぶ

- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

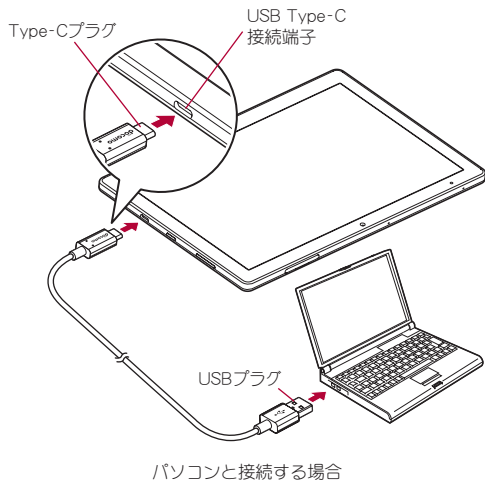
外部機器接続

パソコンなどとの接続

本端末とパソコンなどを接続することで、本端末または相手機を充電したり、本体メモリまたはmicroSDカードのデータを転送したりできます。

USBケーブル A to C 02(別売)を使って接続する場合は、次の操作を行います。

- 1 USBケーブル A to C 02のType-Cプラグを、本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
 - 2 USBケーブル A to C 02のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む
- 本端末にUSBの設定画面が表示されます。表示されない場合は、ステータスバーを下にドラッグして、USB接続の使用方法についての通知を選んでください。



3 [USB の管理]でデバイス側を選ぶ

- **接続済みのデバイス**:接続済みの相手端末がデバイスになります。
- **このデバイス**:本端末がデバイスになります。
- 接続する相手機によっては[このデバイス]から[接続済みのデバイス]に切り替えることができません。この場合、デバイス側は本端末に設定されます。
 - [接続済みのデバイス]を選択してデバイス側を切り替えることができる相手機はRole Swap対応機器です。Role Swap対応機器を市販の両プラグがType CのUSBケーブルで接続した場合に切り替えることができます。この場合、相手機をホスト/本端末をデバイスにして相手機から本端末のストレージ(本体メモリまたはmicroSDカード)のデータを操作したり、本端末をホスト/相手機をデバイスにして本端末から相手機のストレージのデータを操作できます。

4 [USB の使用]でUSB接続の使用方法を選ぶ

- **ファイル転送**:MTP対応の相手機と本体メモリまたはmicroSDカードの間でデータを転送します。
- **USB テザリング**:USB テザリングについてはP.113「テザリング」
- **MIDI**:端末をMIDI入力に使用します。
- **PTP**:PTP対応の相手機と本体メモリの間で静止画を転送します。
- **データ転送なし**:端末の充電のみ利用できます。
- [USB の管理]で[このデバイス](本端末がデバイス)の場合に設定できます。
[接続済みのデバイス]に設定している場合は、相手機(相手機側で[このデバイス]に設定)で操作してください。

5 利用が終わったら、USBケーブル A to C 02を取り外す

- 本端末に対応するUSBケーブルをご利用ください。プラグ部の形状が異なるものは使用できません。
- USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 一度に大量のデータを転送した場合、転送が中断することがあります。その場合はデータを分けて転送してください。
- データのやりとりをしているときは、USBケーブルを取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続可能なパソコンのOSは、Windows 8.1、Windows 10(いずれも日本語版)です。

プリントサービスによる印刷／保存

印刷用アプリ(プラグイン)を利用して画像を印刷したり、PDF形式で保存したりできます。

例: フォトを利用するとき

1 フォトの画像表示画面で[]▶[印刷]

2 各項目を設定

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

USBホスト機能

本端末にはUSBホスト機能が搭載されています。市販の周辺機器接続用USBケーブルをUSB Type-C接続端子に接続することでマウスなどのUSB機器を利用できます。

- USBホスト機能について詳しくは、周辺機器接続用USBケーブルやUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

- すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。
- USBホスト機能の利用中は端末の動作が遅くなる場合があります。
- 消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、端末の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に端末の電源が切れることがあります。

USBメモリの取り外しについて

- USBメモリの取り外しは、USBメモリをマウント解除してから行ってください(※P.12「ストレージ」)。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

キャスト

キャスト対応のテレビなどに端末の画面と音声を出力します。




- Miracast対応テレビやアダプタなど、その他のMiracast対応機器と接続することもできます。
- 接続機器側の操作については、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。


1 ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [接続済みのデバイス] ▶ [接続の設定] ▶ [キャスト]

2 [] ▶ [ワイヤレスディスプレイの有効化]

- [ワイヤレスディスプレイの有効化]を有効にすると[Wi-Fi]がONになり、接続可能な機器や接続したことのある機器がリスト表示されます。

3 接続する機器を選ぶ

- 接続する機器によっては、確認画面が表示されます。内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- 接続解除: 接続中の機器をタッチ ▶ [接続を解除]
- 接続中の機器や接続したことがある機器の場合は、[]が表示されることがあります。
 - 機器の表示名を変更: 表示名を変更する機器の[] ▶ 名前を入力 ▶ [完了]
 - 機器をリストから削除: 削除する機器の[] ▶ [削除]

- キャスト機能を利用する機器を設定すると、対応するアプリでキャストアイコン([)などが表示される場合があります。
- 起動しているアプリや表示しているコンテンツによっては、出力ができない場合があります。

- 起動しているアプリによっては、途中で終了する場合があります。
- 出力中は、著作権保護コンテンツを再生できないことがあります。
- 電池残量が少なくなった場合は、自動的に出力を停止します。
- 周囲の環境によっては、無線の干渉を受けて映像が乱れたり音飛びが発生したりする場合があります。また、接続に失敗したり、出力が切れてしまう場合があります。端末とテレビなどを障害物やその他の無線機器のない見通しの良い環境でご利用ください。

VPN(仮想プライベートネットワーク)

VPNの追加

VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- 1 ホーム画面で[☰]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[詳細設定]▶[VPN]▶[+]
- 2 各項目を設定▶[保存]

VPNの接続

- 1 ホーム画面で[☰]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[詳細設定]▶[VPN]
- 2 接続するVPNを選ぶ
- 3 VPNの接続情報を入力▶[接続]

VPNの切断

- 1 ホーム画面で[☰]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[詳細設定]▶[VPN]▶画面の指示に従って操作

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。SMSは設定の変更なくご利用になれます。国際ローミング(WORLD WING)の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/>

対応ネットワークについて

本端末はLTEネットワークおよび3Gネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	LTE	3G	3G850
SMS	○	○	○
パケット通信※	○	○	○

※ローミング時にパケット通信を利用するには、[データローミング]をONにしてください(※P.151「データローミング」)。

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用にならないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、ステータスパネルで確認できます(※P.57「ステータスパネルの利用」)。

海外でご利用になる前に

■ ご出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

充電について

- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

料金について

- 海外でのご利用料金(通話料、パケット通信料)は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

■ 滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

[ネットワークを自動的に選択]をONに設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します(※P.152「通信事業者の設定」)。

海外で利用するための設定

データローミング

海外でパケット通信を行うためには、[データローミング]をONにする必要があります。

- 1 ホーム画面で[☰]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]▶[データローミング]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。

優先ネットワークタイプ

使用するネットワークを設定します。

- 1 ホーム画面で[☰]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]▶[優先ネットワークタイプ]

2 項目を選ぶ

- 4G/3G:4G/3Gネットワークを利用します。
- 3G:3Gネットワークを利用します。

通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で[]▶[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]▶[詳細設定]

2 [ネットワークを自動的に選択]をOFFにする

- 利用可能なネットワークを検索して表示します。

3 通信事業者のネットワークを選ぶ

- 設定後、別の通信事業者のネットワークを選ぶ場合は[ネットワークを選択]をタッチし、通信事業者のネットワークを選びます。

[ネットワークを自動的に選択]について

- データ通信の確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。
- ネットワークの検索でエラーが発生する場合は、[モバイル データ]を無効にし(☞P.111「モバイル ネットワーク」)、再度操作してください。
- 自動でネットワークを切り替える場合は、ONに設定してください。

日付と時刻

日付と時刻の[ネットワークの時刻を使用する]、[ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する]をONにしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻については☞P.134「日付と時刻」

お問い合わせ

- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

海外でパケット通信を利用した場合

- [データローミング]をOFFに設定してください(☞P.151「データローミング」)。

帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

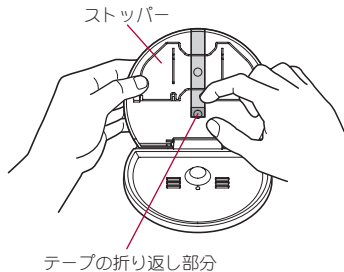
- 優先ネットワークタイプを[4G/3G]に設定してください(☞P.151「優先ネットワークタイプ」)。
- [ネットワークを自動的に選択]をONに設定してください(☞P.152「通信事業者の設定」)。

試供品(スタンド)

スタンドに本端末を置いて、動画などを視聴できます。

■ ご利用になる前に

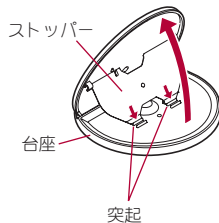
お買い上げ時は、ストッパーが動かないようにテープが貼られています。ストッパーを押さえながら、テープの折り返し部分を持って、はがしてください。



■ 取り付けかた

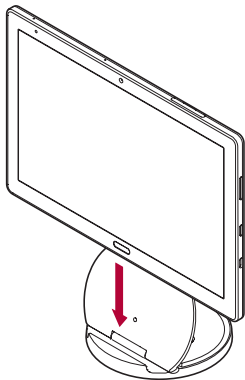
1 スタンドを台座から起こし、ストッパーを固定する

- 台座の突起にストッパーを合わせて固定してください。
 - 固定する突起を変えることで、スタンドの角度を3段階に調節できます。



2 本端末をスタンドのミゾに置く

- スタンドが動かないよう、手でしっかりと持っておいください。
- 図の向きで、本端末の中央部分をスタンドのミゾの中央部分に合わせて置いてください。
- 取り付けが完了すると、スタンドを回転させることで、本端末の向きを調節することができます。



- スタンドは平らな場所に置いてご利用ください。
- スタンドをご利用の場合は、本端末を横向きにしてスタンドの中央に取り付けてください。
- ご利用にあたっては、指などを挟まないようご注意ください。
- スタンドの角度を調節する場合は、本端末を取り外してください。また、本端末を取り付ける場合は、ストッパーが固定されていることを確認してください。
- 本端末の向きを調節する場合、スタンドは手でしっかりと持って、ゆっくり回転させてください。本端末およびスタンドが倒れる恐れがあります。
- 本端末をスタンドに立てた状態で操作する場合、強い力でタッチなどの操作を行うと、本端末およびスタンドが倒れる恐れがありますので、ご注意ください。
- 本端末にケースやカバーを装着した状態では、スタンドを利用しないでください。ケースやカバーを装着してのご利用で生じた損害については、保証の対象外となります。

トラブルシューティング(FAQ)

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください(※P.162「ソフトウェアアップデート」)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症状	チェック項目
本端末の電源が入らない	● 電池切れになっていませんか。(※P.37「充電」)
画面が動かない、電源が切れない	● \square (電源キー)を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。 ● 強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

症状	チェック項目
充電ができない 充電ランプが点灯しない、または点滅する	● アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていませんか。 ● アダプタと本端末が正しくセットされていますか。(※P.38「ACアダプタで充電」) ● ACアダプタ(別売)をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグと本端末がしっかりと接続されていますか。(※P.38「ACアダプタで充電」) ● USBケーブル A to C 02(別売)をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 ● 充電しながら通信やその他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。(※P.37「充電時のご注意」) ● NTTドコモが指定したアダプタで充電していますか。指定したアダプタで充電しても充電ができない場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ 端末操作

症状	チェック項目
操作中・充電中に熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> • 操作中や充電中、また、充電しながら動画視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがあります。動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。☞P.37「充電時のご注意」

症状	チェック項目
電池の使用時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> • 圏外の状態でも長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外が続く場所では電源を切るか、機内モードを設定してください。☞P.39「電源を切る」、P.109「ネットワークとインターネット」 • 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。☞P.169「主な仕様」 • 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。☞P.37「内蔵電池の寿命」 • 使用していないアプリは終了してください。☞P.59「アプリ使用履歴」 • 使用していない無線機能はOFFにしてください。☞P.109「Wi-Fi」、P.142「Bluetooth機能の利用」 • バッテリーセーバーを利用すると、電池の消費を抑えることができます。☞P.117「バッテリーセーバー」

症状	チェック項目
タッチしたり、キーを押したりしても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • 端末の電源が切れていませんか。 ☞P.39「電源を入れる」
タッチしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い	<ul style="list-style-type: none"> • 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。☞P.12「ストレージ」
ドコモnanoUIMカードが認識しない	<ul style="list-style-type: none"> • ドコモnanoUIMカードを正しい向きで挿入していますか。☞P.33「ドコモnanoUIMカード」
時計がずれる	<ul style="list-style-type: none"> • 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[ネットワークの時刻を使用する]がONになっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。☞P.134「日付と時刻」
端末動作が不安定	<ul style="list-style-type: none"> • お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモード※で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。

症状	チェック項目
アプリが正しく動作しない(起動できない、エラーが頻発に起こるなど)	<ul style="list-style-type: none"> • 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試してください。☞P.116「アプリの有効」 • アプリの動作に必要な機能の利用を許可していますか。☞P.62「アプリに必要な許可」 • 電池の最適化を行っていませんか。☞P.63「電池の最適化」

※セーフモードとはお買い上げ時に近い状態で起動させる機能です。

- セーフモードの起動方法
電源が切れている状態から電源を入れ直し、起動中の画面でタッチパネルのロック画面が表示されるまで[←]を押し続けてください。
※電源を入れた状態で[電源キー](1秒以上)▶[電源を切る]をロングタッチ▶[OK]と操作しても、セーフモードで再起動ができます。
また、セルフチェックからも、セーフモードで再起動ができます。☞P.137「セルフチェック」
※セーフモードが起動すると画面左下に[セーフモード]と表示されます。
※セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。
- 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
- ウィジェットによっては消去される場合があります。
- セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

■ 画面

症状	チェック項目
ディスプレイが暗い	<ul style="list-style-type: none">画面の点灯時間を短く設定していませんか。☞P.117「ディスプレイ」ディスプレイの明るさを変更していませんか。☞P.117「ディスプレイ」[明るさの自動調節]をONに設定していませんか。ONにしている場合は、周囲の明るさによって変わります。☞P.117「ディスプレイ」[バッテリーセーバー]をONに設定していませんか。☞P.117「バッテリーセーバー」

■ メール

症状	チェック項目
メールを自動で受信しない	<ul style="list-style-type: none">アカウントの設定でGmailが自動的に同期しないように設定していませんか。☞P.129「データの同期」

■ カメラ

症状	チェック項目
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	<ul style="list-style-type: none">カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。☞P.92「カメラをご利用になる前に」

■ 海外利用

症状	チェック項目
海外で本端末が使えない(電波マークが表示されている場合)	<ul style="list-style-type: none">「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のお申し込みをされていますか。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のお申し込み状況をご確認ください。☞P.150「国際ローミング(WORLD WING)の概要」
海外で本端末が使えない([4]が表示されている場合)	<ul style="list-style-type: none">国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。☞P.150「国際ローミング(WORLD WING)の概要」ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。優先ネットワークタイプを[4G/3G]に設定してください。[ネットワークを自動的に選択]をONに設定してください。☞P.151「優先ネットワークタイプ」、P.152「通信事業者の設定」本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。☞P.39「電源を入れる/切る」
海外でデータ通信ができない	<ul style="list-style-type: none">[データローミング]をONにしてください。☞P.151「データローミング」

症状	チェック項目
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	<ul style="list-style-type: none"> 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

■ データ管理

症状	チェック項目
データ転送が行われない	<ul style="list-style-type: none"> USB HUBや変換プラグを使用していませんか。USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。 ☞P.145「パソコンなどとの接続」 USB接続の用途を正しく設定していますか。 ☞P.145「パソコンなどとの接続」
microSDカードに保存したデータが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> microSDカードを取り付け直してください。 ☞P.35「microSDカード」
画像が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 画像データが壊れている場合は黒色の画像が表示されます。

■ Bluetooth機能

症状	チェック項目
Bluetooth通信対応機器と接続ができない／検索しても見つからない	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth通信対応機器(市販品)側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器(市販品)、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。 ☞P.142「Bluetooth機能の利用」

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法
SIM カードなし	<ul style="list-style-type: none"> ドコモnanoUIMカードが正しく差し込まれていないかご確認ください。P.33「ドコモnanoUIMカード」
xx通を受信しましたが全てのメールを受信できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> 何らかの原因ですべてのメールを受信できなかった場合に 표시됩니다。
空き容量わずか	<ul style="list-style-type: none"> 本体メモリの空き容量が低下しています。一部の機能やアプリが正常に動作しなくなる場合があります。不要なアプリのアンインストールやファイルの移動／削除を行ってください。

エラーメッセージ	説明／対処方法
応答が無いため接続が中断されました	<ul style="list-style-type: none"> メールやSMSを利用するとき、回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている場合に 표시됩니다。しばらくたってから送信し直してください。
サーバーエラー 送信できませんでした	
接続エラー 送信できませんでした	
送信先サーバーが対応していません	
通信エラー しばらくたってから送り直してください	
このコンテンツを再生する権限がありません	<ul style="list-style-type: none"> 有効なライセンスを保持していない場合や再生期間、再生期限が終了した著作権保護コンテンツを再生しようとした場合に 표시됩니다。
試行回数が上限を超えました。指紋認証センサーを無効にしました。	<ul style="list-style-type: none"> 指紋認証に5回失敗したあと、しばらくたってから指紋認証を行う操作をして合計20回失敗した場合に 표시됩니다。指紋認証ではロックを解除できなくなるので、画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
しばらくお待ちください(データサービス)	<ul style="list-style-type: none"> パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。

エラーメッセージ	説明／対処方法
所定の回数以上間違えました。しばらくしてからもう一度お試しください。	<ul style="list-style-type: none"> 指紋認証に5回失敗した場合に表示されます。状況に応じて、画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
しっかりと指紋センサーをタッチしてください	<ul style="list-style-type: none"> 指紋の読み取りに失敗した場合に表示されます。
認識されませんでした	
指を離してから、もう一度センサーに触れてください。	
指を離すのが早すぎます	
モバイルネットワークが利用できません。	<ul style="list-style-type: none"> 有効な優先ネットワークタイプに設定されているかご確認ください。P.151「優先ネットワークタイプ」
ライセンスの取得に失敗しました。再生できません。	<ul style="list-style-type: none"> 再生期限が切れた著作権保護コンテンツのライセンス更新に失敗したときに表示されます。

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデート※とは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。

ソフトウェアアップデートの種類としては以下の4つがあります。

※本端末ではシステムアップデートと表示されます。

- Android OSバージョンアップ
Android OSおよびプリインストールされているアプリや端末機能のバージョンアップを行うことで、機能・操作性・品質等が向上し、本端末をより快適に安心してご利用いただけます。
- 新機能追加
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- 品質改善
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- セキュリティパッチの更新
セキュリティパッチの更新を行うことで、脆弱性を対処するためのソフトウェアを適用することができます。適用することで本端末をより安心してご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。


■ ご利用条件

- Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合、モバイルネットワーク設定でアクセスポイントをspモードもしくはmoperaに設定してください。
- Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードによる通信料金は発生しません。
- 国外でソフトウェアアップデートを行う場合は、ドコモnanoUIMカードを挿入した状態でWi-Fi接続が必要です。
- ソフトウェアが改造されているときはアップデートができません。

ソフトウェアアップデートを行う

■ 更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。

- 更新をお知らせする通知から
本端末のステータスバーから通知を選択し、更新を開始します。
- 定期的に表示される画面から
本端末が更新可能になると、確認画面が表示される場合があります。その確認画面にて動作を選択いただき、更新を進めてください。
- 本体設定から
ホーム画面で[] ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [詳細設定] ▶ [システム アップデート]と操作し、更新を開始します。
※アップデートが不要な場合、[お使いのシステムは最新の状態です]と表示されます。

■ 更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。

詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。

- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に通知もしくは確認画面が表示される場合があります。いずれかが表示された場合は、表示されている手順に従いシステムアップデートを進めてください。

※通信料金が発生すると表示される場合がありますが、spモードもしくはmoperaに設定の場合、通信料金は発生しません。

2 再起動

- 更新の準備が整い次第、通知もしくは確認画面が表示されます。[今すぐ再起動]を選択すると、すぐに本端末が再起動します。

3 更新完了の通知

- 更新が完了すると、本端末に完了画面が表示されます。
- 更新の種類がAndroid OSバージョンアップの場合は、更新完了後にお客様自身でインストールされたアプリのアップデートを確認してください。アップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。

■ 注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデートを行う前に、すべてのアプリを終了してください。
- ソフトウェアアップデート中でも、各種機能を利用可能です。
- ソフトウェアアップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口もしくはオンライン修理受付サービスまでご相談ください。
- ソフトウェアアップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。各アプリの持つデータについて、バックアップ可能な範囲はアプリにより異なります。各アプリでのバックアップ方法は、各アプリの提供元にご確認ください。

- 以下の場合はソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
 - 国際ローミング中
- ソフトウェアアップデート中は電源を切ったりしないでください。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
 - スタンドは無料修理保証の対象外となります。
 - スタンドは、試供品となります。試供品のお問い合わせ先をご覧ください。
 - 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
 - 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容をご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

■ 無料修理規定

1. 保証期間内に取扱説明書などの注意にしたがった使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。(代替品と交換となる場合があります。)
2. 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
 - (1)改造(ソフトウェアの改造も含む)による故障、損傷。
 - (2)落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイ及び外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。

- (3) 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
 - (4) 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
 - (5) 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
 - (6) ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合。
3. 本保証は日本国内においてのみ有効です。
 4. 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではございません。
 5. お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
 6. 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却いたします。
 7. 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

<販売元>

株式会社NTTドコモ

東京都千代田区永田町2-11-1

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

それでも調子が良くないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合がございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。

- 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

以下のような場合は改造とみなされる場合があります。

- ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
- 接着剤などにより本端末に装飾を施す
- 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど

- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

- 本端末に付いている銘板プレートは、取り外さないでください。銘板プレートが故意に取り外されたり、付け替えられた場合など、銘板プレートの内容が確認できないときは、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めにドコモ指定の故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

- 本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をあんしん遠隔サポートセンターのオペレーターと共有することで、端末操作・設定やアプリの使いかた、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

また、あんしん遠隔サポートご契約者様専用のQ&Aサイトのご利用や、LINEでオペレーターにお問い合わせいただくこともできます。

※LINEでのお問い合わせでは、画面共有はご利用いただけません。

- 次の場合は、あんしん遠隔サポートを利用できません。
 - ドコモnanoUIMカードが挿入されていない場合
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

■ オペレーターとの画面共有(電話でのお問い合わせ)

1 あんしん遠隔サポートセンターへ電話

あんしん遠隔サポートセンター

- ドコモの携帯電話からの場合： (局番なしの) 15710(無料)
 - 一般電話などからの場合： 0120-783-360
- 受付時間:午前9:00～午後8:00(年中無休)

2 ホーム画面で▶[遠隔サポート]

3 [接続画面に進む]

4 [同意する]

5 ドコモからご案内する接続番号を入力▶[開始]

6 接続後、遠隔サポートを開始

■ Q&Aサイトで調べる

1 ホーム画面で▶[遠隔サポート]

2 [Q&Aサイト/アプリで調べる]

■ LINEでのお問い合わせ

1 ホーム画面で▶[遠隔サポート]

2 [LINEで問い合わせる]

主な仕様

■ 本体

品名	d-41A	
サイズ	高さ:約170mm、幅:約246mm、厚さ:約8.2mm(最厚部:約8.6mm)	
重量	約491g	
ディスプレイ	サイズ	約10.1インチ
	種類	TFT
	解像度 (ピクセル数 横×縦)	WUXGA(1920×1200)
	発色数	16,777,216色
内蔵メモリ	RAM:4Gバイト ROM:64Gバイト※1	
バッテリー容量	6500mAh	
連続待受時間 (静止時) ※2※3※4	4G(LTE)	約1380時間
充電時間	ACアダプタ 07:約220分	
無線LAN	対応規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠 (IEEE802.11n対応周波数帯:2.4GHz/5GHz)

Bluetooth※5	バージョン	5.0	
	出力	Bluetooth標準規格 BR/EDR: Power Class 1、LE: Power Class 1.5	
	対応プロファイル※6/コーデック	HSP(1.2)、HFP(1.7)※7、A2DP(1.3)※8、AVRCP(1.6)、HID(1.0)、OPP(1.2)、SPP(1.2)、PBAP(1.2)、PAN(PAN-NAP)(1.0)、PAN(PANU)(1.0)、HOGP(1.0)	
イヤホンマイク端子	端子径	3.5mmイヤホンジャック	
	極数	4極	
カメラ	撮像素子	種類	アウトカメラ:裏面照射型 CMOS※9 インカメラ:裏面照射型 CMOS※9
		サイズ	アウトカメラ:1/4インチ インカメラ:1/4インチ
	有効画素数		アウトカメラ:約800万画素 インカメラ:約800万画素
	記録画素数		アウトカメラ:約800万画素 インカメラ:約800万画素

カメラ	記録 ファイル 形式※10	動画	MP4
		静止画	JPEG
	動画1件あたりの最大録画時間		制限なし※11
	ズーム (デジタル)	動画	アウトカメラ: 最大約8.0倍 インカメラ:最大約8.0倍
静止画		アウトカメラ: 最大約8.0倍 インカメラ:最大約8.0倍	
動画再生	対応コーデック		H.263、H.264、H.265、 MPEG-2、MPEG-4、VP8、 VP9
音楽再生	対応コーデック		AAC LC、AAC+、enhanced AAC+、enhanced low delay AAC、AMR-NB、 AMR-WB、FLAC、MP3、 MIDI、Vorbis、PCM/WAVE、 Opus
マルチリンガ ル機能	表示言語		日本語、英語
	入力言語		日本語、英語

- ※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。使用可能な空き容量については、「ストレージ」(P.121)をご参照ください。
- ※2 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

- ※3 連続待受時間は、設定状況、使用環境やメール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
- ※4 各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。
- ※5 Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、データのやりとりができない場合があります。
- ※6 Bluetooth対応機器同士の使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。
- ※7 音声コーデックmSBC(16kHz)、CVSDに対応しています。
- ※8 音声コーデックaptX、aptX Adaptive、SBC、AACに対応しています。
- ※9 CMOS(complementary metal-oxide semiconductor:相補型金属酸化膜半導体)とは、銀塩カメラのフィルムにあたる部分を構成する撮像素子です。
- ※10 「カメラ」利用時の仕様です(P.92「カメラについて」)。
- ※11 動画の解像度が[FHD 1080p]の場合の撮影時間です。動画撮影時間は保存先に設定したストレージの空き容量により異なります。

■ 表示言語

日本語、繁体中国語、広東語(簡体)、簡体中国語、広東語(繁体)、アフリカーンス語、アゲム語、アカン語、イナリ・サーミ語、アストゥリアス語、アゼルバイジャン語(ラテン文字)、バンバラ語、ボスニア語(ラテン文字)、ブルトン語、バサ語、カタロニア語、チェコ語、マコンデ語、シヨナ語、ウェールズ語、デンマーク語、北サーミ語、ドイツ語、ルオ語、低地ソルブ語、ドゥアラ語、ヨルバ語、エストニア語、グシイ語、英語、スペイン語、バスク語、エウエ語、エウォンド語、フィリピン語、フェロー語、フランス語、フリジア語、フリウリ語、アイルランド語、マン島語、スコットランド・ゲール語、ガリシア語、キクユ語、ハウサ語、ベナ語、高地ソルブ語、クロアチア語、ハワイ語、ベンバ語、イボ語、ルンディ語、インドネシア語、サング語、北ンデベレ語、ズールー語、アイスランド語、イタリア語、ジョラ=フォニイ語、カーポベルデ・クレオール語、カコ語、グリーンランド語、カレンジン語、コーンウォール語、ナマ語、エンブ語、ロンボ語、カンバ語、マチャメ語、メル語、キニアアルワンダ語、アス語、ルワ語、サンブル語、サンバー語、スワヒリ語、タイタ語、テソ語、ランギ語、ケルン語、コイラ・チーニ語、コイラボロ・センニ語、モーリシャス・クレオール語、ヴンジョ語、ラコタ語、ラトビア語、トンガ語、ルクセンブルク語、リトアニア語、リンガラ語、ガンダ語、ルヒヤ語、マサイ語、ハンガリー語、マクア・ミート語、マダガスカル語、マルタ語、マレー語、メタ語、ソゴンバ語、オランダ語、ノルウェー語(ブークモール)、ヤンベン語、ノルウェー語(ニーノシュク)、ウズベク語(ラテン文字)、ソガ語、オロモ語、ポーランド語、ポルトガル語、フラ語、パフィア語、ルーマニア語、チガ語、ロマンス語、ケチュア語、ニャンコレ語、サンゴ語、スイスドイツ語、セナ語、アルバニア語、ソングエムブーン語、スロバキア語、スロベニア語、ソマリ語、セルビア語(ラテン文字)、フィンランド語、スウェーデン語、中央アトラス・タマジクト語、カビル語、タサワク語、ヌエル語、ベトナム語、ルバ・カタンガ語、トルコ語、ヴァリス語、ザルマ語、ギリシャ語、アゼルバイジャン語

(キリル文字)、ベラルーシ語、ボスニア語(キリル文字)、ブルガリア語、オセツ語、キルギス語、カザフ語、マケドニア語、モンゴル語、チェチェン語、ロシア語、サハ語、セルビア語(キリル文字)、ウズベク語(キリル文字)、ウクライナ語、ジョージア語、アルメニア語、ヘブライ語、ウイグル語、ウルドゥー語、ウズベク語(アラビア文字)、パシュトゥー語、パンジャブ語(アラビア文字)、アラビア語、ペルシア語、マーザンダラーン語、標準モロッコ・タマジクト語、アムハラ語、コンカニ語、ネパール語、ボド語、マラーティー語、ヒンディー語、アッサム語、ベンガル語、パンジャブ語(グルムキー文字)、グジャラート語、オリヤー語、タミル語、テルグ語、カンナダ語、マラーラム語、シンハラ語、タイ語、ラオ語、チベット語、ソンカ語、ミャンマー語、クメール語、チェロキー語、韓国語、四川イ語

■ スタンド

サイズ	直径:約110mm、高さ:約13mm(スタンド格納時)
重量	約72g

データ通信端末の比吸収率(SAR)について

この機種d-41Aは、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2W/kgです。このデータ通信端末を本取扱説明書に記述する通常使用の場合のSARの最大値は0.830W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもあります。が、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。

通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/SAR>について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

シャープ株式会社のホームページ

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) Information of Mobile Terminals

This model d-41A device complies with the Japanese technical regulations and the international guidelines regarding human exposure to radio waves.

This device was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves (※1) and the limits of exposure recommended in the international guidelines, which are equivalent to each other. The international guidelines were set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations and the international guidelines set out the limits of exposure to radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of human tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile terminals is 2.0 W/kg.

The highest SAR value for this device when tested for intended use described in the instruction manual is 0.830 W/kg (※2).

There may be slight differences of the SAR values in individual product, but they all satisfy the limit. The actual value of SAR of this device while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to access the network.

During communication, please keep the device farther than 1.5 cm away from your body without including any metals. This device is certified the compliance with the Japanese technical regulations and the international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>
Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:

<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html> (in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>

SHARP Corporation Website:

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

- ※1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.
- ※2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested for intended use described in the instruction manual is 1.415 W/kg[※]. During communication for body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the devices a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Regulatory information

In some countries/regions including Europe[※], there are restrictions on the use of 5GHz WLAN that may limit the use to indoors only.

Please check the local laws and regulations beforehand.

※ The following EU and EFTA member countries:

Belgium (BE), Bulgaria (BG), Czech Republic (CZ), Denmark (DK), Germany (DE), Estonia (EE), Ireland (IE), Greece (EL), Spain (ES), France (FR), Croatia (HR), Italy (IT), Cyprus (CY), Latvia (LV), Lithuania (LT), Luxembourg (LU), Hungary (HU), Malta (MT), Netherlands (NL), Austria (AT), Poland (PL), Portugal (PT), Romania (RO), Slovenia (SI), Slovakia (SK), Finland (FI), Sweden (SE) and United Kingdom (UK), Switzerland (CH), Liechtenstein (LI), Iceland (IS), Norway (NO).

Norway: Use of this radio equipment is not allowed in the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Alesund, Svalbard.

**Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type d-41A is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
[https://jp.sharp/k-tai/](https://jp.sharp/k-tai)**

Manufacturer's Address:
SHARP CORPORATION,
1 Takumi-cho, Sakai-ku, Sakai-shi, Osaka 590-8522, Japan

● Description of accessories

Headset, Handsfree	Φ3.5 audio jack, Bluetooth
USB cable	For charging, peripherals, etc.
microSD Card	microSD/microSDHC/microSDXC
nano UIM card	docomo nano UIM card/non-docomo nano UIM cards non-docomo nano UIM cards can be used after SIM-unlocking the handset.

● Frequency range of supported bands in EU

WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6 MHz Rx 2112.4 to 2167.6 MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5 MHz Rx 2112.5 to 2167.5 MHz
LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3 MHz Rx 1805.7 to 1879.3 MHz
Bluetooth	Tx 2402 to 2480 MHz Rx 2402 to 2480 MHz
WLAN 2.4 GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (BW: 20 MHz only)

WLAN 5 GHz	W52(U-NII 1): Tx/Rx 5180 to 5240 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5190 to 5230 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5210 MHz (BW: 80 MHz) W53(U-NII 2A): Tx/Rx 5260 to 5320 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5270 to 5310 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5290 MHz (BW: 80 MHz) W56(U-NII 2C): Tx/Rx 5500 to 5700 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5510 to 5670 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5530 to 5610 MHz (BW: 80 MHz)
GNSS	GPS: Rx L1 (1575.42 MHz) GLONASS: Rx G1 (1598.0625 to 1605.375 MHz) Galileo: Rx E1 (1575.42 MHz) BeiDou: Rx B1 (1561.098 MHz)

● Maximum transmit power

WCDMA FDD I	+24 dBm (Power Class3)
LTE Band 1	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 3	+23 dBm (Power Class3)
Bluetooth	+11.5 dBm (Power Class1)
WLAN 2.4 GHz	+19.0 dBm
WLAN 5 GHz	+19.0 dBm

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your device is a radio transmitter and receiver.

It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model device when tested for intended use described in the instruction manual is 1.37 W/kg.

For body worn operation, this device has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. During communication, please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the device a minimum of 0 cm from the body.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid> on FCC ID APYHRO00284.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

FCC ID Location

The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed via the About tablet & the Regulatory labels under the Settings menu.

CAUTION

Use only optional parts specified by NTT DOCOMO.

May cause fires, burns, bodily injury, electric shock, etc. if you use a device other than specified one.

Do not throw the device into a fire or heat it.

May cause fires, burns, bodily injury, etc.

Do not dispose of the device in ordinary garbage.

May cause fires, burns, bodily injury, etc. It may also cause damage to the environment. Take the unnecessary device to a sales outlet such as a docomo Shop or follow the instructions by a local institution that handles used devices.



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Earphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 53 mV.

Avoid using the device in extremely high or low temperatures.

Use the device within the range of a temperature between 5° C and 35° C and a humidity between 45% and 85%.

Refer to the following for details on using it at a bathroom.

※P.24“d-41Aが有する防水／防塵性能でできること”

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5° C and 35° C.

■ Bluetooth function


- The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, INC. and any use of such marks by SHARP CORPORATION is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Inquiries

General Inquiries

<docomo Information Center>

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m.)

 **0120-005-250 (toll free)**


※ Service available in: English, Portuguese, Chinese, Spanish.

※ Unavailable from part of IP phones.

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m. (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

 **(No prefix) 151 (toll free)**

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

 **0120-800-000 (toll free)**

※ Unavailable from part of IP phones.


● Please confirm the phone number before you dial.

Repairs

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

 **(No prefix) 113 (toll free)**

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

 **0120-800-000 (toll free)**

※ Unavailable from part of IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.
- For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the above-mentioned information center or check the docomo Shop etc. near you on the NTT DOCOMO website and contact.
- For online repair acceptance service, refer to DOCOMO website.
NTT DOCOMO website:
<https://www.nttdocomo.co.jp/english/>

Inquiries from overseas (In case of loss, theft, unconnected, etc.)

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

Display "+" on the screen

-81-3-6832-6600
(toll free)

(to enter "+", touch and hold "0".)

※ You can call using international call access code instead of "+".

From land-line phones

International call access code
for the country you stay

-81-3-6832-6600
(charges apply)

- ※ You are charged a call fee to Japan.
- ※ For international call access codes, refer to DOCOMO website.
- Please confirm the phone number before you dial.
- If you lose your device or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the device.
- If the device you purchased is damaged, bring your device to a repair counter specified by DOCOMO after returning to Japan.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「dtab」、「FOMA」、「dメニュー」、「dマーケット」、「dポイント」、「dキッズ」、「my daiz」、「mopera U」、「ビジネスmopera」、「デコメ絵文字®」、「WORLD WING」、「おまかせロック」、「エリアメール」、「イマドコサーチ」、「イマドコかんたんサーチ」、「マチキャラ」、「spモード」、「Xi」、「Xi/クロッシィ」、「あんしん遠隔サポート」、「eトリセツ」、「dフォト」、「マイマガジン」、「LIVE UX」、「エリアメール」ロゴ、「ドコモ電話帳」ロゴ、「dmenu」ロゴ、「あんしん遠隔サポート」ロゴ、「マイマガジン」ロゴ、「データ保管BOX」ロゴ、「dマーケット」ロゴ、「dポイント」ロゴ、「dフォト」ロゴ、「ドコモデータコピー」ロゴ、「地図アプリ」ロゴは(株)NTTドコモの商標または登録商標です。
- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、シャープ株式会社はライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi®, Wi-Fi Direct®, Miracast®, Wi-Fi Protected Access® (WPA)はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- WPA2™, WPA3™, Wi-Fi Enhanced Open™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<https://www.openssl.org>)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2020 All Rights Reserved.
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2020 All Rights Reserved.
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ R、新ゴ Mを搭載しています。
「新ゴ」は、株式会社モリサワの登録商標です。
- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.
Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries.
aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.
- Google, Google ロゴ, Android, Google Play, Google Play ロゴ, Gmail, Gmail ロゴ, Google カレンダー™, Google マップ™, Google Chrome™, Google Chrome ロゴ, Chromebook, Google 音声検索™, Google 音声検索 ロゴ, YouTube, YouTube ロゴ, YouTube Music ロゴ, Google ドライブ, Google ドライブ ロゴ, Google 検索, Google 検索 ロゴ, Google Lens™, Google フォト™, Google フォト ロゴ, Google アシスタント, Google アシスタント ロゴ, Google Playムービー & TV ロゴ, Google Pay, Google One, Google One ロゴ, Google ニュース, Google スプレッドシート, Google スライドは、Google LLC の商標です。
- 「エスジョイン/S-Shoin」, 「リラックスビュー/RelaxView」, 「キッズつながリンク」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されています。これ以外の使用については、ライセンス許諾されていません。
 - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ(以下「MPEG-4ビデオ」と記載します)を符号化すること。
 - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
 - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされていません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<https://www.mpegla.com>をご参照ください。
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
 - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。

- Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面で[]▶[設定]▶[タブレット情報]▶[法的情報]▶[サードパーティライセンス]をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License(MPL)に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

SIMロック解除

- 本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。
- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 他社のSIMカードを取り付ける

- SIMカードの取り付け／取り外しについては（~~※~~P.33「ドコモnanoUIMカード」）

2 端末の電源を入れる

3 SIMロック解除コードを入力▶[ロック解除]

索引

名前から探す

あ	
アイコンの見かた	55
明るさの自動調節	117
明るさのレベル	117
アクセス ポイント名	111
新しい連絡先のデフォルト アカウント	79
アニメーションの削除	130
アプリ一覧	73
アプリ一覧画面	67
アプリ情報	115
アプリ使用履歴	59
アプリ初回起動時の確認画面について	62
アプリと通知	115
アプリ内データ全件削除	104
アプリに必要な許可	62
アプリの一覧にアイコンを表示	131
アプリの権限	123
アプリの購入	99
アプリの設定をリセット	134
アプリのデータ使用量	111
アラーム	
スケジュールの設定	104
時計	101
アラームの音量	120

暗号化と認証情報	124
あんしん遠隔サポート	168
安全上のご注意(必ずお守りください)	7
位置情報	123
位置情報付加	96
一括シンプル切替	51
色反転	130
色補正	130
インカメラのミラーモード	96
印刷	114
インポート	79
英語	52
エクスポート	79
絵文字・記号リスト列数	51
エリアメールの許可	88
エリアメールの履歴	88
大きなマウスポインタ	130
オーディオ バランス	131
オープンソースライセンス	129
オープン ネットワークの通知	111
お困りのときは	136
お支払い方法	90
おすすめアプリ	128
おすすめアプリ設定	67
おすすめアプリを利用	68
おすすめ機能	6
おすすめ使い方ヒント	
ドコモのサービス/クラウド	128
ユーザー補助	130
音	120
お問い合わせ	152
主な仕様	169

おやすみモード	131
音声エージェント	61
音量キーのショートカット	130

か

会員情報／プロフィール情報設定	128	カメラの設定	96
海外でご利用になる前に	151	カメラをご利用になる前に	92
海外で利用可能なサービス	150	画面消灯	117
海外利用設定		画面の固定	124
スケジュールの設定	104	画面の自動回転	
電話帳を設定	79	ディスプレイ	117
開始曜日	104	ユーザー補助	131
解像度	96	画面表示／アイコン	55
ガイド線	96	画面ロック	124
ガイド表示	51	画面ロック音	120
外部アプリ連携	50	かんたんホーム	70
学習辞書リセット		かんたんホーム一括切替	64
その他	52	かんたんホームの見かた	70
文字入力の設定	50	キー操作	50
拡大	130	キー操作音	52
各部の名称と機能	30	キー操作バイブ	52
仮想キーボード	133	キー操作バイブ時間	52
括弧内カーソル移動	52	キーボードイメージ	
稼働時間	136	表示	51
カナ英数キー表示	51	文字入力の設定	50
壁紙	117	キーボードタイプ	
壁紙設定	67	表示	51
壁紙の設定	72	文字入力の設定	50
カメラについて	92	キーボードの見かた	48
カメラの起動	133	キーポップアップ	52
		帰国後の確認	153
		規制ラベル	136
		輝度	118
		起動画面	104
		機内モード	109
		機能のショートカットの利用	72
		機能利用中の操作	45

基本操作	44
キャスト	148
共有	79
緊急時情報	136
緊急速報「エリアメール」	87
緊急速報「エリアメール」を受信する	87
緊急速報「エリアメール」を設定する	88
クラウド設定	104
クラウドメニュー	79
ゲスト	135
権限マネージャ	62
言語	
Chromeの設定	91
言語と入力	133
言語 / 地域のデフォルトを使用する	134
言語と入力	133
検索エンジン	90
高コントラストテキスト	131
公式アカウント	85
公式アカウント機能を利用する	86
候補学習	51
候補表示エリア	51
国際ローミング(WORLD WING)の概要	150
このデバイス	146

さ

サービス接続先	52
最後にフル充電してからの使用時間	116
最大音量を使用する	88
サイトの設定	91

サイトの表示	89
削除	79
撮影画面の見かた	94
試供品(スタンド)	154
時刻	134
辞書	50
システム	132
システム アップデート	132
自動大文字変換	51
自動カーソル移動	52
自動外部変換	52
自動スペース入力	51
自動調整バッテリー	116
自動入力サービス	133
字幕の設定	131
指紋	124
指紋認証	126
写真の手ブレ補正	96
写真や動画	85
週間天気表示設定	104
住所やその他の情報	90
充電	37
充電時の音とバイブレーション	120
受信画面および着信音確認	88
証明書のインストール	111
ショートカットを作成	79
初期設定	40
信頼エージェント	124
数字キーを表示	51
スクエア	95
スクリーンショットの撮影	47
スクリーンセーバー	117

スケジュール	
サイレントモード	121
スケジュール	103
リラックスビュー	118
スケジュールの設定	117
ステータスパネルの利用	57
ストップウォッチ	103
ストレージ	121
ストレージ構成	138
すべてのデータを消去(出荷時リセット)	134
すべての例外を表示	121
スペルチェック	133
スレッドを削除する	85
静止画の撮影	95
世界時計	102
セキュリティ	124
セキュリティアップデート	124
接続済みのデバイス	
接続済みのデバイス	114
パソコンなどとの接続	146
接続不良のとき無効にする	111
設定項目を検索	136
設定メニュー	108
設定リセット	
カメラの設定	96
その他	52
文字入力の設定	50
セルフチェック	136
前回のフル充電	116
操作までの時間(ユーザー補助タイムアウト)	131
その他	85
ソフトウェアアップデート	162

た

ダークテーマ	
ディスプレイ	117
ユーザー補助	130
タイマー	102
タイムゾーン	134
タイムラプス(3倍速)	95
ダウンロード	91
タッチボード	131
タッチ操作音	120
タッチパネルの操作	44
タップ操作時のバイブ	120
縦画面の反転	117
タブレット情報	136
単語登録	50
単語リスト	133
誕生日表示設定	104
端末アプリ情報送信	128
知的財産権について	180
ちらつき防止	96
通信事業者の設定	152
通知	
Chromeの設定	90
アプリと通知	115
+メッセージの設定を変更する	85
通知/充電ランプ	55
通知ドット	
docomo LIVE UX	67
かんたんホーム	72
通知ドットに件数表示	72

通知の音量	120
通知の制限	121
通知を管理	131
停止時間	130
ディスプレイ	117
データ移行	105
データセーバー	109
データ通信端末の比吸収率(SAR)について	172
データ転送なし	146
データの同期	129
データローミング	151
テーマ	90
テーマカラー・背景	85
テキスト読み上げの設定	
言語と入力	133
ユーザー補助	130
テザリング	113
デバイス管理アプリ	124
デバイス名	136
デバイスを探す	124
デフォルト アプリ	115
デフォルトのアラーム音	120
デフォルトの期間	121
デフォルトの通知音	120
電源を入れる／切る	39
電池	116
電池残量	116
電池製造情報	136
電池の最適化	63
電池の状態	136
電話帳	77
電話帳の確認／利用	78

電話帳の登録	77
電話帳を設定	79
電話番号	136
動画の撮影	96
同期と Google サービス	90
統合	79
特別なアプリアクセス	115
トグル入力	52
時計	101
ドコモnanoUIMカード	33
ドコモアプリ管理	128
ドコモアプリデータバックアップ	128
ドコモ位置情報	128
ドコモクラウド	128
ドコモサービス初期設定	129
ドコモデータコピー	105
ドコモのサービス／クラウド	128
ドコモメール	80
トラブルシューティング(FAQ)	156
取り扱い上のご注意	18

な

長押しする時間	131
日本語	52
日本語候補学習	51
日本語予測変換	51
日本語ワイルドカード予測	51
入力モード切替	50
ネット変換エンジン	52
ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する	134

ネットワークとインターネット	109
ネットワークの時刻を使用する	134
ネットワーク評価プロバイダ	111

は

バージョン情報	52
バイブレーション	88
バイブレーションと触覚フィードバックの強さ	131
パスワード	90
パソコンなどとの接続	145
バックアップ	132
バックアップ・復元	106
バッテリーセーバー	117
半角スペース入力	51
日付	134
日付と時刻	
海外で利用するための設定	152
設定	134
表示サイズ	
ディスプレイ	117
ユーザー補助	130
表示する連絡先	79
ビルド番号	136
ファイル操作	138
ファイル転送	146
フォーカス モード	131
フォト	97
フォントサイズ	130
複数ユーザー	135
ブックマーク	91

物理キーボード	133
プライバシー	
Chromeの設定	90
設定	123
+メッセージの設定を変更する	85
プライベート DNS	109
+メッセージ	80
+メッセージの設定を変更する	85
フリガナ(名前)	79
フリック感度	52
フリック・トグル	50
プリントサービスによる印刷/保存	147
フル充電で無効	117
プロキシ設定	109
ヘルプ	67
変換キー表示(テンキーボード)	51
ポインタの速度	133
防水/防塵性能	24
法的情報	136
ホームアプリの情報	70
ホーム画面にアイコンを追加	
docomo LIVE UX	67
かんたんホーム	72
ホーム画面の管理	
docomo LIVE UX	65
かんたんホーム	71
ホーム画面の設定	72
ホーム画面の見かた	64
ホーム切替	64
ホーム設定アイコン	67
ホームの使い方	67
ホームページ	90

保証とアフターサービス	165
保存先設定	96
本端末で利用する暗証番号について	42
本端末のご利用について	5
翻訳・アプリ連携設定	88

ま

マイマガジン	68
マイマガジン起動設定	67
マチキャラ設定	67
マップ	100
マナーモード	120
マルチウィンドウ	60
メール/ウェブブラウザ	80
メールの表示	86
メッセージ	85
メッセージ受信を再通知する	88
メッセージを削除する	85
メッセージを送信する	82
メッセージを転送する	85
メッセージを読む	84
メディアの音量	120
メモ	105
目次	2
文字削除キー動作	52
文字入力	48
文字入力のしかた	53
文字入力の設定	50
文字フォント設定	117
モデルとハードウェア	136

モノラル音声	131
モバイルデータ	111
モバイル ネットワーク	111

や

やさしい日本語表示	88
ユーザー情報	79
ユーザー補助	130
ユーザー補助機能	91
ユーザーを追加	135
優先ネットワークタイプ	151
輸出管理規制	180
よくあるご質問	136
予測変換	51

ら

ライトモード	91
リセット オプション	134
利用規約・プライバシーポリシー	52
利用時間	115
利用状況レポート設定	79
リラックスビュー	118
履歴	91
連写撮影	96
ロック画面	119
ロック画面からユーザーを追加 複数ユーザー	135
ロック画面の表示	119
ロック画面メッセージ	119

ロックダウン オプションの表示	119
-----------------	-----

わ

ワイルドカード予測	51
-----------	----

英数字

ACアダプタで充電	38
Androidサービス以外の権限	123
Androidバージョン	136
Bluetoothアドレス	136
Bluetooth機能	140
Bluetooth機能の利用	142
Bluetooth通信送受信	144
Bluetooth テザリング	113
Bluetooth で受信したファイル	114
Chrome	89
Chromebook	114
Chrome について	91
Chrome にログイン	90
Chromeの設定	90
DCアダプタで充電	38
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	131
docomo LIVE UX	64
dアカウント設定	
電話帳を設定	79
ドコモのサービス/クラウド	128
dアカウントの設定を行う	41
dマーケット	98
dメニュー	98

Gmail	86
Google	132
Google Play システム アップデート	124
Google Play プロテクト	124
Googleなどのアカウントの設定を行う	40
GPS機能の利用	100
GPS/ナビ	100
HDR	96
IMEI	136
IP アドレス	
Wi-Fiの設定	111
タブレット情報	136
MAC アドレス	111
microSDカード	35
microSDカード/USBメモリのフォーマット	122
microSDカードの暗号化/暗号化解除	122
MIDI	146
my daiz NOW	69
my daiz NOW表示設定	67
PINコードを設定する	43
PINコードを変更する	43
PINロックの解除	43
Play ストア	98
PTP	146
SIMのステータス	136
SIMロック解除	183
Smart Lock	124
SMS、MMS、メッセージ アプリ	121
USB	114
USBケーブルで充電	39
USB テザリング	113
USBデバッグ切替	129

USBホスト機能	147
VPNの接続	149
VPNの切断	149
VPNの追加	149
Wi-Fi	109
Wi-Fi Direct	111
Wi-Fi MACアドレス	136
Wi-Fiテザリング	113
Wi-Fi のスキャンと Bluetooth のスキャン	123
Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット	134
Wi-Fi を自動的に ON にする	111
WORLD WING	150
3G	151
4G/3G	151
24時間表示	134

目的から探す

基本操作

電源を入れる	39
画面ロックを解除する	39
マナーモードにする	120
ホーム画面の見かた	64
ホーム画面にショートカットやウィジェットを追加する	65
文字を入力する	48
ドコモnanoUIMカードを取り付ける／取り外す	33
microSDカードを取り付ける／取り外す	35
電池の消耗を抑える	116

メール

SMS(+メッセージ)を使う	80
Gmailを使う	86
ドコモメールを使う	80
緊急速報エリアメールを使う	87

インターネット

ホームページを見る	89
ブックマーク(お気に入り)を登録する	91

Wi-Fi

自宅や公共のWi-Fiに接続する	111
Wi-Fiのみで利用する(モバイルネットワークのデータ通信を利用しない)	111

カメラ

写真を撮影する	95
動画を撮影する	96
撮影した写真／動画を見る	97
撮影した写真／動画の保存先を設定する	96

便利な機能

Googleマップで目的地までの道のりを調べる	100
スケジュールを登録／確認する	103
スクリーンショットを撮影する	47
画面が暗くなるまでの時間を変更する	117
目覚まし(アラーム)をセットする	101
本体やmicroSDカードのデータを確認する	121
テザリングを設定する	113
ディスプレイの照明を明るくする	117

バックアップ

連絡先やメールのバックアップをする	105
-------------------	-----

故障

故障かな?と思ったら	156
お問い合わせ先	H4
端末を初期化する	134

その他

スペックを確認する	169
アプリをアンインストールする	66
USBケーブルを利用してパソコンからデータを送る	145

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

■ 運転中の場合

自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って使用することは、罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所に注意しましょう

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● マナーモード (P.120「マナーモード」)

本端末から鳴る音を消します。

※ただし、カメラのシャッター音は消せません。



ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ(自社・他社製品を問わず回収)

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種手続きなど

本端末から dメニュー ▶ My docomo (お客様サポート)
パソコンから My docomo (<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>)

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID/パスワード」が必要です。

海外からのお問い合わせ先(紛失・盗難・つながらない場合など)

■ ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示

-81-3-6832-6600 (無料)

(「+」は「0」をロングタッチします。)

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■ 一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号

-81-3-6832-6600 (有料)

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間 (年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先 ＜ドコモ インフォメーションセンター＞

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの)151(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。
- オンライン修理受付サービスについては、ドコモのホームページをご覧ください。

ドコモのホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの)113(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

試供品のお問い合わせ先

シャープ データ通信サポートセンター

TEL 050-5846-5411

受付時間 平日 10:00～17:00 (土・日・祝日および所定の休日を除く)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 試供品については、本書内でご確認ください。

販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 シャープ株式会社



マナーもいっしょに携帯しましょう。
◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。



キケン!
水ぬれ充電



あぶない!
電池への衝撃



Li-ion00

'20.7(1版)
20H RK 199①